

位置図



特記事項	建物名称	図面名称
	012_滑石9AP	位置図

滑石 9 A P 外壁改修工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-001	改修特記仕様書（その 1）	007	案内図・配置図	013	階段断面詳細図 2
002	改修特記仕様書（その 2）	008	平面図	014	建具表
003	改修特記仕様書（その 3）	009	立面図 1	015	外壁補修標準図
004	改修特記仕様書（その 4）	010	立面図 2		
005	改修特記仕様書（その 5）	011	矩計図		
006	改修特記仕様書（その 6）	012	階段断面詳細図 1		

長崎県土木部建築課

課長総括課長補佐課長補佐係長設計者

平成22年8月

滑石9AP外壁改修工事設計図

仕様書

I 工事概要

1. 工事場所長崎市滑石6丁目

2. 延床面積509.12㎡

3. 工事種目・改修工事

4. 工事内容

・外壁改修工事

・塗装改修工事

II 工事仕様

1. 特記事項

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

◎印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の() 内表示番号は、下記標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の(別) は(5. 3. 7) による別図「各部配筋」の当該項目を示す。

(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また() 内は製品名を示す。

(6) [G]印は長崎県の「環境物品等調達方針」の特定調達品目を示す。

2. 工事種目 及び 共通仕様

(1) 下記工事種目全てを工事範囲とする。なお、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、下記の各共通仕様による。

工事種目	共通仕様
● 建築工事	公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成19年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成19年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
・電気設備工事	公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成19年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成19年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（平成19年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
・機械設備工事	公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成19年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成19年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（平成19年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
・昇降機設備工事	公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成19年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

(2) 木造の場合は、木造建築工事共通仕様書（建設大臣官房官庁営繕部監修 平成10年度版）を適用する。

3. 工事科目（●印の付いたものが対象工事）				
建築工事				
建物別及び屋外		工 事 種 別		
工 事 科 目				概 要
● 仮設工事	一式	一式	一式	
○ 土工	一式	一式	一式	
○ 地盤工事	一式	一式	一式	
○ 鉄筋工事	一式	一式	一式	
○ コンクリート工事	一式	一式	一式	
○ 鉄骨工事	一式	一式	一式	
○ 2次・3次・ALC・鉄・骨造成型枠外板工事	一式	一式	一式	
● 防水工事	一式	一式	一式	
○ 石工事	一式	一式	一式	
○ タイル工事	一式	一式	一式	
○ 木工	一式	一式	一式	
○ 屋根及びとい工事	一式	一式	一式	
○ 金属工事	一式	一式	一式	
○ 左官工事	一式	一式	一式	
○ 建具工事	一式	一式	一式	
○ カーテンウォール工事	一式	一式	一式	
● 塗装工事	一式	一式	一式	
○ 内装工事	一式	一式	一式	
○ ユニット及びその他の工事	一式	一式	一式	
○ 排水工事	一式	一式	一式	
○ 舗装工事	一式	一式	一式	
○ 植栽工事及び屋上緑化工事	一式	一式	一式	
● その他	一式	一式	一式	
○	一式	一式	一式	
	一式	一式	一式	
電気設備工事				
建物別及び屋外		工 事 種 別		
工 事 科 目				設 備 概 要
○ 電 灯 設 備	一式	一式	一式	
○ 動 力 設 備	一式	一式	一式	
○ 受 変 電 設 備	一式	一式	一式	○3φ kVA ○1φ kVA
○ 静 止 形 電 源 設 備	一式	一式	一式	Ah ｔkWh
○ 自 家 発 電 設 備	一式	一式	一式	kVA
○ 雷 保 護 設 備	一式	一式	一式	○旧JIS ○新JIS
○ 構 内 情 報 通 信 網 設 備	一式	一式	一式	
○ 電 話 設 備	一式	一式	一式	
○ 構 内 交 換 設 備	一式	一式	一式	外線 回線 内線 回線
○ 拡 声 設 備	一式	一式	一式	増幅器 W 回線
○ 音 響 ○ 映 像 設 備	一式	一式	一式	
○ 出 退 ○ 情 報 表 示 設 備	一式	一式	一式	
○ 電 気 時 計 設 備	一式	一式	一式	
○ イ ン タ ー ホ ン 設 備	一式	一式	一式	
○ テ レ ビ 共 同 受 信 設 備	一式	一式	一式	
○ 自 動 火 災 報 知 設 備	一式	一式	一式	○P型 ○R型 回線
○ 中 央 監 視 制 御 設 備	一式	一式	一式	
○ 防 犯 設 備	一式	一式	一式	
	一式	一式	一式	
機械設備工事				
建物別及び屋外		工 事 種 別		
工 事 科 目			屋外	設 備 概 要
○ 空気調和設備	一式	一式	一式	
○ 換気設備	一式	一式	一式	
○ 排煙設備	一式	一式	一式	
○ 自動制御設備	一式	一式	一式	
○ 衛生器具設備	一式	一式	一式	
○ 給水設備	一式	一式	一式	
○ 排水設備	一式	一式	一式	
○ 給湯設備	一式	一式	一式	
○ 消火設備	一式	一式	一式	
○ 厨房機器設備	一式	一式	一式	
○ ガス設備	一式	一式	一式	
○ 浄化槽設備			一式	
昇降機設備工事				
建物別		工 事 種 別		
工 事 科 目				設 備 概 要
○ 一般エレベーター	一式	一式	一式	
○ 一般油圧エレベーター	一式	一式	一式	
○ 普及型エレベーター	一式	一式	一式	
○ 非常用エレベーター	一式	一式	一式	
○ 機械室レスエレベーター	一式	一式	一式	
○ 小荷物専用エレベーター	一式	一式	一式	
○ エスカレーター	一式	一式	一式	
	一式	一式	一式	

章 項 目	特 記 事 項
① ① 適用基準等	○建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房営繕部監修（平成17年版） ○工事写真の撮り方（建築編）平成21年版 長崎県土木部建築課
② ② 施工管理	請負者は、長崎県建設工事執行規則、長崎県建設工事検査規定、長崎県建築工事検査基準、長崎県建築工事検査専門職員職務要綱に従った監督・検査体制のもとで、建設法第18条に定める建設工事の請負契約の原則に基づく施工管理体制を遵守する。(1.3.1)
③ ③ 工事実績情報の登録	請負者は、受注時または変更時において工事請負金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、変更時は変更があった日から、完成時は工事完成後、いずれも土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に登録申請をしなければならない。 変更登録時は、工期・技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金額のみの変更の場合は原則として登録を必要としない。 登録後、登録機関発行の「工事カルテ受領書」が届き次第、督職員に提示すること。 なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。(1.1.4)
4 ④ 施工体制台帳	工事を施工するために、締結した下請負契約の請負代金額（当該下請負契約が2以上ある場合は、(1.1.5)それらの請負代金の総額）が3,000万円（建築一式工事においては、4,500万円）以上になる時は、所定の様式に記載した施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、監督職員に提出する。 また、再下請が生じた場合には、再下請負通知書を作成し、監督職員に提出すること。 記載内容に変更が生じた場合においても、その都度すみやかに監督職員に提出すること。 なお、下請け契約に係る契約書には、請負代金の額が記載されたものに個別工事下請契約約款又は工事下請基本契約書を添付する。 ただし、建設業の許可を受けていない業者は、対象から除くものとする。(1.1.5)
⑤ ⑤ 施工体系図	請負金額が500万円以上の工事の場合、各下請者の施工の分担関係を表示した施工体系図「提出用」を作成し、監督職員に提出すること。(1.1.5)
⑥ ⑥ 発生材の処理等	・処理方法、処理場等は現場説明書による ※構外搬出適切処置 (1.1.8) 建設廃棄物処理契約書及び建設廃棄物用マニフェスト 請負者（排出事業者）は、建設廃棄物の適正処理をするため、排出事業者と収集運搬業者及び排出事業者と処分業者で建設廃棄物処理委託契約（二者契約）を行い、建設廃棄物を運搬処理する毎かつ品目毎（混合廃棄物は除く）にマニフェストを発行して委託処理する。 また、工事中に発生する梱包材等も建設廃棄物として適正に処理すること。 産業廃棄物処理フロー図、産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表 請負者は、工事前までに産業廃棄物処理フロー図を作成する。記載内容に変更があった場合、その都度すみやかに訂正すること。 また、産業廃棄物を搬出する場合においては、マニフェストにより適正に処理されていることを確認すること。 工事完了後、産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表を作成し、監督職員へ提出する。 なお、その他の資料については請負者にて整備保管し、監督職員から請求があった場合はこれを提示すること。 請負金額が500万円以上の工事の請負者は、再資源利用計画書及び再資源利用促進計画書を所定の様式に基づき作成し、監督職員に提出する。また、工事完了後、実施状況を記録し、監督職員に提出する。 提出は、所定の様式及び電子ファイル（建設リサイクルデータ統合システム（CREDAS）により作成されたもの）とする。 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に基づく対象建設工事の計画の策定及び説明 ※適用する ○適用しない 建設リサイクル法の対象工事の請負者は、当該建設工事に係る特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、再資源化報告書を所定の様式に基づき作成し、監督職員に提出する。 ⑦ ⑦ 品質計画 総合施工計画書 ※ 作成する ・作成しない (1.1.2) 工事の着手に先立ち、以下の内容を含む総合施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 また、内容を変更する必要がある場合、監督職員に報告するとともに、施工等に支障がないよう適切な措置を講ずる。 (1) 工事概要 (2) 実施工程表 (3) 現場組織表 (4) 施工体系図（請負金額500万円以上の場合） (5) 主要工事 (6) 品質計画（品質目標、管理方針、重要管理事項、工種別施工計画書作成要領、検査立会項目等） (7) 養生計画 (8) 緊急時の体制及び対応 (9) 安全・環境対策 (10) 仮設計画 (11) 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法 (12) 産業廃棄物処理フロー図 (13) その他 ・建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 ※風速（Vo＝） ※地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ） ・積雪区分 建造令第1455号 別表（ ）

⑧ ⑧ 工事報告	工事月報 ※ 作成する ・作成しない (1.2.4) 当月の工事の全般的な経過を記載した工事報告書を作成し、監督職員に提出する。 履行報告書 ・ 作成する ※ 作成しない 中間金払を選択した場合は、履行状況を所定の様式に基づき作成し、認定請求時に実施工程表・出来高数量・完成部分の状況写真を添えて発注者に提出する。
9 ⑨ 電気保安技術者	工事現場における電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。(1.3.3) ・要 ・不要
⑩ ⑩ 施工条件	○現場説明書による ・ (建1.3.5) (電1.3.2) (建1.3.3)
11 ⑪ 工事関係者連絡会議	※組織する 工事現場が隣接し、又は同一場所において別途工事がある場合には、請負業者間の安全施工に関する緊密な情報交換を行うとともに、非常時における臨機の措置を定める等の連絡調整を行うため、工事関係者連絡会議を組織する。(1.1.7)
⑫ ⑫ 騒音振動の防止	低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程（平成9年建設省告示1536号）により指定された建設機械を使用する。(1.3.7) 適用工事（土、地盤、コンクリート、舗装、植栽、とりこわし等）
⑬ ⑬ 排出ガス対策型建設機械	請負者は、以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日建設省経機発第249号、最終改正平成14年4月1日国総施第225号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用する。(1.3.7) また、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議し、承諾を得なければならない。 （ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kW以上260kW以下）を搭載した建設機械に限る） ・バックホウ（ベースマシンを含む） ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザー ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット （以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの：油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、オールケーシング掘削機、リパارسアーケレションドリル、地下連続壁施工機、全周回転オールケーシング掘削機） ・ロードローラー、タイヤローラー、振動ローラー ・ホイールクレーン
⑭ ⑭ 過積載の防止	ダンプトラック等による過積載等の防止について (1) 工所用資機材等の積載超過のないようにすること。 (2) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。 (3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては資材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。 (4) ざし枠の装着又は物品載荷装置の不正改造をしたダンプカーが工事現場に出入りすることのないようにすること。 (5) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下、法という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体の等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 (6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮の欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。 (7) 以上のことにつき、下請け契約における受注者を指導すること。
⑮ ⑮ 事故報告	工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、監督員が指示する様式の工事事故報告書を作成し、指示する期日までに提出する。(建1.3.10) (電1.3.5) (建1.3.7)
⑯ ⑯ 不可抗力による損害	工事の施工中に、天災等、不可抗力による災害が発生した場合には、直ちに工事災害通知書により、監督職員に報告する。 なお、天災等とは、周囲の状況により判断し、相当の範囲に達って、他の一般物件にも影響を及ぼしたと認められる場合をいう。ただし、請負者が善良な注意義務を怠ったことに基づくものは、除く。(建1.3.10) (電1.3.6) (建1.3.7)
⑰ ⑰ 建築材料等	本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること (3) 安定的な供給が可能であること (4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。

18

化学物質を発散する建築材料等

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の１）から５）を満たすものとする。
１）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上け塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散の極めて少ないものとする。
２）保温材、断熱材、断熱材はホルムアルデヒド及びステレンを放散しないか、放散の極めて少ないものとする。
３）接着材はフタル酸ジ－ｎ－ｐチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散の極めて少ないものとする。
４）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散の極めて少ないものとする。
５）１）、３）及び４）の建築材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の計器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散の極めて少ないものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次の通りとする。
規制対象外
①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆規格品
②建築基準法施工令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品
③下記表示のあるＪＡＳ規格品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
第三種
①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆規格品
②建築基準法施工令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品
③旧ＪＩＳのE0規格品
④旧ＪＡＳのF00規格品

19

揮発性有機化合物の室内濃度の測定

施工完了時に指定した室の測定対象化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認して監督職員に報告する。なお、報告書は、所定の様式及び電子ファイルとする。
測定法
※パッシブ型採取法・検知管法・検知紙法・定電位電解法・吸光光度法
施工前の測定・行う・行わない
測定対象化学物質
・学校施設
ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン
エチルベンゼン、ステレン
・学校以外の施設
ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン
測定場所（※図示）
測定箇所数（ ）箇所

20

資材等の県内優先調達

工事に使用する資材等については、地場産業の活性化を図るため、原則として県内生産品を使用しなければならない。
ただし、WTO対象工事については、県内生産品を使用するよう努めるものとする。

請負金額が、500万円以上になる場合、本工事に使用した資材（アスファルト合材・生コンクリート・砕石類・コンクリート二次製品は、記載必須の資材とする。それ以外は、記載任意の資材とする。）を工事完成までに、書面（様式－2）（県内業者、県内産建設資材の活用用）：建設資材使用報告書）及び電子ファイルによって監督職員に提出すること。

請負金額が500万円以上になる工事において、県内生産品以外を使用する場合、その理由を付した書面（様式－3（県内業者、県内産建設資材の活用用）：長崎県内産資材を使用しない理由書）及び説明資料を事前に監督職員に提出し、その理由について承認を得なければならない。

工事に使用する資材等については、長崎県内に本店を有する者の中から調達するよう努めなければならない。

県内生産品とは
①長崎県内の工場にて製造・加工された資材・製品であること。
「材料が県外製品であっても、県内の工場で製造・加工したもの（二次製品）であれば、県内生産品として取り扱う」
②公共建築工事標準仕様書（建築工事編、電気設備工事編、機械設備工事編）その他関連する仕様書等の基準を満たす資材・製品であること。

21

特別な材料の工法

22

下請負人

下請負人は、次に掲げる要件をすべて満たしていること。
（１）請負者が、工事の施工につき、総合的に企画、指導及び調整するものであること。
（２）下請負人が長崎県の入札参加資格者である場合には、指名停止期間中でないこと。
（３）下請負人は、当該下請工事の施工能力を有すること。
（４）下請負人が共同企業体でないこと。

下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方原則として「県内に主たる営業所」を有するものの中から選定しなければならない。
ただし、WTO対象工事については、「県内に主たる営業所」を有するものの中から選定するよう努めるものとする。

請負金額が500万円以上になる場合、本工事に使用した下請負人を工事完成までに、書面（様式－1（県内業者、県内産建設資材の活用用）：下請企業使用報告書）及び電子ファイルによって監督職員に提出すること。

請負金額が500万円以上になる工事において、長崎県外の下請負人を使用する場合、その理由を付した書面（様式－4（県内業者、県内産建設資材の活用用）：長崎県内下請企業を使用しない理由書）及び説明資料を事前に監督職員に提出し、その理由について承諾を得なければならない。
なお、当該工事の発注機関が龍島の地方機関の場合は、本項1行目の「長崎県外の下請負人」を「発注機関管外の下請負人」と読み替えるものとする。

23

使用人等の管理

請負者は、使用人等（下請負者又はその代理人若しくはその使用人その他これに準ずるものを含む）の雇用条件、賃金の支払い状況、宿舍環境等を十分に把握し、適正な労働条件を確保する。
また、通時、安全対策、環境対策、衛生管理、地域住民に対する応対等の指導及び教育を行うとともに、工事が適正に遂行されるよう管理及び監督する。

24

保険の付保及び事故の補償

25

技能士

26

建設機械等

27

工事写真

28

完成写真

29

完成図

30

施工図

31

施工計画書

請負者は、雇用保険法、労働災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入する。
また、雇用者等の義務に関して生じた負債、疾病、死亡その他の事故に対して責任を持って、適正な補償を行う。
請負者は、建設業退職金共済組合に該当する場合は、同組合に加入し、その掛金収納書（発注者用）を工事の着手前（工期始期日から30日以内）に発注者に提出しなければならない。
また、公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針に従って、建設業退職金共済制度適用事業主工事現場組織を、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲げなければならない。

適用工事種別	技能検定作業
防水改修工事	・アスファルト防水工事作業・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートーチエ防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・左官作業・内外装板金作業
外壁改修工事	・左官作業・タイル張り作業・建築塗装作業 ・自動ドア施工作业
建具改修工事	・ビル用サッシ工事作業・ガラス工事作業
内装改修工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業・鋼製下地工事作業・左官作業 ・壁装作業・大工工事作業・タイル張り作業
塗装改修工事	・建築塗装作業
耐震改修工事	・鉄骨組立作業・型枠工事作業・とび作業・鉄筋組立作業
コンクリートブロック	・コンクリートブロック工事作業
・ALCパネル工事	・エーエルシーパネル工事作業
石工事	・石張り作業
植栽工事	・造園工事作業
機械設備工事	・配管施工（配管工事） ・熱絶縁施工（保温工事） ・建築板金施工（ダクト製作および取付け） ・冷凍空調調和機器施工（冷凍空調機器の据付）

軽油仕様の建設機械等を使用する軽油は、規格（ＪＩＳ）にあったものを使用する。
請負者は、発注者が自らまたは発注者が指定する第三者が行う建設機械等から採油する調査に対して監督員の指示によりこれに協力する。

下記工事写真を監督職員に提出する。

区 分	分 類	規 格	撮影箇所数	部数	原板の大きさ	備考
※着工前	カラー	※サービス・	※3部	※1部	24×36以上	
※工事中	カラー	※サービス・	※1部	・	24×36以上	
※完成時	※カラー	※サービス・	外部（ ）内部（ ）	※3部・1部	24×36以上	外観4面のみ2部増

工事写真の撮り方は、「工事写真の撮り方（参考）」（長崎県土木部建築課）による。

仕様項目	内 容
総画素数	100万画素以上
記録画素数	640×480以上
ファイル形式	J P E G
圧縮率	1／1>圧縮率≧1／10程度
	M O、C D－R O M、C D－R

下記完成写真を監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ
・カラー ※キャビネ板 ※べた焼 （他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ板）提出）	外部（ ）内部（ ）	※2・6	※100×125以上・
・カラー半切木製パネル 324×400 (mm)	外部（ ）内部（ ）	※2・	
・電子データ	外部（ ）内部（ ）	※2・	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。
電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式数画素とし、CD-Rにて提出とする。
完成写真は下記業者の撮影とし、箇所及び方法については監督職員の指示による。
※監督職員の承諾する撮影業者
（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする）

32

保全に関する資料

33

提出書類

34

既存建物との取合い

35

設備工事との取合い

36

設計G L

37

施工体制点検調査への協力

38

調査・試験に対する協力

39

重点的な監督業務

40

暴力団等による不当要求の排除対策

41

現場技術者等の腕章着用

42

瑕疵点検

※提出する提出部数（ ）部・提出しない[1.8.3]
1.8.3(a)の他、下記について必要事項を記入の上監督職員に提出する。
提出は、所定の様式及び電子ファイルとする。
管理者のための建築保全の手引き（改訂版）（建設大臣官房官庁常務課監修）

契約書に定める請求、通知、報告、申出、承諾及び解除等は、監督職員を経由して行う。
ただし、次に定めるものを除く。
（１）請負代金に係る請求書
（２）代金代理受領承諾申請書
（３）遅延利息請求書
（４）監督職員に関する措置請求に係る書類

工事中、取合工事範囲外の部分に汚損を生じた場合は原形に復する。

設備機器の位置、取合い等の検討のできる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

※図示・現状地盤の平均高さとし、監督職員の指示による。

長崎県が「公共工事現場点検強化事業業務」を委託している「調査監」が、工事現場において、施工体制等の点検調査を実施するときは、これに協力すること。
１）本工事は、工事現場における施工体制等の点検調査を（財）長崎県建設技術研究センターに委託しているので、（財）長崎県建設技術研究センターの「調査監」により本調査を実施することがある。
２）「調査監」は点検調査を実施するものであり、本工事における指示等の権限を有しない。
３）「調査監」は、本調査時には技術調査監証明書（身分証明書）を携帯し、請負者に提示する。

「調査監」の証明書	
（表）	（裏）
身分証明書No. 号 下記の数は「調査監」として 認定したものであることを証明する。 所属 長崎県建設技術研究センター 氏名 ○○○○ 生年月日 年 月 日 発 行 日 年 月 日 有効期限 年 月 日 長崎県建設技術研究センター 理事長 ○○○○ 印	１．図表は「施工体制等調査報告書」による。 ２．調査票は、点検等には本証を準準し、必要な場合には、何時でも調査できるようにしなければならない。 ３．本証は他人に貸与する等不正に行使してはならない。 ４．本証は紛失し、または紛失したとき若しくは盗難内部に 変更が生じたときは、速やかに再交付を受けなければならない。 ５．本証は、職権、委任等不正になったときは、速やかに返 納しなければならない。 ６．本証は公印及び写真貼付付けない場合は無効とする。

請負者は、長崎県、国及び長崎県が指定する第三者が行う調査及び試験（公共工事労務費調査、諸経費動向調査、施工合理化調査等）に対して、監督員の指示によりこれに協力する。

WTO対象工事において、低入札調査基準価格を下回って落札した場合は、重点的な監督業務を実施する。

上記以外で重点的な監督業務を実施する工事・対象工事※対象外工事

請負人は、当該工事の施工にあたって長崎県建設工事暴力団対策要綱（平成18年7月1日一部改正）に基づき、次に掲げる事項を遵守すること。
（違反したことが判明した場合、指名除外の措置を行う等、厳正に対処する。）
１．不当要求を受けた場合（下請け業者が受けた場合も含む）は、毅然として拒否し、所轄の警察署に届出を行い、捜査上必要な協力を行うとともに、その旨を速やかに監督員に報告する。
２．暴力団又は暴力団関係者から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、所轄の警察署に被害届を提出するとともに、その旨を速やかに監督員に報告する。
３．上記１．２の排除対策を講じたにもかかわらず、上記２の要因により工期に遅れが生じるおそれがある場合には、速やかに監督員と工程に関する協議を行う。

現場代理人、監理技術者、主任技術者等の現場技術者は、腕の見やすい箇所に腕章を着用する。
なお、腕章の仕様については、下記例を参考として監督職員と協議する。

（例１）現場代理人の場合

現場代理人

3 cm程度9 cm程度

（例２）監理技術者、主任技術者の場合

〇〇技術者

3 cm程度9 cm程度

（例３）現場代理人と技術者を兼務している場合

現場代理人
〇〇技術者

※①会社名・会社マーク等の記載も可。
②既に使用の腕章で類似品も可。

２．請負代金が500万円以上の工事の場合には、請負者が配置する監理技術者、主任技術者（下請の主任技術者を含む）、専任義務のある元請の専門技術者は、身分を証明できる資料（技術者証や免許証等）を携行しなければならない。

※行う・行わない
瑕疵点検の時期
竣工後 ※1年 ※2年・
瑕疵点検を行うときは、事前に内容、方法、立会等について監督職員に確認を受ける。

中村信夫 建築研究所

NADO Nakamura Architectual Design Office

210701

長崎市白鳥町4-10-202 TEL095-844-0405
1級建築士事務所長崎県知事登録 第118085号
1級建築士 建設大臣登録 第149017号 中村信夫

CHECKED	DATE
N. 中村	H22. 7

工事名称滑石9AP外壁改修工事

改修特仕仕様書（その2）

図 番A-002

平成21年版

仮設工事	①	足場その他	内部足場 種別 ※きやつた、足場板等 ・ [2.2.1] [2.2.1] 外部足場 種別 ※A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 [2.2.1] [2.2.1] 防護シートによる養生 ※行方 ・ 行わない 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省 基発第0424 001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 材料、撤去材料等の運搬 [2.2.1] [2.2.2] ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 既存部分の養生 ※ビニルシート等 ・ [2.3.1] [2.3.1] 既存家具等の養生 ※ビニルシート等 ・ 固定家具等の移動 ※行わない ・ 行方（図示） 3 仮設間仕切 [2.3.1] [2.3.1] 仮設間仕切り等の種別 <table><tr><th>種 別</th><th>下 地</th><th>仕上材（厚さ mm）</th><th>充てん材</th><th>塗 装</th></tr><tr><td>・ A種</td><td>※軽重鉄骨 ・ 合板（※9.0 ・ ）</td><td></td><td></td><td>※無し</td></tr><tr><td>・ B種</td><td>・ 木下地</td><td>※せつこうボード（※9.5 ・ ）</td><td>厚さ mm</td><td>・ 片面</td></tr><tr><td>※C種</td><td>・ 単管下地</td><td>・ 防災シート</td><td></td><td></td></tr><tr><td>仮設扉</td><td>※木製扉</td><td>※合板張り程度 ・</td><td></td><td>※無し</td></tr><tr><td></td><td>・ 鋼製扉</td><td>※片面フラッシュ程度 ・</td><td></td><td>・ 有り</td></tr></table> ・ 既存建物内の一部を使用する ・ 構内に設置する ・ 設けない [2.4.1] ・ 規模及び仕上げの程度は現場説明書による ⑤ 工事用水 構内既存の施設 ※利用できない ・ 利用できる（※有償 ・ 無償） ⑥ 工事用電力 構内既存の施設 ※利用できない ・ 利用できる（※有償 ・ 無償）	種 別	下 地	仕上材（厚さ mm）	充てん材	塗 装	・ A種	※軽重鉄骨 ・ 合板（※9.0 ・ ）			※無し	・ B種	・ 木下地	※せつこうボード（※9.5 ・ ）	厚さ mm	・ 片面	※C種	・ 単管下地	・ 防災シート			仮設扉	※木製扉	※合板張り程度 ・		※無し		・ 鋼製扉	※片面フラッシュ程度 ・		・ 有り	⑦	とい	この材料 [3.1.2] [2.3.1] ※配管用鋼管 ○硬質塩化ビニル管 ・ 排水用リサイクル硬質塩化ビニル管（R E P - V U ） ⑥ 鋼管製といの防露 [3.1.2] [2.3.1] ・ 次の箇所は行わない（ ） ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ 第三種 排出口 ※有り ・ なし 縦い受け金物の取付け [3.1.2] ※図示 ・ 横仕 1 3 . 5 . 3 (d) (2)による 8 アルミニウム製窓木 [3.1.2] [2.3.1] <table><tr><th>種 類</th><th>呼称肉厚 (mm)</th><th>表面処理</th><th>固定間隔</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ 2 5 0 形</td><td>1 . 6 以上</td><td>※ A - 1 種又は B - 1 種</td><td>固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの</td><td>隅角部及び突出り部等の役物は本体製造所の仕様による</td></tr><tr><td>・ 3 0 0 形</td><td>1 . 8 以上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 3 5 0 形</td><td>2 . 0 以上</td><td>・ B - 2 種</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 1 0 0 形</td><td></td><td>()</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 板材折曲げ形の取付工法 ・ 図示 [3.1.2] 9 折板葺 [3.1.2] (表3.1.2) <table><tr><th>形式</th><th>※重ね形</th><th>・ はぜ締め形</th><th>・ かん合形</th></tr><tr><td>形状 (mm)</td><td>山高 ()</td><td>山ピッチ ()</td><td>板厚 0 . 6 ・ 0 . 8</td></tr><tr><td>材料 (規格等)</td><td>※塗装溶融 5 5 % アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (C G L C C R - 2 0 - A 2 1 5 0)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>軒先面戸板</td><td>※有り ・ 無し</td><td></td><td></td></tr><tr><td>断熱材</td><td>※有り (種別： 厚さ： mm) ・ 無し</td><td></td><td></td></tr><tr><td>耐火性能</td><td>※ 3 0 分耐火 ・ 無し</td><td></td><td></td></tr></table>	種 類	呼称肉厚 (mm)	表面処理	固定間隔	備 考	・ 2 5 0 形	1 . 6 以上	※ A - 1 種又は B - 1 種	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突出り部等の役物は本体製造所の仕様による	・ 3 0 0 形	1 . 8 以上				・ 3 5 0 形	2 . 0 以上	・ B - 2 種			・ 1 0 0 形		()			・	・				・	・				形式	※重ね形	・ はぜ締め形	・ かん合形	形状 (mm)	山高 ()	山ピッチ ()	板厚 0 . 6 ・ 0 . 8	材料 (規格等)	※塗装溶融 5 5 % アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (C G L C C R - 2 0 - A 2 1 5 0)			軒先面戸板	※有り ・ 無し			断熱材	※有り (種別： 厚さ： mm) ・ 無し			耐火性能	※ 3 0 分耐火 ・ 無し																																																																																																																																																																																																																	
	種 別	下 地	仕上材（厚さ mm）	充てん材	塗 装																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	・ A種	※軽重鉄骨 ・ 合板（※9.0 ・ ）			※無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	・ B種	・ 木下地	※せつこうボード（※9.5 ・ ）	厚さ mm	・ 片面																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	※C種	・ 単管下地	・ 防災シート																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	仮設扉	※木製扉	※合板張り程度 ・		※無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		・ 鋼製扉	※片面フラッシュ程度 ・		・ 有り																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	種 類	呼称肉厚 (mm)	表面処理	固定間隔	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	・ 2 5 0 形	1 . 6 以上	※ A - 1 種又は B - 1 種	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突出り部等の役物は本体製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	・ 3 0 0 形	1 . 8 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 3 5 0 形	2 . 0 以上	・ B - 2 種																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 1 0 0 形		()																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
形式	※重ね形	・ はぜ締め形	・ かん合形																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
形状 (mm)	山高 ()	山ピッチ ()	板厚 0 . 6 ・ 0 . 8																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
材料 (規格等)	※塗装溶融 5 5 % アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (C G L C C R - 2 0 - A 2 1 5 0)																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
軒先面戸板	※有り ・ 無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
断熱材	※有り (種別： 厚さ： mm) ・ 無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
耐火性能	※ 3 0 分耐火 ・ 無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
防水改修工事	③	アスファルト防水	[3.3.2~3] [表3.1.1] [表3.3.2~10] <table><tr><th>防水改修工法の種類</th><th>施工箇所</th><th>新規防水層の種類</th></tr><tr><td>保 ・ P 1 B</td><td></td><td>・ B - 1 ※ B - 2</td></tr><tr><td>護 ・ P 1 B 1 ・ T 1 B 1</td><td></td><td>・ B 1 - 1 ※ B 1 - 2</td></tr><tr><td>防 ・ P 2 A 1</td><td></td><td>・ A 1 - 1 ※ A 1 - 2</td></tr><tr><td>水 ・ P 2 A</td><td></td><td>・ A - 1 ※ A - 2</td></tr><tr><td>露出 ・ M 4 C</td><td></td><td>・ C - 1 ※ C - 2</td></tr><tr><td>防水 ・ M 3 D ・ P O D</td><td></td><td>・ D - 1 ※ D - 2</td></tr><tr><td>屋内防水 ・ P 1 E ・ P 2 E</td><td></td><td>・ E - 1 ※ E - 2 (保護層は図示による)</td></tr></table> アスファルトの種類 ※3種 ・ 4種 [3.3.2] [3.3.2] 保護コンクリートのコンクリート種類 ※普通コンクリート [3.3.2] [3.3.2] P O D工法の二重ドレン ※設けない ・ 設ける [3.3.2] [3.3.2] M 3 D、P O D工法の脱気装置 ※設けない ・ 設ける [3.3.2] [3.3.2] 既露出防水層表面の仕上げ塗装 (M 4 C工法の場合) ・ 除去する [3.2.6] [3.2.6] 断熱工法の断熱材 厚さ (mm) ※25 ・ ただし、特定フロンを含まないもの。 立上り部の保護 [3.3.2] [3.3.2] ・ れんがの種類 ※見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形コンクリートブロックとする。 ・ 乾式保護材の材料 ※押出成形セメント板 厚さ 15 mm 2 改質アスファルトシート防水 [3.4.2~3] [表3.1.1] [表3.4.1~4] <table><tr><th>防水改修工法の種類</th><th>施工箇所</th><th>新規防水層の種類</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>・ M 4 A S 工法</td><td></td><td>・ A S - 1 ・ A S - 2 ・ A S - 3</td><td></td></tr><tr><td>・ M 3 A S 工法</td><td></td><td>・ A S - 4 ・ A S - 5 ・ A S - 6</td><td></td></tr><tr><td>・ P O A S 工法</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ M 3 A S I 工法</td><td></td><td>・ A S I - 1 ・ A S I - 2</td><td></td></tr><tr><td>・ M 4 A S I 工法</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ P O A S I 工法</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 脱気装置 ※設けない ・ 設ける 3 合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.5.2~3] [表3.1.1] [表3.5.1] <table><tr><th>防水改修工法の種類</th><th>施工箇所</th><th>新規防水層の種類</th><th>仕上げ塗料等</th><th>使用分類</th></tr><tr><td>・ P O S 工法</td><td></td><td>・ S - F 1 ・ S - M 1</td><td>・ カラー</td><td rowspan="4">※非歩行 ・ 軽歩行</td></tr><tr><td>・ S 4 S 工法</td><td></td><td>・ S - F 2 ・ S - M 2</td><td>・ シルバー</td></tr><tr><td>・ S 3 S 工法</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ M 4 S 工法</td><td></td><td>・ S - M 1 ・ S - M 2</td><td></td></tr><tr><td>・ P O S I 工法</td><td></td><td>・ S I - F 1 ・ S I - M 1</td><td></td><td rowspan="4"></td></tr><tr><td>・ S 3 S I 工法</td><td></td><td>・ S I - F 2 ・ S I - M 2</td><td></td></tr><tr><td>・ S 4 S I 工法</td><td></td><td>・ S I - M 3</td><td></td></tr><tr><td>・ M 4 S I 工法</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない [3.5.3] [3.5.3] 目地処理 P Cコンクリートの場合 () [3.5.4] [3.5.4] 4 塗膜防水 [3.6.2~3] [表3.1.1] [表3.6.1] <table><tr><th>防水改修工法の種類</th><th>施工箇所</th><th>新規防水層の種類</th><th>仕上げ塗料塗り</th></tr><tr><td>・ P O X 工法</td><td></td><td>※ X - 1</td><td>・ シルバー</td></tr><tr><td>・ L 4 X 工法</td><td></td><td>※ X - 2</td><td>・ カラー</td></tr></table> 既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装 (L 4 X工法の場合) ・ 除去する [3.2.6] [3.2.6] 脱気装置 ※設けない ・ 設ける [3.6.3] [3.6.3] 5 脱気装置 [3.3.3] [3.4.3] [3.5.3] <table><tr><th>型</th><th>材 質</th><th>設置数量</th></tr><tr><td>・ 平面部脱気型</td><td>・ ポリエチレン樹脂 ・ A B S樹脂 ・ ステンレス ・ 鉄鉄</td><td>() m 当たり 1 箇所</td></tr><tr><td>・ 立上がり部脱気型</td><td>・ 合成ゴム ・ 塩化ビニル樹脂 ・ ステンレス ・ 銅</td><td>() m²当たり 1 箇所</td></tr></table> ⑥ シーリング [3.1.4] [表3.1.2] シーリング改修工法の種類 ○シーリング充てん工法 ○シーリング再充てん工法 ・ 拡張シーリング再充てん工法 ・ ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.2] [表3.7.1] ※下表以外は、改修仕様表 3 . 7 . 1 を標準とする <table><tr><th>施工箇所</th><th>シーリング材の種類（記号）</th></tr><tr><td>・ 建築廻り</td><td>MS-2</td></tr><tr><td>・ 外壁化粧目地</td><td>PU-2</td></tr></table>	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	保 ・ P 1 B		・ B - 1 ※ B - 2	護 ・ P 1 B 1 ・ T 1 B 1		・ B 1 - 1 ※ B 1 - 2	防 ・ P 2 A 1		・ A 1 - 1 ※ A 1 - 2	水 ・ P 2 A		・ A - 1 ※ A - 2	露出 ・ M 4 C		・ C - 1 ※ C - 2	防水 ・ M 3 D ・ P O D		・ D - 1 ※ D - 2	屋内防水 ・ P 1 E ・ P 2 E		・ E - 1 ※ E - 2 (保護層は図示による)	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	厚さ (mm)	・ M 4 A S 工法		・ A S - 1 ・ A S - 2 ・ A S - 3		・ M 3 A S 工法		・ A S - 4 ・ A S - 5 ・ A S - 6		・ P O A S 工法				・ M 3 A S I 工法		・ A S I - 1 ・ A S I - 2		・ M 4 A S I 工法				・ P O A S I 工法				防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料等	使用分類	・ P O S 工法		・ S - F 1 ・ S - M 1	・ カラー	※非歩行 ・ 軽歩行	・ S 4 S 工法		・ S - F 2 ・ S - M 2	・ シルバー	・ S 3 S 工法				・ M 4 S 工法		・ S - M 1 ・ S - M 2		・ P O S I 工法		・ S I - F 1 ・ S I - M 1			・ S 3 S I 工法		・ S I - F 2 ・ S I - M 2		・ S 4 S I 工法		・ S I - M 3		・ M 4 S I 工法				防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料塗り	・ P O X 工法		※ X - 1	・ シルバー	・ L 4 X 工法		※ X - 2	・ カラー	型	材 質	設置数量	・ 平面部脱気型	・ ポリエチレン樹脂 ・ A B S樹脂 ・ ステンレス ・ 鉄鉄	() m 当たり 1 箇所	・ 立上がり部脱気型	・ 合成ゴム ・ 塩化ビニル樹脂 ・ ステンレス ・ 銅	() m ² 当たり 1 箇所	施工箇所	シーリング材の種類（記号）	・ 建築廻り	MS-2	・ 外壁化粧目地	PU-2	④	外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁 2 欠損部改修工法 3 鉄筋腐食の補修	・ ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン酢ビ系等 曲げ強さ 圧縮強さ 接着強さ (N/mm ²) (N/mm ²) (N/mm ²) 標準時 湿潤時 低温時 6 . 0 以上 2 0 . 0 以上 1 . 0 以上 0 . 8 以上 0 . 5 以上 表面状態 だれのの下り量は 5 mm 以下とし、ひび割れが発生していないこと。 透水性 裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 ・ ポリマーセメントスラリー 広がり速度 長さ変化率 引張接着性 曲げ性能 吸水性 耐久性 (cm/s) (収縮) (材齢 2 8 日) (材齢 2 8 日) (7 2 時間) (劣化曲げ強さ) 3 以上 3 % 以下 0 . 5 N/mm ² 5 . 0 N/mm ² 1 5 % 以下 5 . 0 N/mm ² 保水係数 0 . 3 5 ~ 0 . 5 5 粘着係数 0 . 5 0 ~ 1 . 0 0 ・ 吸水調整材 項目 全固分 (%) 吸水性 (g) 接着強度 (N/mm ²) 界面破壊率 (%) 品質・性能 表示値 ± 1 % 以内 3 0 分で 1 g 以下 0 . 9 8 以上 5 0 % 以下 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 ④ ① ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.3.4] <table><tr><th>注入工法の種類</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入間隔 (mm)</th><th>注入量 (ml / cm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0 . 2 以上 ~ 1 . 0 未満</td><td>※ 2 0 0 ~ 3 0 0</td><td>※</td><td></td></tr><tr><td>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0 . 2 以上 ~ 0 . 3 未満</td><td>※ 5 0 ~ 1 0 0</td><td>※ 4 0 ・</td><td></td></tr><tr><td>・ 注入工法</td><td>0 . 3 以上 ~ 0 . 5 未満</td><td>※ 1 0 0 ~ 2 0 0</td><td>※ 7 0 ・</td><td></td></tr><tr><td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0 . 5 以上 ~ 1 . 0 未満</td><td>※ 1 5 0 ~ 2 5 0</td><td>※ 1 3 0 ・</td><td></td></tr></table> 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (J I S A 6 0 2 4 低粘度形又は中粘度形) 検査 (コア採取) ※行わない [4.3.4] ・ 行方 (採取部部の補修方法：) ・ U カットシー ル材充てん工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.5] <table><tr><th>充てん材料</th><th>品質・規格等</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ シーリング用材料</td><td>※ 1 成分形又は 2 成分形 ポリウレタン系シーリング材</td><td>ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ○ 行方</td></tr><tr><td>・ 可とう性エポキシ樹脂</td><td></td><td></td></tr></table> ・ シール工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.4] ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ※充てん工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.4] ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル 回復目標レベル [4.1.4] [4.2.2] [4.3.4] ・ 恒久 ・ 延命 ・ 暫定 補修の方法 ・ ひび割れ補修工法 ・ 鉄筋腐食補修工法 ・ 鉄筋腐食抑制工法 ・ 中性化抑制工法 ・ 塩害抑制工法 ④ ② 1 既存モルタル塗りの撤去 ② ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.5] <table><tr><th>注入工法の種類</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入間隔 (mm)</th><th>注入量 (cc / cm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0 . 2 以上 ~ 1 . 0 未満</td><td>※ 2 0 0 ~ 3 0 0</td><td>※</td><td></td></tr><tr><td>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0 . 2 以上 ~ 0 . 3 未満</td><td>※ 5 0 ~ 1 0 0</td><td>※ 4 0 ・</td><td></td></tr><tr><td>・ 注入工法</td><td>0 . 3 以上 ~ 0 . 5 未満</td><td>※ 1 0 0 ~ 2 0 0</td><td>※ 7 0 ・</td><td></td></tr><tr><td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0 . 5 以上 ~ 1 . 0 未満</td><td>※ 1 5 0 ~ 2 5 0</td><td>※ 1 3 0 ・</td><td></td></tr></table> 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (J I S A 6 0 2 4 低粘度形又は中粘度形) 検査 (コア採取) ※行わない [4.3.4] ・ 行方 (採取部部の補修方法：) ○ U カットシー ル材充てん工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.5] <table><tr><th>充てん材料</th><th>品質・規格等</th><th>備 考</th></tr><tr><td>○ シーリング用材料</td><td>※ 1 成分形又は 2 成分形 ポリウレタン系シーリング材</td><td>ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ○ 行方</td></tr><tr><td>・ 可とう性エポキシ樹脂</td><td></td><td></td></tr></table> ・ シール工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.4.1] (※既存モルタル面 ・ 既存躯体コンクリート面) ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ 既存塗仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2] [4.6.3] (※シール工法の範囲 ・)	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (ml / cm)	備 考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0 . 2 以上 ~ 1 . 0 未満	※ 2 0 0 ~ 3 0 0	※		・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0 . 2 以上 ~ 0 . 3 未満	※ 5 0 ~ 1 0 0	※ 4 0 ・		・ 注入工法	0 . 3 以上 ~ 0 . 5 未満	※ 1 0 0 ~ 2 0 0	※ 7 0 ・		・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0 . 5 以上 ~ 1 . 0 未満	※ 1 5 0 ~ 2 5 0	※ 1 3 0 ・		充てん材料	品質・規格等	備 考	・ シーリング用材料	※ 1 成分形又は 2 成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ○ 行方	・ 可とう性エポキシ樹脂			注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (cc / cm)	備 考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0 . 2 以上 ~ 1 . 0 未満	※ 2 0 0 ~ 3 0 0	※		・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0 . 2 以上 ~ 0 . 3 未満	※ 5 0 ~ 1 0 0	※ 4 0 ・		・ 注入工法	0 . 3 以上 ~ 0 . 5 未満	※ 1 0 0 ~ 2 0 0	※ 7 0 ・		・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0 . 5 以上 ~ 1 . 0 未満	※ 1 5 0 ~ 2 5 0	※ 1 3 0 ・		充てん材料	品質・規格等	備 考	○ シーリング用材料	※ 1 成分形又は 2 成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ○ 行方	・ 可とう性エポキシ樹脂			③ 欠損部改修工法 ④ 浮き部改修工法 4 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁 3 欠損部改修工法 4 浮き部改修工法 5 目地改修工法	既存モルタル面の欠損部 [4.1.4] [4.4.2] <table><tr><th>改修工法の種類</th><th>材 料</th><th>品質・規格等</th></tr><tr><td>○ 充てん工法</td><td>ポリマーセメントモルタル</td><td></td></tr><tr><td>・ モルタル塗替え工法</td><td>改修仕様 4 . 2 . 2 (g) による</td><td>塗厚 2 5 mm を超える場合の補強 ※行方 ・ 行わない ・ 図示</td></tr></table> 既製目地材 ・ 適用する (形状 ※図示 ・) [4.2.2] [4.1.4] [4.4.10] [表4.3.4] <table><tr><th>改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)</th><th>アンカービンの本数 (本 / m²)</th><th>注入口の箇所数 (箇所 / m²)</th><th>充てん量</th></tr><tr><td>・ アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 1 6</td><td>※ 2 5</td><td>※ 2 5 m l</td></tr><tr><td>○ アンカービンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 1 3</td><td>※ 2 0</td><td>※ 2 0</td></tr><tr><td>・ アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※ 1 3</td><td>※ 2 0</td><td>※ 2 0</td></tr><tr><td>・ 注入口付アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 9</td><td>※ 1 6</td><td>※ 2 5 m l</td></tr><tr><td>・ 注入口付アンカービンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 9</td><td>※ 1 6</td><td>※ 2 5 m l</td></tr><tr><td>・ 注入口付アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※ 9</td><td>※ 1 6</td><td>※ 2 5 m l</td></tr></table> アンカービン [4.2.2] 材質 ※ステンレス S U S 3 0 4 、呼び径 4 mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの 注入口付アンカービン [4.2.2] 材質 ※ステンレス S U S 3 0 4 、呼び径 外径 6 mm 1 既存タイル張りの撤去 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・ 張付けモルタルまで ・ タイルのみ 2 ひび割れ部改修工法 改修箇所 ※既存タイル張り面 ・ 既存タイル撤去面 (・ コンクリート面 ・ モルタル面) ※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.4] [4.5.5] <table><tr><th>注入工法の種類</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入間隔 (mm)</th><th>注入量 (ml / cm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0 . 2 以上 ~ 1 . 0 未満</td><td>※ 2 0 0 ~ 3 0 0</td><td>※</td><td></td></tr><tr><td>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0 . 2 以上 ~ 0 . 3 未満</td><td>※ 5 0 ~ 1 0 0</td><td>※ 4 0 ・</td><td></td></tr><tr><td>・ 注入工法</td><td>0 . 3 以上 ~ 0 . 5 未満</td><td>※ 1 0 0 ~ 2 0 0</td><td>※ 7 0 ・</td><td></td></tr><tr><td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0 . 5 以上 ~ 1 . 0 未満</td><td>※ 1 5 0 ~ 2 5 0</td><td>※ 1 3 0 ・</td><td></td></tr></table> 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (J I S A 6 0 2 4 低粘度形又は中粘度形) 検査 (コア採取) ※行わない [4.3.4] ・ 行方 (採取部部の補修方法：) ・ U カットシー ル材充てん工法 (既存タイル張り撤去面) [4.1.4] [4.2.2] [4.3.5-6] <table><tr><th>充てん材料</th><th>品質・規格等</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ シーリング用材料</td><td>※ 1 成分形又は 2 成分形 ポリウレタン系シーリング材</td><td>ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・ 行方</td></tr><tr><td>・ 可とう性エポキシ樹脂</td><td></td><td></td></tr></table> ・ タイル部分張替え工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.5.7] <table><tr><th>接着剤の種類</th><th>品質・規格等</th></tr><tr><td>※ポリマーセメントモルタル ・ タイル部分張替え工法用接着剤</td><td>「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官庁技術調査室監修 平成 9 年 2 月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準 (案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ I であり監督職員の承諾するもの又は特記による。</td></tr></table> ・ タイル張替え工法 [4.1.4] [4.5.8] 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8] [表4.5.1] 位置 ※改修仕様表 4 . 5 . 1 による ・ 図示 [4.1.4] [4.5.9] [表4.3.4] <table><tr><th>改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)</th><th>アンカービンの本数 (本 / m²)</th><th>注入口の箇所数 (箇所 / m²)</th><th>充てん量</th></tr><tr><td>・ アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 1 6</td><td>※ 2 5</td><td>※ 2 5 m l</td></tr><tr><td>・ アンカービンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 1 3</td><td>※ 2 0</td><td>※ 2 0</td></tr><tr><td>・ アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※ 1 3</td><td>※ 2 0</td><td>※ 2 0</td></tr><tr><td>・ 注入口付アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 9</td><td>※ 1 6</td><td>※ 2 5 m l</td></tr><tr><td>・ 注入口付アンカービンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 9</td><td>※ 1 6</td><td>※ 2 5 m l</td></tr><tr><td>・ 注入口付アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※ 9</td><td>※ 1 6</td><td>※ 2 5 m l</td></tr><tr><td>・ 注入口付アンカービンニングエポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 9</td><td>※ 1 6</td><td>※ 2 5 m l</td></tr></table> アンカービン [4.2.2] 材質 ※ステンレス S U S 3 0 4 、呼び径 4 mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの 注入口付アンカービン [4.2.2] 材質 ※ステンレス S U S 3 0 4 、呼び径 外径 6 mm ・ 目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.5.10] ・ 伸縮目地改修工法 [4.1.4] [4.5.10] シーリング用材料 [3.1.2] [表3.7.1] 種類 ※改修仕様表 3 . 7 . 1 による	改修工法の種類	材 料	品質・規格等	○ 充てん工法	ポリマーセメントモルタル		・ モルタル塗替え工法	改修仕様 4 . 2 . 2 (g) による	塗厚 2 5 mm を超える場合の補強 ※行方 ・ 行わない ・ 図示	改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカービンの本数 (本 / m ²)	注入口の箇所数 (箇所 / m ²)	充てん量	・ アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 1 6	※ 2 5	※ 2 5 m l	○ アンカービンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 1 3	※ 2 0	※ 2 0	・ アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 1 3	※ 2 0	※ 2 0	・ 注入口付アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 1 6	※ 2 5 m l	・ 注入口付アンカービンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 1 6	※ 2 5 m l	・ 注入口付アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9	※ 1 6	※ 2 5 m l	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (ml / cm)	備 考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0 . 2 以上 ~ 1 . 0 未満	※ 2 0 0 ~ 3 0 0	※		・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0 . 2 以上 ~ 0 . 3 未満	※ 5 0 ~ 1 0 0	※ 4 0 ・		・ 注入工法	0 . 3 以上 ~ 0 . 5 未満	※ 1 0 0 ~ 2 0 0	※ 7 0 ・		・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0 . 5 以上 ~ 1 . 0 未満	※ 1 5 0 ~ 2 5 0	※ 1 3 0 ・		充てん材料	品質・規格等	備 考	・ シーリング用材料	※ 1 成分形又は 2 成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・ 行方	・ 可とう性エポキシ樹脂			接着剤の種類	品質・規格等	※ポリマーセメントモルタル ・ タイル部分張替え工法用接着剤	「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官庁技術調査室監修 平成 9 年 2 月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準 (案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ I であり監督職員の承諾するもの又は特記による。	改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカービンの本数 (本 / m ²)	注入口の箇所数 (箇所 / m ²)	充てん量	・ アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 1 6	※ 2 5	※ 2 5 m l	・ アンカービンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 1 3	※ 2 0	※ 2 0	・ アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 1 3	※ 2 0	※ 2 0	・ 注入口付アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 1 6	※ 2 5 m l	・ 注入口付アンカービンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 1 6	※ 2 5 m l	・ 注入口付アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9	※ 1 6	※ 2 5 m l	・ 注入口付アンカービンニングエポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 1 6	※ 2 5 m l	工 事 設計図 図 番 A-003
	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	保 ・ P 1 B		・ B - 1 ※ B - 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	護 ・ P 1 B 1 ・ T 1 B 1		・ B 1 - 1 ※ B 1 - 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	防 ・ P 2 A 1		・ A 1 - 1 ※ A 1 - 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	水 ・ P 2 A		・ A - 1 ※ A - 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	露出 ・ M 4 C		・ C - 1 ※ C - 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	防水 ・ M 3 D ・ P O D		・ D - 1 ※ D - 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	屋内防水 ・ P 1 E ・ P 2 E		・ E - 1 ※ E - 2 (保護層は図示による)																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・ M 4 A S 工法		・ A S - 1 ・ A S - 2 ・ A S - 3																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ M 3 A S 工法		・ A S - 4 ・ A S - 5 ・ A S - 6																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ P O A S 工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ M 3 A S I 工法		・ A S I - 1 ・ A S I - 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ M 4 A S I 工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ P O A S I 工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料等	使用分類																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・ P O S 工法		・ S - F 1 ・ S - M 1	・ カラー	※非歩行 ・ 軽歩行																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・ S 4 S 工法		・ S - F 2 ・ S - M 2	・ シルバー																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ S 3 S 工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ M 4 S 工法		・ S - M 1 ・ S - M 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ P O S I 工法		・ S I - F 1 ・ S I - M 1																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ S 3 S I 工法		・ S I - F 2 ・ S I - M 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ S 4 S I 工法		・ S I - M 3																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ M 4 S I 工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料塗り																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ P O X 工法		※ X - 1	・ シルバー																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ L 4 X 工法		※ X - 2	・ カラー																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
型	材 質	設置数量																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 平面部脱気型	・ ポリエチレン樹脂 ・ A B S樹脂 ・ ステンレス ・ 鉄鉄	() m 当たり 1 箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 立上がり部脱気型	・ 合成ゴム ・ 塩化ビニル樹脂 ・ ステンレス ・ 銅	() m ² 当たり 1 箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	シーリング材の種類（記号）																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ 建築廻り	MS-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ 外壁化粧目地	PU-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (ml / cm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0 . 2 以上 ~ 1 . 0 未満	※ 2 0 0 ~ 3 0 0	※																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0 . 2 以上 ~ 0 . 3 未満	※ 5 0 ~ 1 0 0	※ 4 0 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 注入工法	0 . 3 以上 ~ 0 . 5 未満	※ 1 0 0 ~ 2 0 0	※ 7 0 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0 . 5 以上 ~ 1 . 0 未満	※ 1 5 0 ~ 2 5 0	※ 1 3 0 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
充てん材料	品質・規格等	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ シーリング用材料	※ 1 成分形又は 2 成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ○ 行方																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 可とう性エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (cc / cm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0 . 2 以上 ~ 1 . 0 未満	※ 2 0 0 ~ 3 0 0	※																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0 . 2 以上 ~ 0 . 3 未満	※ 5 0 ~ 1 0 0	※ 4 0 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 注入工法	0 . 3 以上 ~ 0 . 5 未満	※ 1 0 0 ~ 2 0 0	※ 7 0 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0 . 5 以上 ~ 1 . 0 未満	※ 1 5 0 ~ 2 5 0	※ 1 3 0 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
充てん材料	品質・規格等	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○ シーリング用材料	※ 1 成分形又は 2 成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ○ 行方																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 可とう性エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
改修工法の種類	材 料	品質・規格等																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○ 充てん工法	ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ モルタル塗替え工法	改修仕様 4 . 2 . 2 (g) による	塗厚 2 5 mm を超える場合の補強 ※行方 ・ 行わない ・ 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカービンの本数 (本 / m ²)	注入口の箇所数 (箇所 / m ²)	充てん量																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 1 6	※ 2 5	※ 2 5 m l																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
○ アンカービンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 1 3	※ 2 0	※ 2 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 1 3	※ 2 0	※ 2 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 注入口付アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 1 6	※ 2 5 m l																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 注入口付アンカービンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 1 6	※ 2 5 m l																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 注入口付アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9	※ 1 6	※ 2 5 m l																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (ml / cm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0 . 2 以上 ~ 1 . 0 未満	※ 2 0 0 ~ 3 0 0	※																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0 . 2 以上 ~ 0 . 3 未満	※ 5 0 ~ 1 0 0	※ 4 0 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 注入工法	0 . 3 以上 ~ 0 . 5 未満	※ 1 0 0 ~ 2 0 0	※ 7 0 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0 . 5 以上 ~ 1 . 0 未満	※ 1 5 0 ~ 2 5 0	※ 1 3 0 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
充てん材料	品質・規格等	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ シーリング用材料	※ 1 成分形又は 2 成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・ 行方																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 可とう性エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
接着剤の種類	品質・規格等																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
※ポリマーセメントモルタル ・ タイル部分張替え工法用接着剤	「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官庁技術調査室監修 平成 9 年 2 月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準 (案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ I であり監督職員の承諾するもの又は特記による。																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカービンの本数 (本 / m ²)	注入口の箇所数 (箇所 / m ²)	充てん量																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 1 6	※ 2 5	※ 2 5 m l																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ アンカービンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 1 3	※ 2 0	※ 2 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 1 3	※ 2 0	※ 2 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 注入口付アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 1 6	※ 2 5 m l																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 注入口付アンカービンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 1 6	※ 2 5 m l																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 注入口付アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9	※ 1 6	※ 2 5 m l																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 注入口付アンカービンニングエポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 1 6	※ 2 5 m l																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
滑石 9 A P 外壁改修工事		改修特記仕様書 (その 3)	平成 2 1 年版																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
中村信夫 建築研究所 NADO Nakamura Architectual Design Office		長崎市白鳥町 4-10-202 TEL095-844-0405 1 級建築士事務所 長崎県知事登録 第 118085 号 1 級建築士 建設大臣登録 第 149017 号 中村信夫	CHECKED N . 中村	DATE H22.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

6陶磁器質タイル貼り

タイルの種類

[4.2.2] [4.5.1~4]

形状寸法 (mm)

磁器せつ割陶器造らう無ゆうありなし標準特注適用G

きじ

うわぐすり

役物

色

再生材

備 考

既設タイル張りの工法

外装タイル

タイルの試験張り

壁タイル張りの工法

外装タイル

タイルの試験張り

4-4外壁改修工事

1既存塗膜等の除去及び下地処理

既存塗膜劣化部の除去及び下地処理の工法

工 法

処理範囲

下地面の補修

※サンダー工法

高圧水洗工法

加圧力 ※30MP a 程度以上

塗膜はく離剤工法

水洗い工法

デッキブラシ清掃

高圧水洗

塗膜はく離剤

2下地調整材

※下地調整塗材

ポリマセメントモルタル

防水形仕上塗材主材を使用

3仕上げ塗材仕上げ

種類、仕上げの形状、工法

種 別

呼び名

仕上げの形状

○薄付け仕上塗材

外装薄塗材 S i

可とう形外装薄塗材 S i

○外装薄塗材 E

可とう形外装薄塗材 E

防水形外装薄塗材 E

外装薄塗材 S i

○複層仕上塗材

複層塗材 C E

可とう形複層塗材 C E

複層塗材 S i

複層塗材 E

○複層塗材 R E

複層塗材 R S

防水形複層塗材 C E

防水形複層塗材 E

防水形複層塗材 R E

防水形複層塗材 R S

可とう形改修用仕上塗材

可とう形改修塗材 E

可とう形改修塗材 R E

可とう形改修塗材 C E

防火材料の指定が必要な場合

※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。

※アクリルゴム系塗膜防水工法

J I S S A 6 0 2 1 - 2 0 0 0 (建築用塗膜防水剤)

外壁用に適合するものとする。

J A S S 8 L A - W 同等

仕上げの形状

ゆず肌状

凸部処理

凹凸模様

4塗膜防水仕上げ

※アクリルゴム系塗膜防水工法

J I S S A 6 0 2 1 - 2 0 0 0 (建築用塗膜防水剤)

外壁用に適合するものとする。

J A S S 8 L A - W 同等

仕上げの形状

ゆず肌状

凸部処理

凹凸模様

5建具改修工事

1改修工法の適用

建具の種類

かぶせ工法

撤去工法

備 考

アルミニウム製建具

鋼製建具

外部

内部

鋼製軽量建具

ステンレス製建具

2見本の製作等

特殊な建具の仮組 (建具番号：)

3アルミニウム製建具

外部に面する建具

種 別

耐風圧性

気密性

水密性

枠見込み (mm)

※図示

施工箇所

A 種

S - 4

※A - 3

※7 0

B 種

S - 5

※W - 4

C 種

S - 6

A - 4

W - 5

1 0 0

表面処理

※B - 1

B - 2 (※ブラウン系

ブラック

ステンカラー)

屋内建具

表面処理

※C - 1 種又はB - 1 種

C - 2 種又はB - 2 種

(※ブラウン系

ブラック

ステンカラー)

4網戸

防虫網

網の種類

※合成樹脂製

ガラス繊維入り合成樹脂製

ステンレス製 (S U S 3 1 6)

形 式

※外部可動式

固定式

5鋼製建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による

耐風圧性能の適用は建具表による

特定防火設備の戸

適用する

6鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による

7ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による

耐風圧性能の適用は建具表による

表面仕上げ

※H L 仕上げ

鏡面仕上げ

曲げ加工

※普通曲げ

角出し曲げ (補強有り)

特定防火設備の戸

適用する

6内装改修工事

1改修範囲

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

図示の範囲

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

※壁面より両側6 0 0 mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

図示の範囲

天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修

※既存のまま

図示の範囲

2既存床の撤去並びに下地補修

ビニル床シート等の除去

※仕上げ材のみ (接着剤とも)

下地モルタルとも (※図示の範囲

除去範囲全て)

合成樹脂塗る床材の除去工法

機械的除去工法

目置工法

改修後の床の清掃範囲

※改修箇所の室内

3既存壁の撤去並びに下地補修

既存間仕切壁撤去に伴う他の構造物の補修

※図示

モルタル塗り (塗り厚2.5mmを超える場合の補強

行う

行わない)

4木下地等

木材の品質

※改修標準仕 6 . 5 . 2 による

市販品

代用樹脂

※改修標準仕 6 . 5 . 4 による

代用樹脂を適用しない箇所 ()

保存処理木材を適用する箇所 ()

5集材材

品 名

規格・品質

芯材の機種

化粧単板の機種

※集成材

※一般材

※タモ

なら

しおじ

構造用集成材

※1 級

2 級

造作用集成材

※1 等

2 等

化粧ばり造作用集成材

※1 等

2 等

ホルムアルデヒドの放散量

※規制対象外

第三種

6接着剤

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

※木工事に使用する接着剤

ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルノール樹脂又はホルムアルデヒド系

防腐剤 (以下、「ユリア樹脂等」という。)を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量

※規制対象外

第三種

7防腐、防蟻処理

行う箇所 ()

防腐処理

※行う (※図示)

防蟻処理

※行う (※図示)

防腐、防蟻処理の種類、品質

表面処理用木材保存剤 (防腐・防具剤) は監督職員の承諾するものとする。

8床板張り

フロ어링及び緩甲板張り床

※無し

有リ

※合板張り

ホルムアルデヒドの放散量

※規制対象外

第三種

下張り用床板

板張り

※単層フロリング (横仕19.5.2による)

ホルムアルデヒドの放散量

※規制対象外

第三種

緩甲板

※ひのき

9軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類

屋外 (・1.9形 ※2.5形) 屋内 (※1.9形 ・2.5形)

既存の埋込インサート

使用する

使用しない

あと施工アンカーの引抜き試験

行う

行わない

10軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合

※図示

11ビニル床シート張り

種 別

J I S の記号

色 柄

厚さ (mm)

※発泡層のないもの

※N C

※無地

マーブル柄

※2 . 5

発泡層のあるもの

※柄物

無地

工法

※熱溶接工法

突付け (施工箇所：)

12ビニル床タイル張り

種 別

J I S の記号

厚さ (mm)

備 考

※コンポジションビニル床タイル (半硬質)

C T

※2

※コンポジションビニル床タイル (軟質)

C T S

・

ホモジニアスピニル床タイル

H T

・

13帯電防止床タイル張り

種 別

厚さ (mm)

性 能

コンポジションビニル床タイル

※2

体積抵抗値 (J I S K 6 9 1 1 による)

ホモジニアスピニル床タイル

※4 . 0 又は4 . 5

1 . 0 × 1 0^{1 0} Ω 以下

・

・

1 . 0 × 1 0^{1 0} Ω 未満

14視覚障害者用タイル (誘導用及び注意喚起用床材)

ブロックパターンは、J I S T 9 2 5 1 による。

色彩は黄色を原則とする。

屋 内

※強化ビニル製

磁器又はせっ器質タイル (※3 0 0)

レジンコンクリート製

屋 外

※レジンコンクリート製

磁器又はせっ器質タイル (※3 0 0)

15ビニル幅木

高さ (mm) ※6 0 ・7 5 ・1 0 0

16合成樹脂張り床

種 別

仕上げの種類

弾性ウレタン塗り床材

※平滑仕上げ

防滑仕上げ

つや消し仕上げ

エポキシ樹脂塗り床材

※薄膜状し磨べ仕上げ

厚膜状し磨べ仕上げ (※平滑

防滑)

樹脂モルタル仕上げ (※平滑

防滑)

防滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量

※規制対象外

第三種

17フロ어링張り

種 別

材 種

工 法

仕上げ塗装等

備 考

※天然木化粧複合フロ어링

※なら

※釘止め工法 (C 種)

※塗装品

無塗装品

・ひのき

・

・

ホルムアルデヒドの放散量

※規制対象外

第三種

18畳敷き

下地の種類

畳の種類

改修標準仕様書

表 6 . 5 . 9 による床組

※ B 種

ポリスチレンフォーム床下地

※ C 種

畳表及び畳床はV O C 含有量が少ないものとする。

19ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地

厚さ (mm) ※4 0 ・6 5 ・8 0

フロ어링類

厚さ (mm) ※8 0 ・9 5

20カーペット敷き

織じゅうたん

種 別

バイル形状

色 柄 等

備考

A 種

カットバイル

※単一色 (無地)

B 種

ループバイル

柄物 (標準品)

C 種

カット、ループバイル併用

耐電性

※人体帯電圧3 kV以下

21せっこうボード、その他のボード張り

種 別

J I S の記号

厚さ (mm)

規格等

硬質木モセメント板

H W

※1 . 5

2 . 0

2 . 5

普通木モセメント板

N W

※1 . 5

2 . 0

2 . 5

けい酸カルシウム板

0 . 8 F K

タイプ2 (無石棉)

(・6 ・8 ・)

ロックウール化粧吸音板

D R

※フラットタイプ (※9 (不燃)

1 . 2 ・1 . 9 ・)

凹凸タイプ (※1 2 (不燃)

1 . 5 ・1 . 9 ・)

ロックウール化粧吸音板 (軒天併用)

D R (凹凸)

※フラットタイプ9 (不燃)

D R (軒天)

D R (軒天凹凸)

せっこうボード

G B - R

※1 2 . 5 (不燃)

9 . 5 (準不燃)

不燃繊維せっこうボード

G B - N C

9 . 5 (不燃)

化粧無 (下地張り用)

化粧有 (トラバーチン模様)

シーシングせっこうボード

G B - S

1 2 . 5 (不燃)

強化せっこうボード

G B - F

1 2 . 5 (不燃)

1 5 . 0 (不燃)

せっこうラスボード

G B - L

9 . 5

化粧せっこうボード

G B - D

※9 . 5

1 2 . 5

化粧せっこうボード (木目)

G B - D

1 2 . 5 (不燃)

幅4 4 0 mm程度

模様 (※柱目

板目)

専用下地材付き

難燃合板

G

生地、透明塗料塗り (ラワン合板程度)

不透明塗料塗り (しな合板程度)

メラミン樹脂化粧板

J I S K 6 9 0 3 による

厚さ1 . 2

ミディアムデンシティ

M D F

※3 ・7 ・9 ・1 2

ファイバーボード

G

無研磨板

研磨板

・1 0 ・1 2 ・1 5 ・1 8 ・

・無研磨板 (・スタンダード

・テンパード)

・研磨板 (・スタンダード

・テンパード)

インシュレーションボード

I B

A 級 (・天井上げ

内装仕上げ

・9 ・1 2 ・1 5 ・1 8 ・

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量

※規制対象外

第三種

軽量鉄骨下地ボード通音壁の通音シール材

※適用する

適用しない

22吸音材

種 別

J I S の記号

厚さ (mm)

ロックウール吸音ボード1号

R W - B

※2 5

グラスウール吸音ボード3 2 K

G W - B

※2 5

23壁紙張り

施工箇所

壁紙の種類

紙

繊維 (織物)

ブラ (ビニル)

化学繊維 (化学繊維)

無機質

防火性能

備 考

・

・

・

・

・不燃

準不燃

難燃

・

・

・

・

・不燃

準不燃

難燃

・

・

・

・

・不燃

準不燃

難燃

・

・

・

・

・不燃

準不燃

難燃

素地ごしらえ

モルタル、プラスター面

※R B 種

R A 種 (施工箇所：)

せっこうボード面

※R B 種

R A 種 (施工箇所：)

壁紙のホルムアルデヒドの放散量

※規制対象外

第三種

24モルタル塗り材料

吸水調整材

全固形分 (%)

吸水量 (g)

接着力 (N/mm²)

界面破壊率 (%)

表示値±1 . 0

3 0 分で1 g 以下

0 . 9 8 以上

5 0 以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

防水剤 (防水モルタル塗りの混入剤)

防水剤の種類

建築用のモルタルに用いるセメント防水剤

混合割合

凝 結 時 間

曲げ及び圧縮強度比

吸水比

透水比

セメント重量の5 % 以下

J I S R 5 2 1 0 の試験において

始発 1 時間以上

7 0 % 以上

9 5 % 以下

8 0 % 以下

最終 1 0 時間以内

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。

既製目地材

※適用しない

適用する

中村信夫 建築研究所

長崎市白鳥町4-10-202 TEL095-844-0405

1級建築士事務所長崎県知事登録 第118085号

1級建築士 建設大臣登録 第149017号 中村信夫

CHECKED

DATE

N . 中村

H22.7

工事名称

滑石9 A P 外壁改修工事

改修特記仕様書 (その 4)

工 事
設計図

図 番

A-004

25

陶磁器質タイル張り

タイルの種類

[6.16.3]

施工箇所	形状寸法 (mm)	き じ	うわぐすり	役 物	色	再生材	備 考
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・

役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き ※行わない ・行う（※外壁タイル ・内装タイル ※壁タイル接着剤張り ・横上げ張り

26

断熱材

G

断熱材の種類

[19.9.2~3]

種 類	施工箇所	厚さ (mm)	品質等
・押出法 ポリスチレン フォーム 保溫板	※2種b ※3種b (スキン層付)	※一般部 ・ ・接合部分	※25 ・
・現場発泡断熱材	※断熱材補修部分	――	特定フロンを使用しないもの
	・一般部	※15	難燃性※3級・2級

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

市販品	材 質	表面仕上げ	性 能	幅 (mm)	備 考
※アルミニウム製	※焼付け塗装品 ・アルマイト処理品	※200	・	・100	・
・硬質塩ビ製	※塗装品 ・木目調	※300	・	・100	・

27

浴室天井材

浴室天井材の種類

[19.9.2~3]

材 質	表面仕上げ	性 能	幅 (mm)	備 考
※アルミニウム製	※焼付け塗装品 ・アルマイト処理品	※200	・	・100
・硬質塩ビ製	※塗装品 ・木目調	※300	・	・100

28

フリーアクセスフロア

フリーアクセスフロアの種類

[20.2.1]

施工箇所	構 法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備 考
・パネル構法 ・溝構法	・パネル構法 ・溝構法	・1.0G ・0.6G	・3.000N ・5.000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	・	・
・パネル構法 ・溝構法	・パネル構法 ・溝構法	・1.0G ・0.6G	・3.000N ・5.000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	・	・
・パネル構法 ・溝構法	・パネル構法 ・溝構法	・1.0G ・0.6G	・3.000N ・5.000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	・	・

5.000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したものは同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は、各内装工事による。
スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・図示
コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）
配線用取り出しパネル 配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上
フリーアクセスフロア全面積に対する設置割合
※20～30パーセント ・
空調用吹き出しパネル ※無し
・有り（※固定式 ・可変式；施工箇所は図示）

29

可動間仕切

可動間仕切の種類

[20.2.3]

構造形式	パネル部の 総厚さ (mm)	表面材質 (厚さ (mm))	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式	・ ・	※鋼板 (※0.6・0.8)	※メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け	・あり ()	・なし

30

移動間仕切

移動間仕切の種類

[20.2.4]

遮音性能による区分	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式
・遮音タイプ (36db以上)		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は23壁紙張りによる。
遮音性能は、JIS A 6512の遮音試験に準拠する

31

トイレブース

トイレブースの種類

[20.2.5]

表面仕上げ材	※メラミン樹脂系化粧板（標準色 アルミ製コーナーエッジ付き） ・ポリエステル樹脂系化粧板
足形状	※幅木型 ・足金物型

32

階段滑止め

階段滑止めの種類

[20.2.6]

材 種	ステンレス SUS304
形 状	ビニルタイヤ入り 両端フラットエンド ※有り（・ステンレス製 ※ビニル製） ・無し
幅 (mm)	約35
取付け工法	※接着工法 ・埋込み工法

33

階段手すり

階段手すりの種類

[20.2.8]

種 別	施工箇所
※集成材クリアラッカー仕上げ (市販品 径 約45mm)	
・ビニル製ハンドレール (幅 約50mm)	

34

黒板及び
ホワイトボード

黒板及びホワイトボードの種類

[20.2.8]

種 類	寸法 (mm)	色 彩	備 考
・黒板	※焼付け	※緑・黒	※平面・曲面・スクリーン付引分け
・ホワイト ボード	※ほうろう ボード	※白	※平面・曲面・スクリーン付引分け

35

表示

表示の種類

[20.2.10]

衝突防止表示 ※図示（市販品 ※ステンレス製 径約30mm ・
（・両面・片面）
・無し
表示標識 案内用図記号についてはJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進出口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所 監督職員の承認する製造所

36

ブラインド

ブラインドの種類

[2.2.1] [5.1.6]

・既存再使用する（養生方法： ・新設する	[2.2.1] [5.1.6]		
形式	種 類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)
※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25 ・
・縦型	・1本操作コード式 ・2本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

37

ロールスクリーン

ロールスクリーンの種類

[20.2.10]

施工箇所	装 置	性 能	備 考
	電動	・	・
	手引	・	・
	・	・	・
	・	・	・

・既存再使用する（養生方法：
・新設する

38

カーテン

カーテンの種類

[2.2.1] [5.1.6]

・既存再使用する（養生方法： ・新設する	[2.2.1] [5.1.6]		
形式	種 類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)
※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25 ・
・縦型	・1本操作コード式 ・2本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

39

カーテンレール

カーテンレールの種類

[5.1.4] [20.2.14]

・既存再使用する ・新設する	[5.1.4] [20.2.14]
材料	※アルミニウム製 ・ステンレス製 形式 ・片引き ・引分け（※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする）

40

ブラインドボックス
及びカーテンボックス

ブラインドボックス及びカーテンボックスの種類

[5.1.4]

・既存再使用する ・新設する	[5.1.4]
市販品（アルミニウム製 押出し型材） 溝幅×深さ (mm) ・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80 ・ 色彩 ※B-1 ・B-2（※ブラウン形・ブラック ・ステンカラー） ・図示	

41

天井点検口

天井点検口の種類

[5.1.4]

材 質	アルミニウム製（※顔料タイプ ・目地タイプ）
-----	------------------------

42

床点検口

床点検口の種類

[5.1.4]

材 質	アルミニウム製（受け枠 ※アルミ製 ・ステンレス製）
-----	----------------------------

43

鋼製書架及び物品棚

鋼製書架及び物品棚の種類

[5.1.4]

種 類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ
・鋼製物品棚	JIS S 1040の規格による	※1種 ・2種 ・3種

44

くつふきマット

くつふきマットの種類

[5.1.4]

市販品	材 質 ・塩化ビニル製（コイル状 ステンレス製受枠） ・ビニル製（ステンレス製受枠） ・複質アルミニウム製（受枠とも） ・ステンレス製（受枠とも）
-----	--

45

流し台ユニット

流し台ユニットの種類

[5.1.4]

種 類	寸法 (L= mm)	適用内容	規格・品質等
・流し台	※1200・1500・1800	トラップ付き	※優良住宅部品
・コンロ台	※600・700	バックガード ※有り （セクショナルキッチンⅠ型）	・
・つり戸棚	※1200・900・600		・
・水切り棚	※1200・900	ステンレス製 ※1段式	※市販品

46

屋内掲示板

屋内掲示板の種類

[5.1.4]

枠の材質	※アルミニウム製
表面の材質	※塩ビ発泡シート張り ・

47

洗面カウンター

洗面カウンターの種類

[5.1.4]

材 種	・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材） ・人工大理石 奥行き (mm) ・約450 ・約600
-----	---

48

収納・収納家具

収納・収納家具の種類

[12.2.2] [13.2.2]

材質	形状・寸法 ※図示 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種
----	---

49

防煙垂れ壁

防煙垂れ壁の種類

[12.2.2] [13.2.2]

・固定式			
材 質	厚さ (mm) 高さ (mm) 備 考		
※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き
・可動式			
種 類	材 質	高さ (mm)	備 考
・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

50

塗装改修工事

塗装改修工事の種類

[7.2.1~7] [8.2.1~7]

下地面の種類	下地調整の種別	備 考
木部	・RA種 ※RB種	
鉄鋼面	・RA種 ※RB種	
重鉛めっき面	・RA種 ※RB種	
重鉛めっき面（鋼製建具）	※RB種 ・RC種	
モルタル、プラスター面	・RA種 ※RB種	
コンクリート、ALCパネル面	・RA種 ※RB種	（2-U E）、（2-A S E）及び （2-F U E）は除く
せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種	

既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修
※行わない ・行う（補修範囲及び補修方法は図示）

51

合板樹脂調合
ペイント塗り

合板樹脂調合ペイント塗りの種類

[7.4.4] [8.4.4]

新規鉄面の塗りの種別	・A種 ※B種
------------	---------

52

フタル酸樹脂
エナメル塗り

フタル酸樹脂エナメル塗りの種類

[7.4.4] [8.4.4]

新規鉄面の塗りの種別	・A種 ※B種
新規鉄面、重鉛めっき面の塗りの種別	・A種 ※B種

53

2液形ポリウレタン
エナメル塗り

2液形ポリウレタンエナメル塗りの種類

[7.9.1~4] [8.9.1~4]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備 考
鉄面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	
重鉛めっき面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	
コンクリート及び押出成形セメント板面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	

54

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

55

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

56

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

57

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

58

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

59

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

60

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

61

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

62

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

63

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

64

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

65

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

66

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

67

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

68

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

69

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

70

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

71

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

72

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

73

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

74

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

75

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

76

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

77

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

78

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

79

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

80

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

81

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

82

新規模新築等

※B種

新規模新築等※B種の種類

[7.10.3] [7.10.2~3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り	
8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り	
9 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	
10 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り	

83

新規模新築等

15鋼材

鋼材の材質

種類

施工箇所

規格等

※JIS規格による

※JIS規格による

※JIS規格による

16スカラップ

※改良型スカラップ

17高力ボルト

高力ボルトの適用

※トルシヤ形高力ボルト

・JIS形高力ボルト

・溶融亜鉛めっき高力ボルト

18鉄骨工作仮組

・行う

※行わない

19溶接部の試験

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験

※行う

20錆止め塗料

耐火被覆材の接着する面の塗装

・行う

(※JISK56222種)

※行わない

21耐火被覆材

耐火被覆材

種別

所要性能及び施工構造区分

・ラス張りモルタル塗り

・耐火材

・乾式吹付けロックウール

・吹付け

・半乾式吹付けロックウール

・湿式ロックウール

・耐火板張り

22既存コンクリート面の目荒し

適用範囲

※既存コンクリートとの打継ぎ面

※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てん部の接合面

・目荒らしの範囲

※柱・梁面・壁面

打継ぎ面又は接合面全面の1/3程度

・目荒らしの程度

※平均深さ5～10mm(最大深さ10～15mm)程度の凹部を施す

23あと施工アンカーの材料

あと施工アンカーの材料

・金属拡張アンカー(耐震補強用)

※接着系アンカー

接着剤の品質

※有機系

アンカー筋の種類

※鉄筋コンクリート用棒鋼

・全ねじボルト

24あと施工アンカーの穿孔

穿孔前の埋込み配管等の調査

範囲

※あと施工アンカー施工部分全て

・図示

方法

※探査器により調査し、配管等の位置の量出を行う

・はつり出しによる

25あと施工アンカーの施工確認試験

アンカー筋

※行う

(確認強度は図示による)

・行わない

26断熱材兼用型枠

断熱材兼用型枠

種類

施工箇所

厚さ(mm)

品質等

・断熱材兼用型枠

・木質系

※壁(図示の範囲)

※40以下

断熱抵抗

＝厚さ/熱伝導率

＝0.676以上

(m²・kl/w)

製造所

建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの

8-2耐震改修工事

1打増し壁に用いるシアコネクタ

現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ

種類

・間隔(mm)

※500×500

・図示

2増設・補強工事のコンクリートの打込み

工法の種類

流込み工法または圧入工法

3柱補強

溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法

柱頭柱脚の隙間部間の型枠

※ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む

・図示

4連続繊維シート巻き

材料・形状

採用した工法の規定を満足するもの

材質

引張り強度(含浸硬化後)

・2500N/mm²以上

・3000N/mm²以上

ヤング係数(含浸硬化後)

・2.35×10⁹N/mm²程度

・2.00×10⁹N/mm²以上

工法

※(財)日本建築防災協会の評価を受けた工法

・下地調整

仕上げモルタルの除去

※行う

・行わない

柱の隅角部の面取り

※工法の評価内容による

5スリットの施工

スリット部の配管等の調査

※探査器により調査し、配管等の位置の量出を行う

・はつり出し

9環境配慮(グリーン)改修工事

1アスベスト含有調査

・行う(下表による)

・行わない

材料名

調査方法

1材料あたりの試料数

※X線回折分析

※3

2アスベスト除去工事

吹付けアスベストの施工数量調査

※行う

アスベスト粉じん濃度測定

※行う

関係法令及び関係条例に定める方法により測定する。

除去作業を行う当該建築物の敷地境界において、規制のある場合はその規制に従う。

作業管理者は、資格証明書の写しに工事履歴書を添付して監督職員に提出し、承諾を受ける。

吹付けアスベストのアスベスト処理後の機能回復のための工事

※図示

測定室

・図示

測定点

・図示

3アスベスト成形板の処理等

処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材料名

厚さ(mm)

処理を行う範囲

※図示

4外断熱改修工事

断熱材の種類

材料名

厚さ(mm)

・ビーズ法ポリスチレンフォーム

・押出法ポリスチレンフォーム

・硬質ウレタンフォーム

・フェノールフォーム

・ロックウール

・グラスウール

5ガラス改修工事

複層ガラスの厚さ

建具表による

日射遮へいによる区分

※U3-1

U3-2

6屋上緑化改修工事

システムの種類

・管理型

・省管理型

その他特記事項は図示

7透水性アスファルト舗装改修工事

路盤材料

※再生クラッシャーラン(RC-40)

・クラッシャーラン(C-40)又はクラッシャーランスラグ(CS-40)

透水性の高いものを使用する

遮断層及び凍上抑制層の材料

遮断層

※川砂、海砂又は良質な山砂

厚さは図示

凍上抑制層

※再生クラッシャーラン

・クラッシャーラン

切り込み砂利

・砂

厚さは図示

盛り土に用いる材料

・A種

※B種

・C種

・D種

路床安定処理

※添加材料による安定処理

種類

・普通ポルトランドセメント

・フライアッシュセメントB種

・生石灰()

・消石灰()

添加量

kg/m²(目標CBR※以上)

路床土の支持力比試験

※行う

(※乱した土

・乱さない土)

路床締固め度の試験

※行う

アスファルト混合物

車道部

※改質アスファルトI型

歩道部

※ストレータアスファルト

アスファルト混合物の抽出試験

※行わない

・行う

8PCB含有シーリング材処分

(1)事前調査等

シーリング材のサンプルについて、専門分析機関で分析を行うこと。

・現場においてサンプルを採集

採取箇所

※外壁目地

・図示

・

採取箇所数

※部材が異なるごとに1箇所

・図示

・

分析によりPCBの含有が確認された場合は施工調査等を行い、適切に処理すること。

(2)施工調査等

調査範囲

※図示

・

処分にあたり、あらかじめ次の事項について調査を行うこと。

シーリング使用部位の確認

シーリング長さの確認

施工範囲と工事管理区分の確認

仮設計画

廃棄物等の搬出方法

10その他

1保証書の提出及び保証期間

2イメージアップ工事

調査者と下請業者の二者連名による保証書を監督職員に提出する。

種別

適用

保証期間

防水改修工事

・アスファルト防水

・合成高分子系ルーフィングシート防水

()年

・塗膜防水

()年

○シーリング

(5)年

・

()年

・長尺金属板葺

()年

内装改修工事

・防蟻処理

()年

・

()年

外壁改修工事

○アクリルゴム系外壁化粧防水材

(10)年

○外壁補修

(10)年

(注入、ピンニング、ポリマーセメント等)

()年

・

()年

項目

適用

(1)休憩所

・面積

m²

・内装の程度()

(2)更衣室

・面積

m²

・内装の程度()

・ロッカー

(3)シャワー施設

・ユニット

ヶ所

・現場建て

ヶ所

(4)トイレの水洗化

・水洗

・簡易水洗

(5)仮囲いのデザイン

・範囲()

・仕様()

・塗装の程度

・見学室

(6)フラワーボックス

・大きさ()

・個数

個

・設置期間()

(7)夜間照明設備

・仕様()

・個数

個

・設置場所()

・照明時間()

(8)PRコーナー

・設計図面に提示

(9)PR看板

・大きさ()

・個数

個

・仕様()

(11)通学路等専用歩道

・仮設図面に提示

工事名称

滑石9AP外壁改修工事

工事設計図

改修特記仕様書(その6)

図番

A-006

平成21年版

中村信夫 建築研究所

NADO Nakamura Architectual Design Office

長崎市白鳥町4-10-202 TEL095-844-0405

1級建築士事務所長崎県知事登録 第118085号

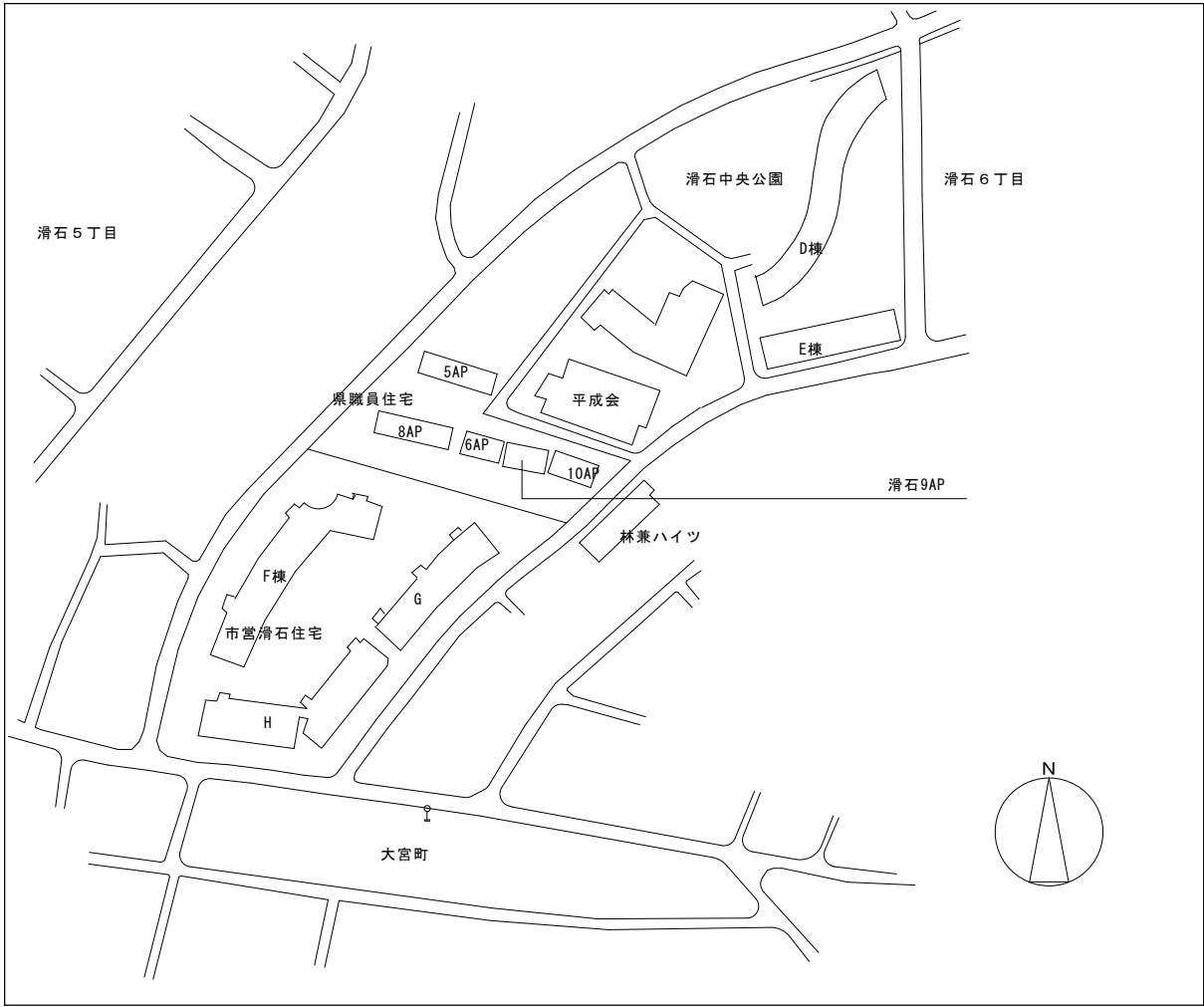
1級建築士 建設大臣登録 第149017号 中村信夫

CHECKED

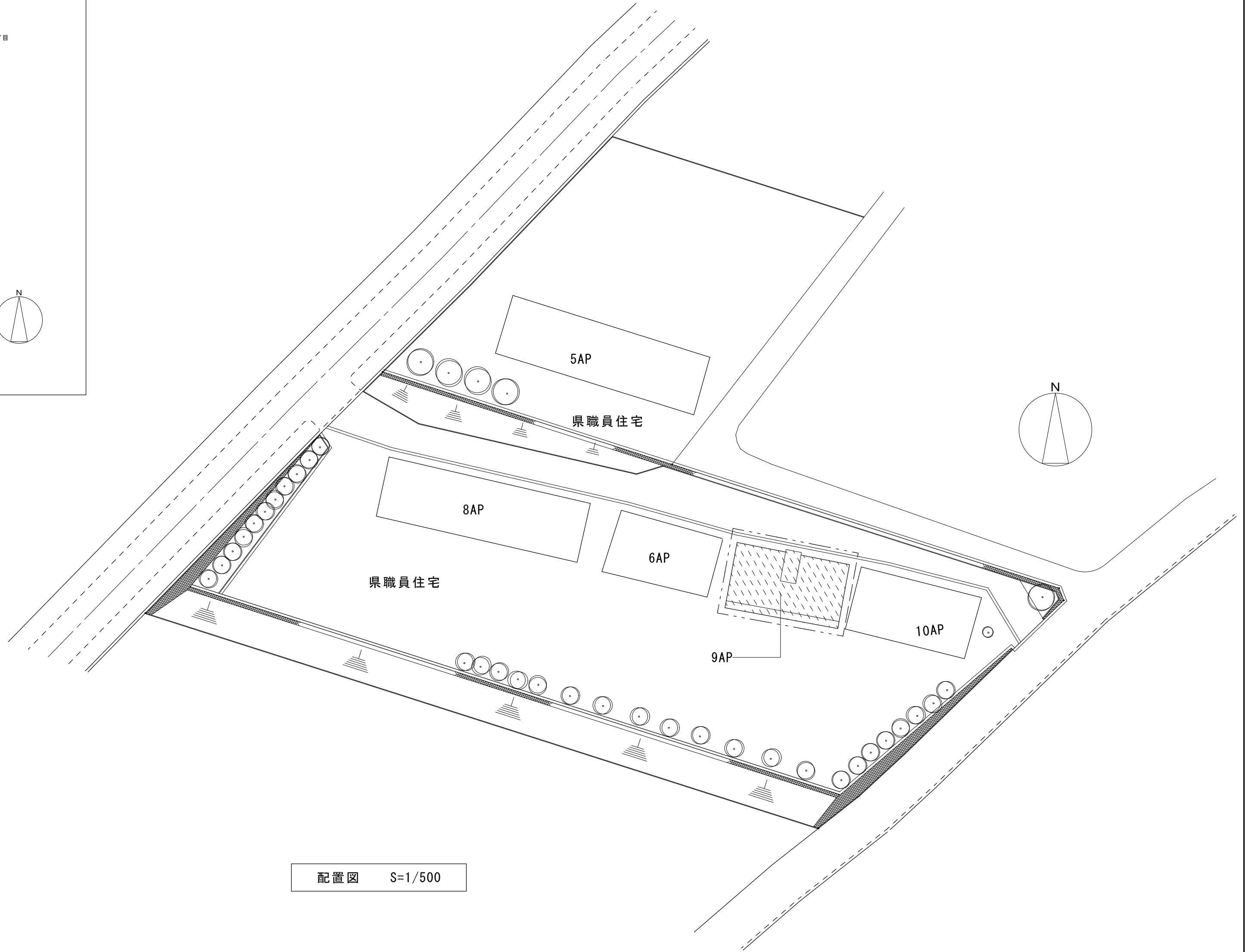
DATE

N. 中村

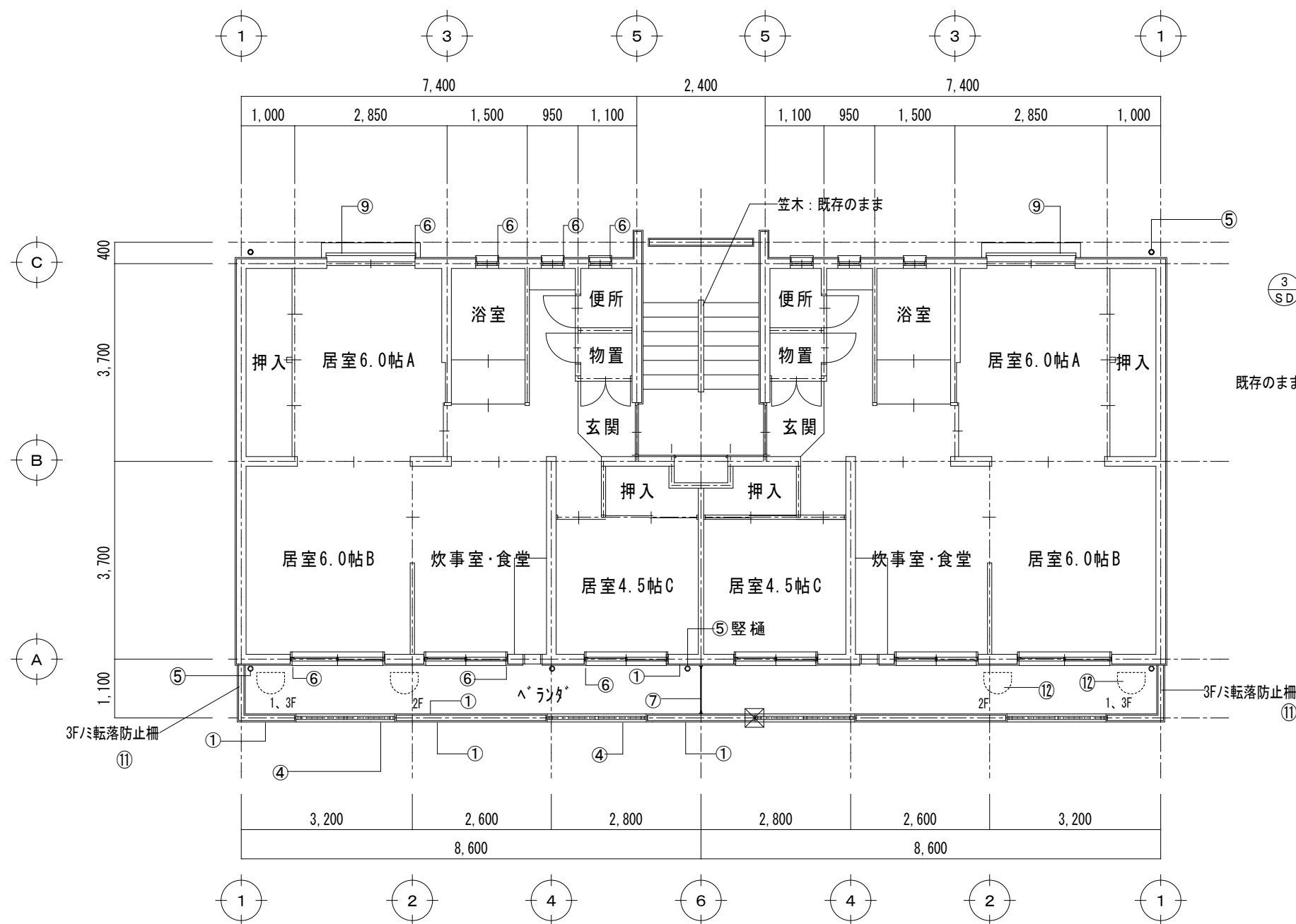
H22.7



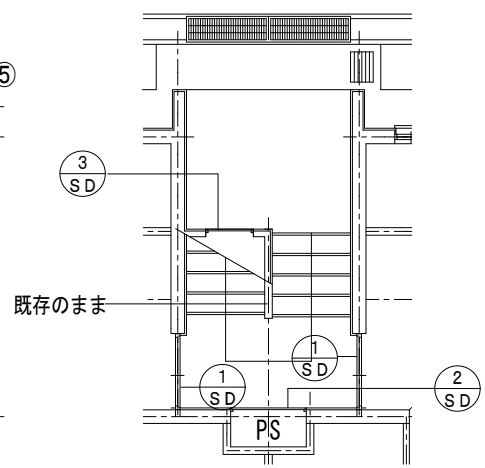
案内図 NO SCALE



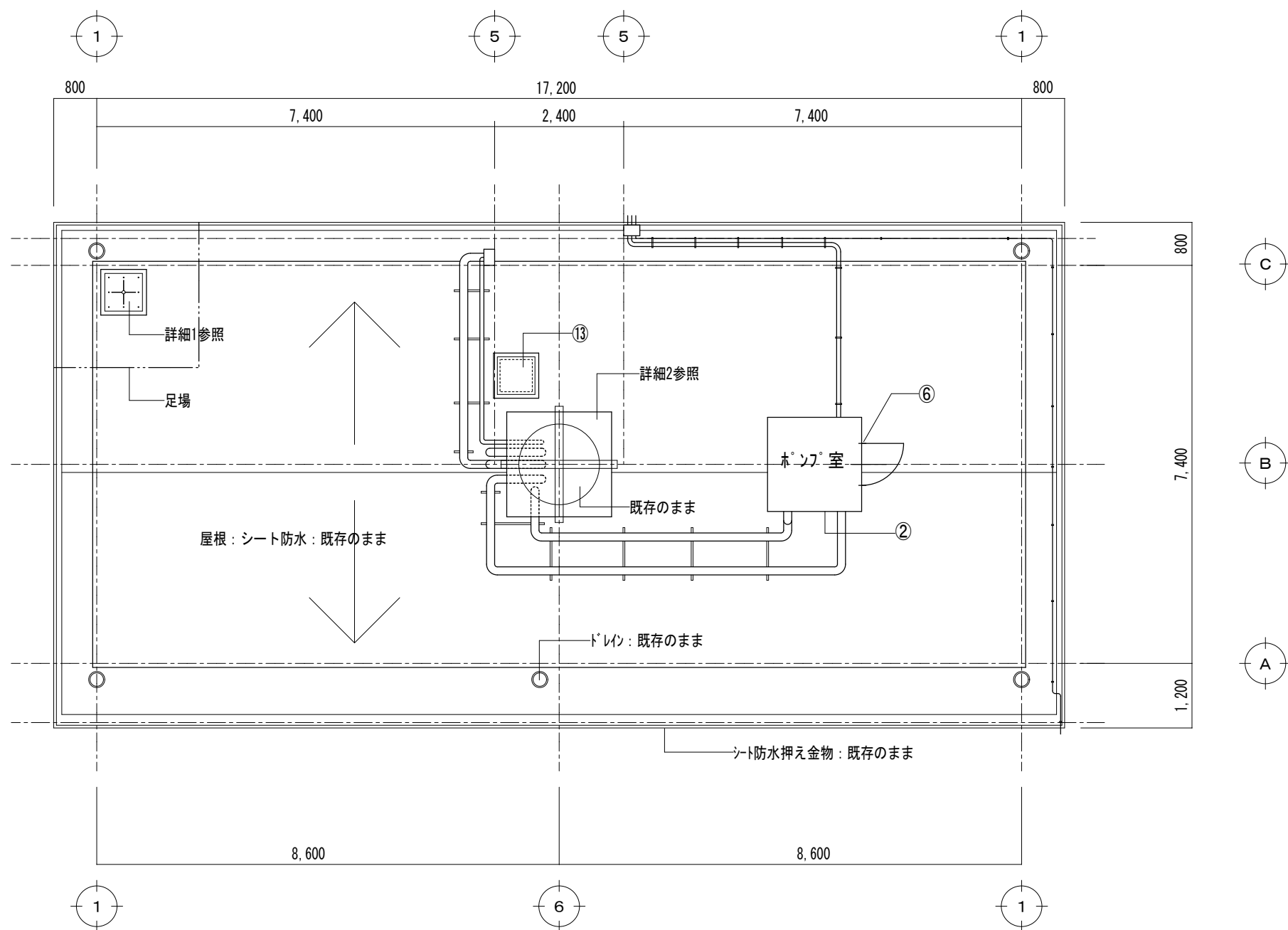
配置図 S=1/500



1～4階平面図 S= 1 /100



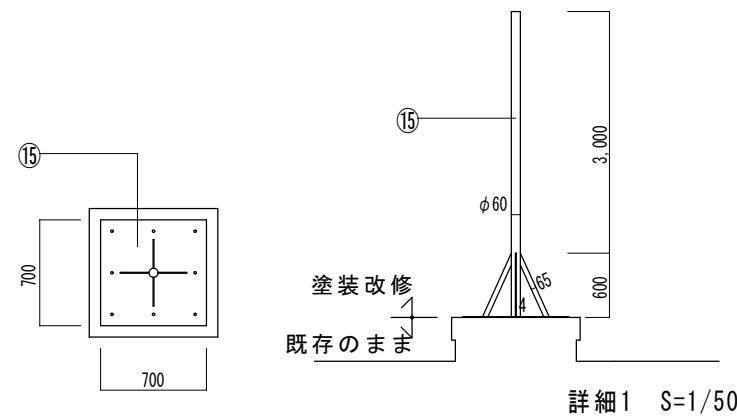
1階階段室平面図 S= 1 /100



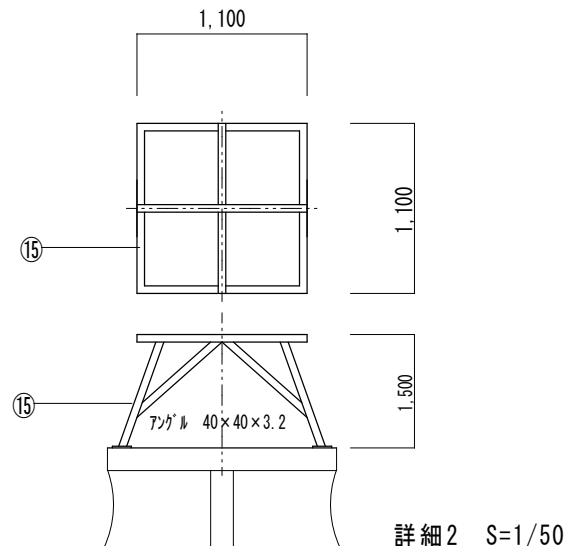
屋根伏図 S= 1 /100

凡 例			
①	外壁 (ベランダ手摺、窓台含)	既存 改修	アクリルリシン吹付、一部弾性リシン吹付 劣化部補修、高圧洗浄後カチオン系フィラー下地アクリルゴム系外壁化粧防水材吹付け
②	上裏部 (軒裏、庇裏、段裏)	既存 改修	アクリルリシン吹付け 劣化部補修、高圧洗浄後セメントフィラー下地アクリルリシン吹付け
④	ベランダ手摺	既存 改修	スチール製 SOP塗 既存撤去後アルミ製新設(アノカーステンレス製)H=1200×W=1900
⑤	縦樋	既存 改修	塩ビ管100φ VP塗 SUS製掴金物 @1200 既存撤去後 VP管(カラー)100φ 新設SUS製掴金物 @1200
⑥	建具廻りシーリング	既存 改修	コーキング 既存シーリング撤去後、変形シリコン系(MS-2)打替

⑦	隔て板	既存 改修	鉄枠(L-40×40)部SOP塗、ケイカル板VP塗 下地調整(RB種)後、鉄枠部SOP塗装 ケイカル板下地処理(RB種)後、EP-G塗替
⑨	窓格子	既存 改修	スチール製 SOP塗 既存撤去後アルミ製新設(アノカーステンレス製)H=900×W=2000
⑪	転落防止柵	既存 改修	スチール製 SOP塗 下地調整(RB種)後、SOP塗装
⑫	避難用ハッチ (タラップ付)	既存 改修	400×500角鉄扉 SOP塗 タラップ：φ16 180×300(U型) SOP塗 400×500角鉄扉、タラップ共 下地調整(RB種)後、SOP塗装
⑬	屋上点検口 (タラップ付)	既存 改修	900角鉄扉 SOP塗 タラップ：φ32 300×1400、φ16 5段 SOP塗 900角鉄扉、タラップ共 下地調整(RB種)後、SOP塗装
⑮	屋上鉄部 (アンテナ、タラップ架台、)	既存 改修	スチール製 SOP塗 下地調整(RB種)後、SOP塗装



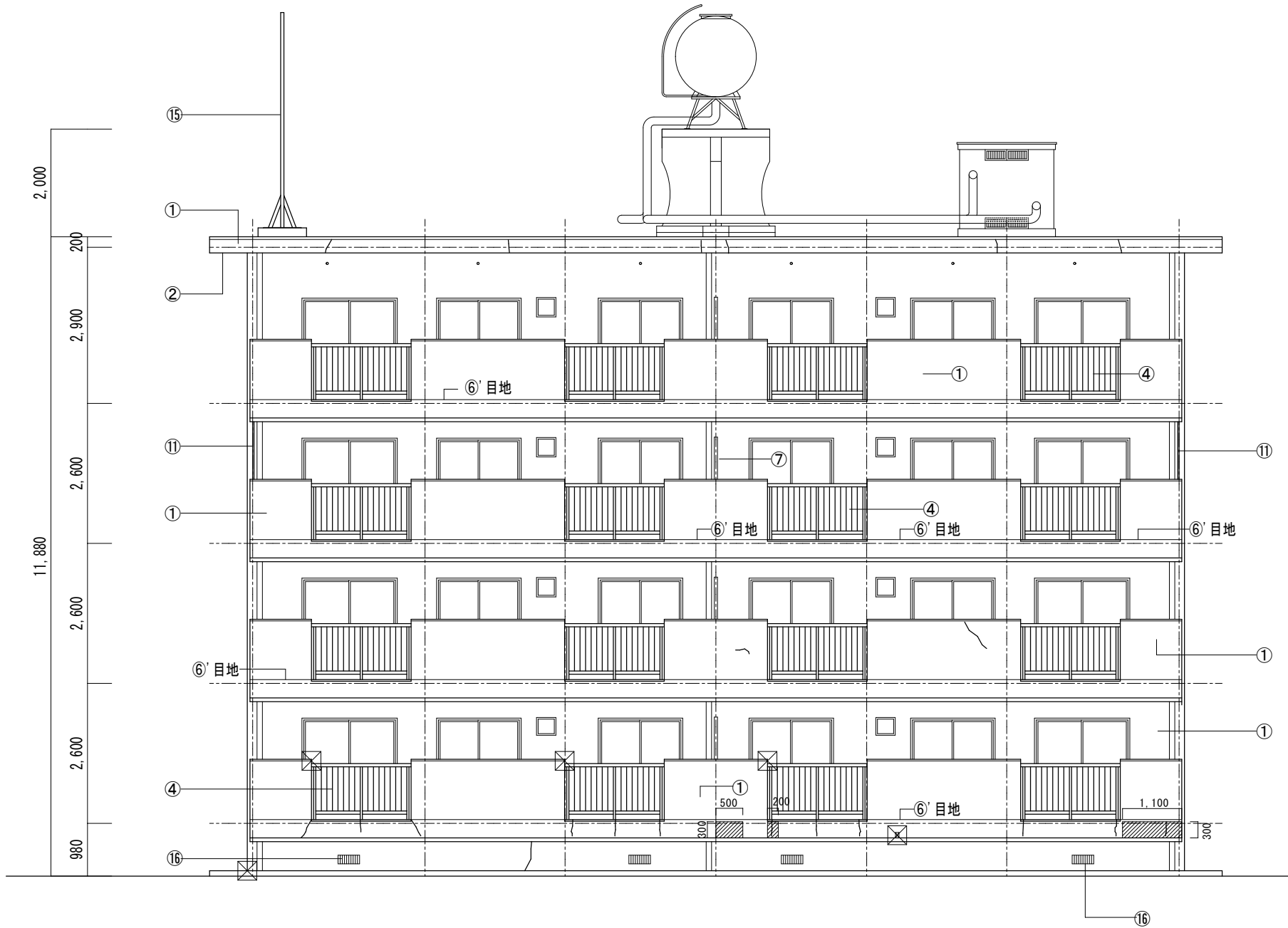
詳細1 S=1/50



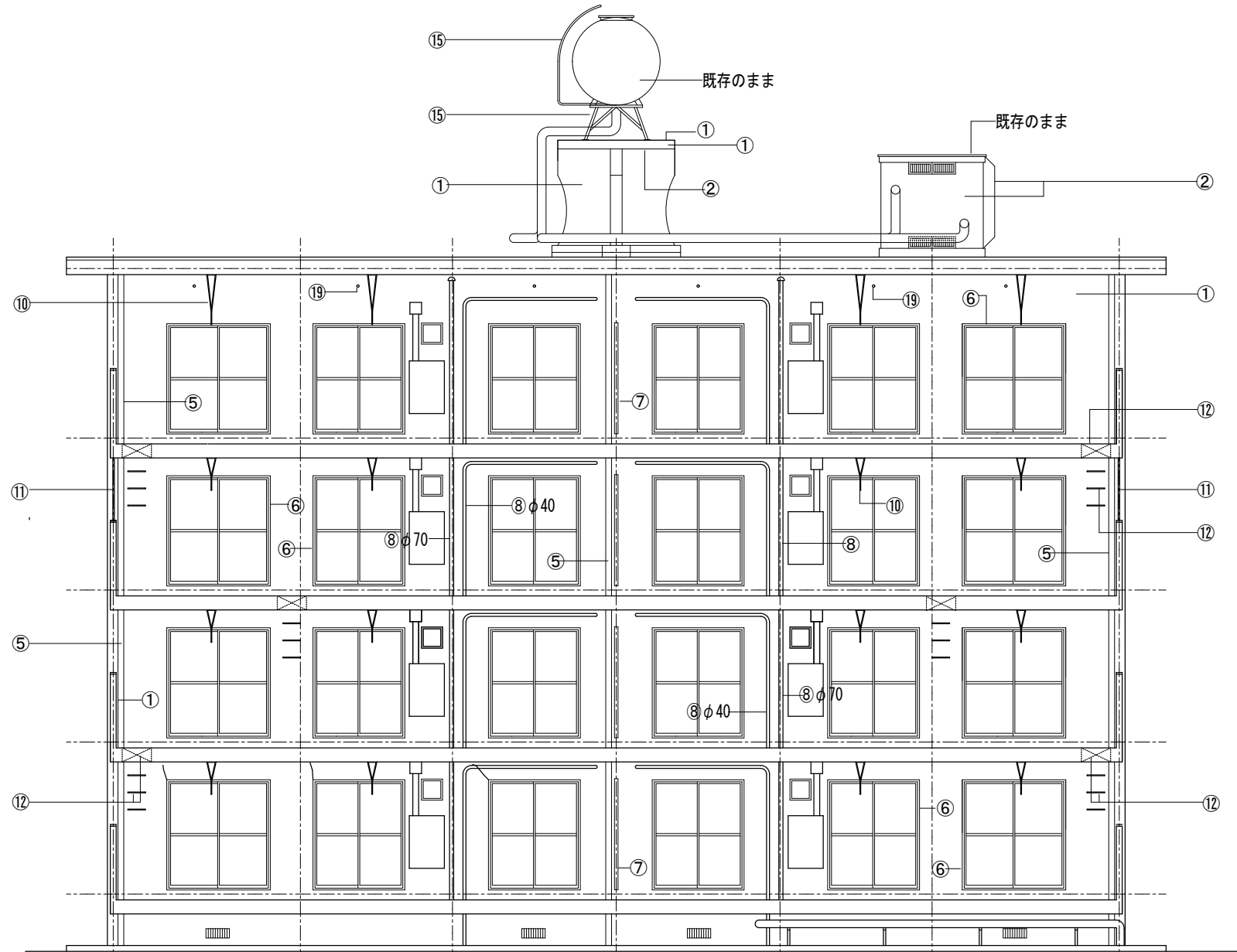
詳細2 S=1/50

中村信夫 建築研究所
NADO Nakamura Architectural Design Office
長崎市白鳥町4-10-202 TEL095-844-0405
1級建築士事務所長崎県知事登録 第118085号
1級建築士 建設大臣登録 第149017号 中村信夫

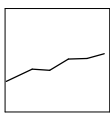
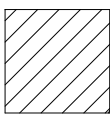
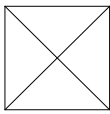
工事名称		滑石9AP外壁改修工事	
図面名称		平面図	
CHECKED		DRAWN	
N. 中村		N. 中村	
DATE		H22. 7	
NO.		A-008	



南側立面図 S= 1 /100

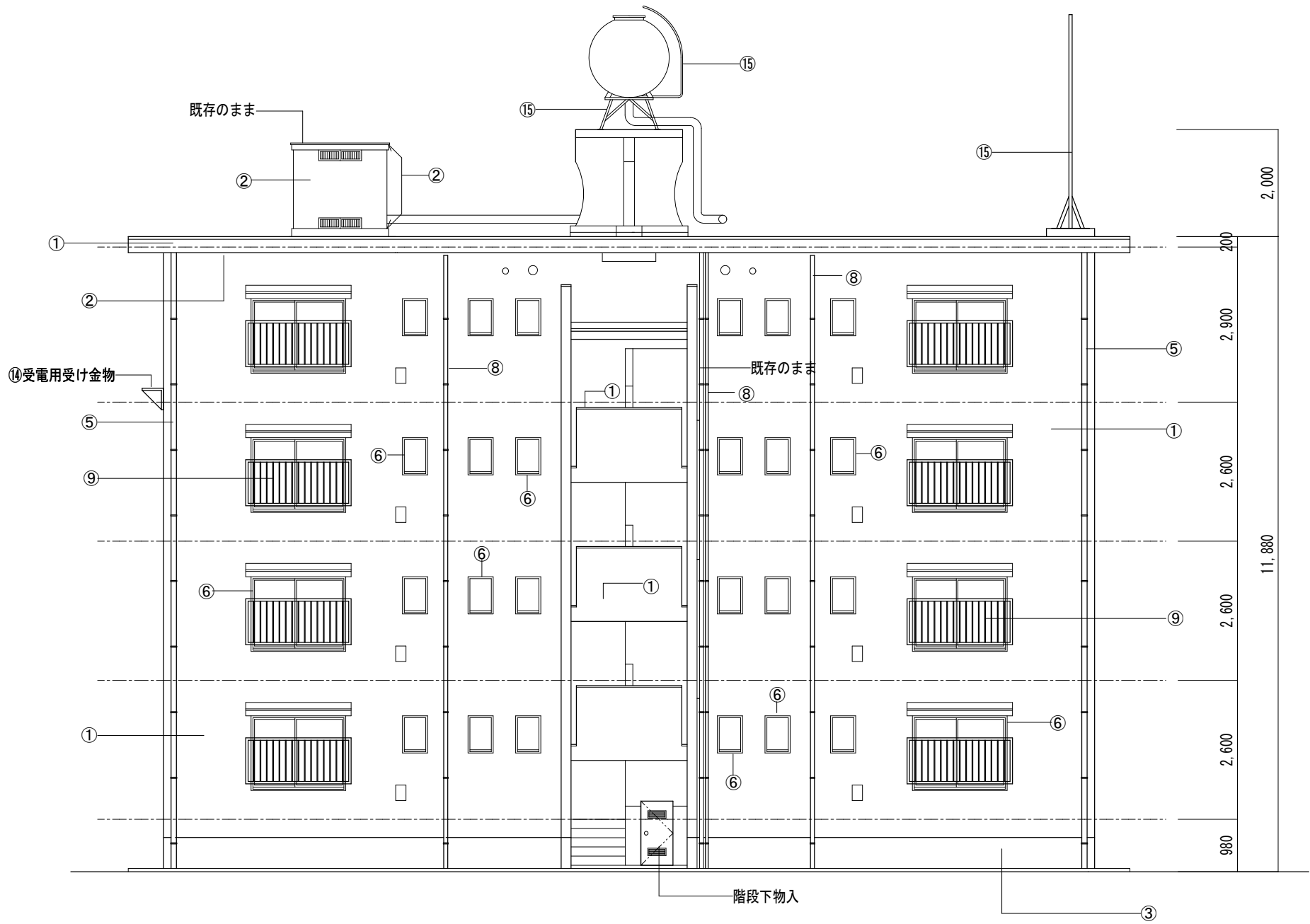


南側立面図 S= 1 /100

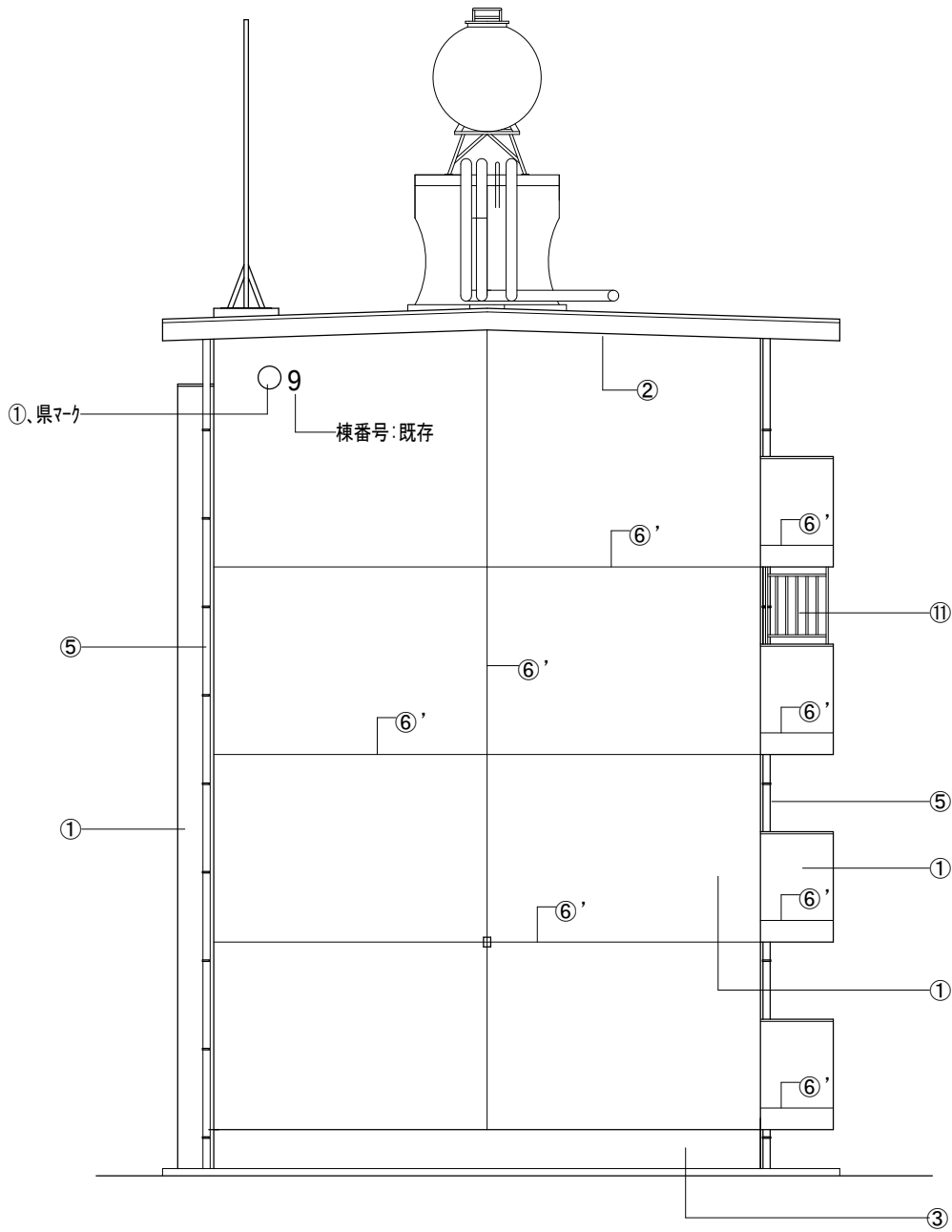
劣化種類	
	クラック Uカット シーリング材充填工法
	モルタル浮き アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法
	モルタル欠損 モルタル欠損部充填工法

凡 例			
①	外壁 (ﾊﾞﾗﾝﾀﾞ手摺、窓台含)	既存	アクリルリシン吹付、一部弾性リシン吹付
		改修	劣化部補修、高圧洗浄後カチオン系フィラー下地アクリルゴム系外壁化粧防水材吹付け
②	上裏部 (軒裏、庇裏、段裏)	既存	アクリルリシン吹付け
		改修	劣化部補修、高圧洗浄後セメントフィラー下地アクリルリシン吹付け
④	ﾊﾞﾗﾝﾀﾞ手摺	既存	スチール製 SOP塗
		改修	既存撤去後アルミ製新設(ｱﾝｶｰｽﾃﾝﾚｽ製)H=1200×W=1900
⑤	縦樋	既存	塩ビ管100φ VP塗 SUS製掘金物 @1200
		改修	既存撤去後 VP管(ｶﾗｰ)100φ 新設SUS製掘金物 @1200
⑥	建具廻りシーリング	既存	コーキング
		改修	既存シーリング撤去後、変形シリコン系(MS-2)打替
⑥'	目地	既存	化粧目地
		改修	ポリウレタン系(PU-2)10×10
⑦	隔て板	既存	鉄枠(L-40×40)部SOP塗、ｷｬﾙﾎﾞｰﾄﾞVP塗
		改修	下地調整(RB種)後、鉄枠部SOP塗装 ｷｬﾙﾎﾞｰﾄﾞ下地処理(RB種)後、EP-G塗替

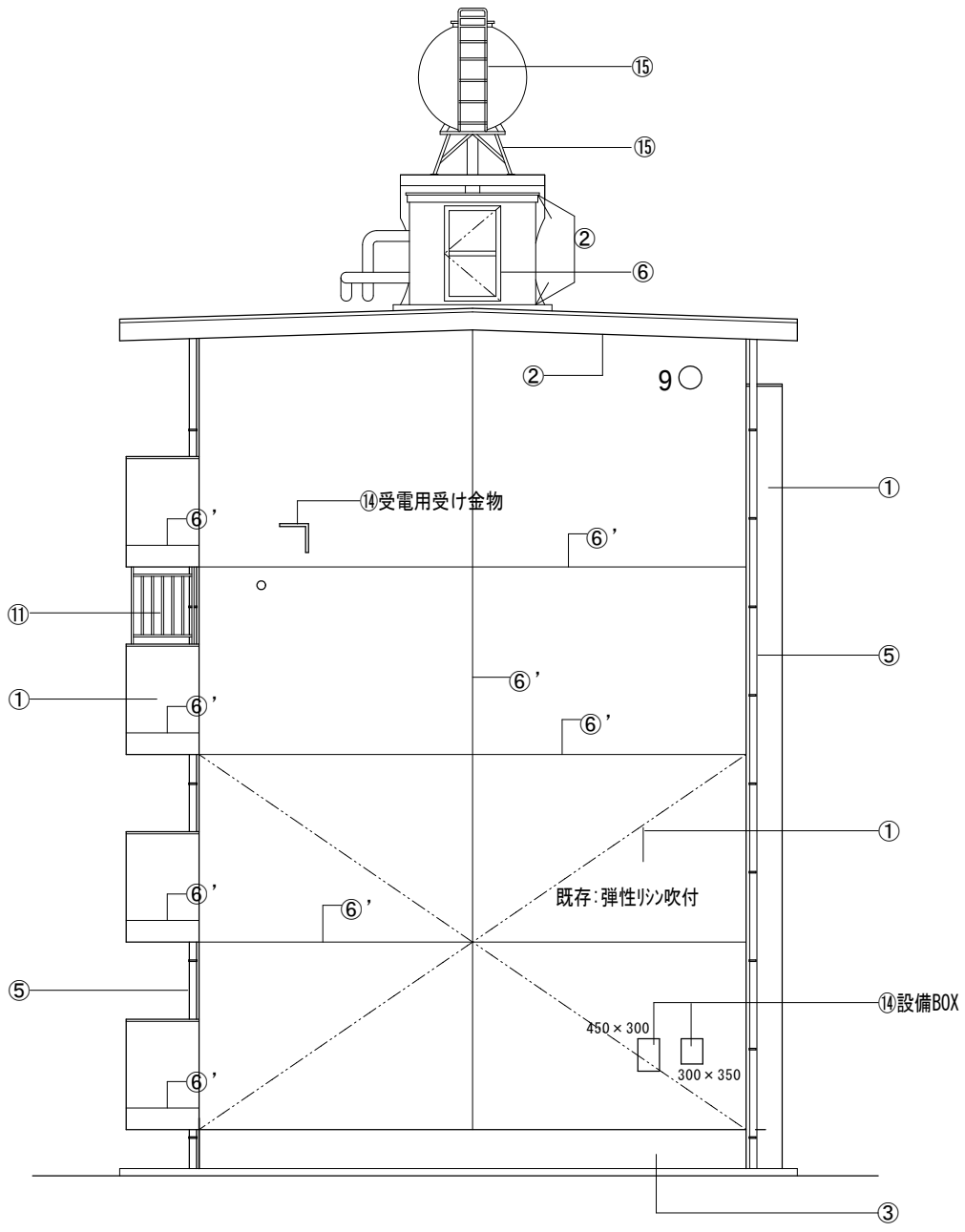
	凡 例		
⑧	設備管	既存	塩ビ製 排水管70φ VP塗装、 スチール製 ガス管φ40 SOP塗装
		改修	排水管：下地処理(RB種)後、2-UE塗替、 ガス管：下地処理(RB種)後、SOP塗替
⑩	物干金物	既存	スチール製 SOP塗装
		改修	既存撤去後アルミ製新設(ｱﾝｶｰｽﾃﾝﾚｽ製)H=560(1,2,3F) H=850(4F)
⑪	転落防止柵	既存	スチール製 SOP塗
		改修	下地調整(RB種)後、SOP塗装
⑫	避難用ハッチ (タラップ付)	既存	400×500角鉄扉 SOP塗 タラップ：φ16 180×300(Ｕ型)SOP塗
		改修	400×500角鉄扉、タラップ共 下地調整(RB種)後、SOP塗装
⑮	屋上鉄部 (ｱﾝﾃﾅ、ﾀﾝｸ架台、 ﾀﾝｸﾀﾗｯﾌﾟ等)	既存	スチール製 SOP塗
		改修	下地調整(RB種)後、SOP塗装
⑯	床下換気口	既存	170×420 鋳鉄製 SOP塗
		改修	下地調整(RB種)後、SOP塗装
⑰	小屋裏換気口	既存	塩ビ管 40φ、 VP塗
		改修	下地処理(RB種)後、2-UE塗替



北側立面図 S=1/100



東側立面図 S=1/100

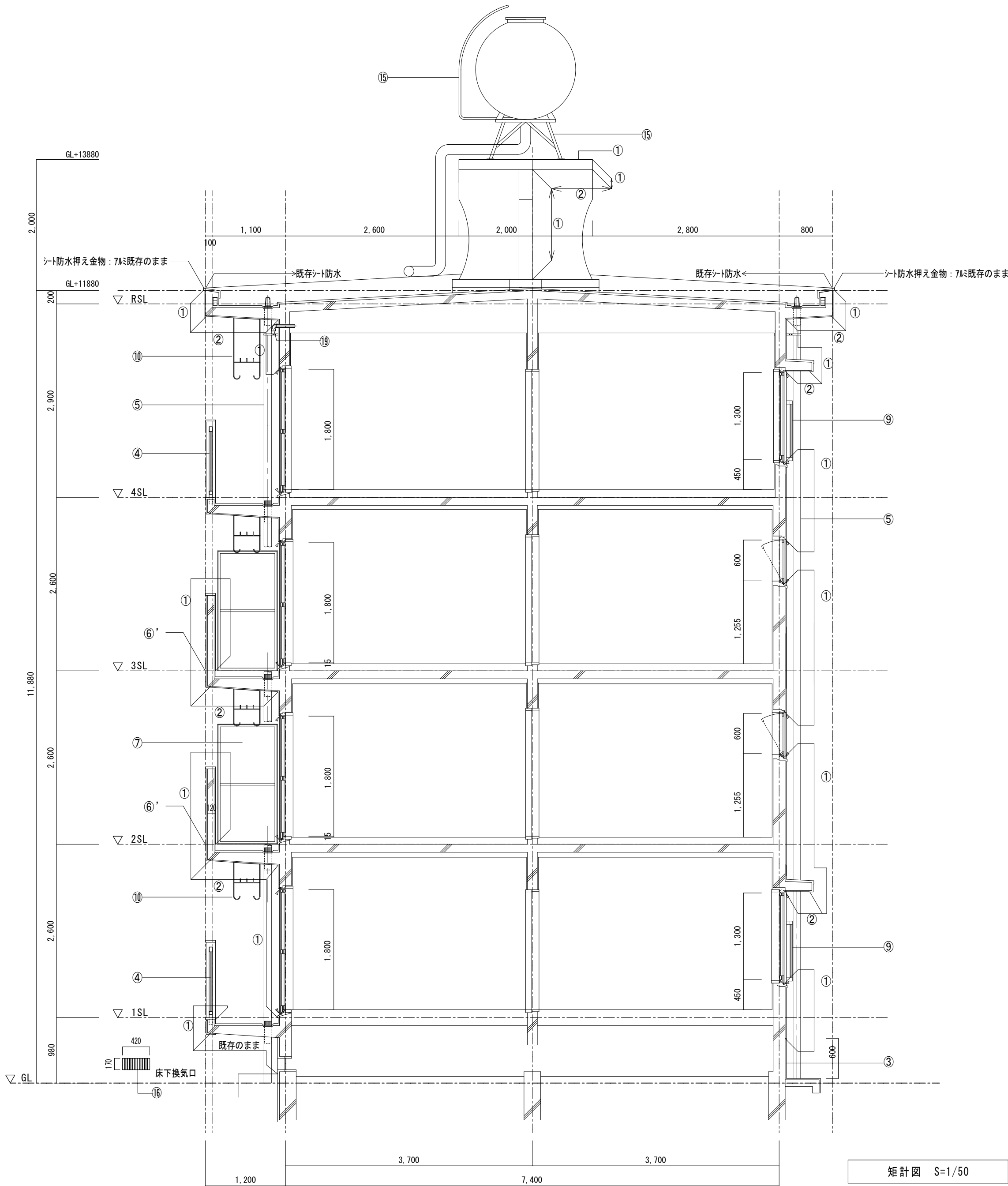


西側立面図 S=1/100

劣化種類	
	クラック
	Uカット シーリング材充填工法
	モルタル浮き
	アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法
	モルタル欠損
	モルタル欠損部充填工法

凡 例			
①	外壁 (ハ-ラ-手摺、窓台含)	既存	アクリルリシン吹付、一部弾性リシン吹付
		改修	劣化部補修、高圧洗浄後カチオン系フィラー下地アクリルゴム系外壁化粧防水材吹付け
②	上裏部 (軒裏、庇裏、段裏)	既存	アクリルリシン吹付け
		改修	劣化部補修、高圧洗浄後セメントフィラー下地アクリルリシン吹付け
③	巾木	既存	モルタル刷毛引
		改修	劣化部補修、高圧洗浄
⑤	縦樋	既存	塩ビ管100φ VP塗 SUS製掴金物 @1200
		改修	既存撤去後 VP管(カラー)100φ 新設SUS製掴金物 @1200
⑥	建具廻りシーリング	既存	コーキング
		改修	既存シーリング撤去後、変形シリコン系(MS-2)打替

⑥'	目地	既存	化粧目地
		改修	ポリウレタン系(PU-2)10×10
⑧	設備管	既存	塩ビ製 排水管70φ VP塗装、 スチ-ル製 ガス管φ40 SOP塗装
		改修	排水管: 下地処理(RB種)後、2-UE塗替、 ガス管: 下地処理(RB種)後、SOP塗替
⑨	窓格子	既存	スチ-ル製 SOP塗
		改修	既存撤去後アルミ製新設(ア-ンカー-スチ-ル製)H=900×W=2000
⑪	転落防止柵	既存	スチ-ル製 SOP塗
		改修	下地調整(RB種)後、SOP塗装
⑭	盤類	既存	SOP塗
		改修	下地調整(RB種)後、SOP塗装
⑮	屋上鉄部 (アンテナ、タンク架台、 タンククラ-フ等)	既存	スチ-ル製 SOP塗
		改修	下地調整(RB種)後、SOP塗装



凡 例			
①	外壁 (窓台含)	既存	アクリルリシン吹付、一部弾性リシン吹付
		改修	劣化部補修、高圧洗浄後カチオン系フィラー下地アクリルゴム系外壁化粧防水材吹付け
②	上裏部 (軒裏、庇裏、段裏)	既存	アクリルリシン吹付け
		改修	劣化部補修、高圧洗浄後セメントフィラー下地アクリルリシン吹付け
③	巾木	既存	モルタル刷毛引
		改修	劣化部補修、高圧洗浄
④	ベランダ手摺	既存	スチール製 SOP塗
		改修	既存撤去後アルミ製新設(ｱﾝｶｰｽﾃﾝﾚｽ製)H=1200×W=1900
⑤	縦樋	既存	塩ビ管100φ VP塗 SUS製掴金物 @1200
		改修	既存撤去後 VP管(ｶｰﾅｰ)100φ 新設SUS製掴金物 @1200
⑥	建具廻りシーリング	既存	コーキング
		改修	既存シーリング撤去後、変形シリコン系(MS-2)打替
⑥'	目地	既存	化粧目地
		改修	ポリウレタン系(PU-2)10×10打
⑦	隔て板	既存	鉄枠(L-40×40)部SOP塗、ｷｬﾙﾎﾞｰﾄﾞVP塗
		改修	下地調整(RB種)後、鉄枠部SOP塗装 ｷｬﾙﾎﾞｰﾄﾞ下地処理(RB種)後、EP-G塗替
⑨	窓格子	既存	スチール製 SOP塗
		改修	既存撤去後アルミ製新設(ｱﾝｶｰｽﾃﾝﾚｽ製)H=900×W=2000
⑩	物干金物	既存	スチール製 SOP塗装
		改修	既存撤去後アルミ製新設(ｱﾝｶｰｽﾃﾝﾚｽ製)H=560(1,2,3F) H=850(4F)
⑮	屋上鉄部 (ｱﾝﾃﾅ、ﾀﾝｸｼｬﾂﾀﾞｲ、 ﾀﾝｸｸﾗｯﾌﾟ等)	既存	スチール製 SOP塗
		改修	下地調整(RB種)後、SOP塗装
⑯	床下換気口	既存	170×420 鋳鉄製 SOP塗
		改修	下地調整(RB種)後、SOP塗装
⑰	小屋裏換気口	既存	塩ビ管 40φ、VP塗
		改修	下地処理(RB種)後、2-UE塗替

・
・
・
・
・

 中村信夫 建築研究所
NADO Nakamura Architectual Design Office
長崎市白鳥町4-10-202 TEL095-844-0405
1級建築士事務所長崎県知事登録 第118085号
1級建築士 建設大臣登録 第149017号 中村信夫

工事名称 滑石9AP外壁改修工事

図面名称 矩計図

CHECKED

N. 中村

DRAWN

N. 中村

DATE

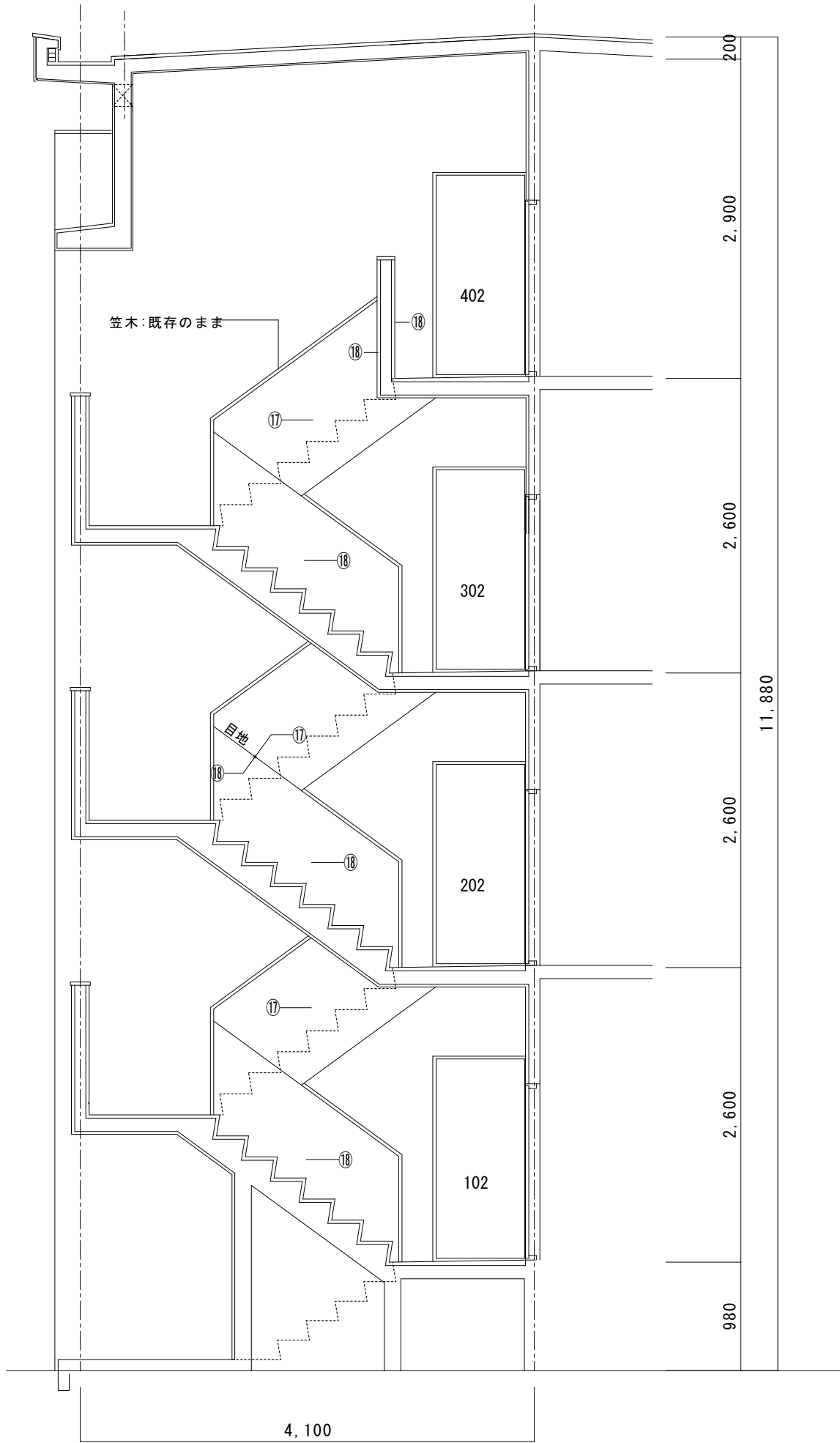
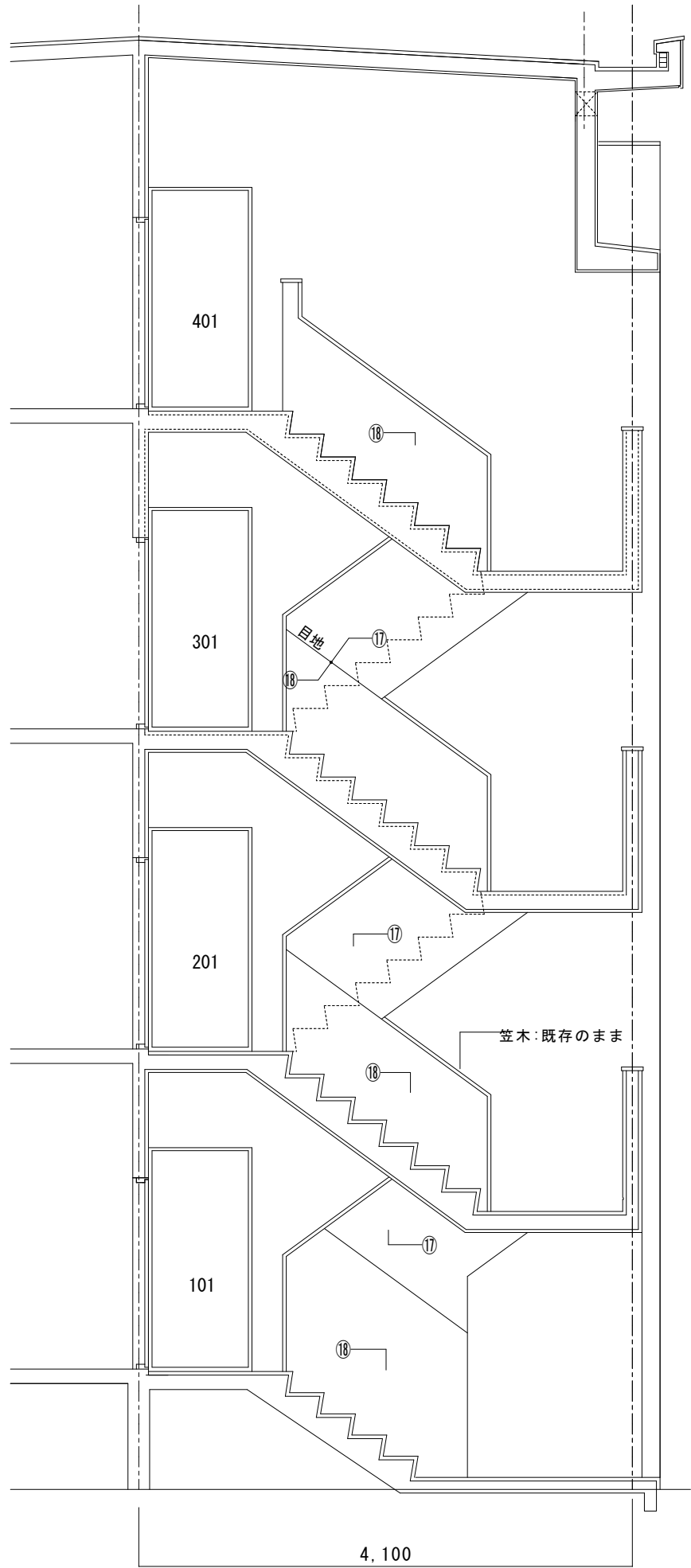
H22.7

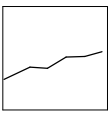
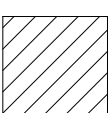
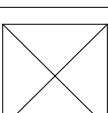
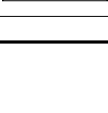
SCALE

S=1/50

NO.

A-011



劣化種類	
	クラック
	Uカット シーリング材充填工法
	モルタル浮き
	アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法
	モルタル欠損
	モルタル欠損部充填工法

①	外壁 (バルコニー手摺、窓台含)	既存	アクリルリシン吹付、一部弾性リシン吹付
		改修	劣化部補修、高圧洗浄後カチオン系フィラー下地アクリルゴム系外壁化粧防水材吹付け
②	上裏部 (軒裏、段裏)	既存	アクリルリシン吹付け
		改修	劣化部補修、高圧洗浄後セメントフィラー下地アクリルリシン吹付け
③	巾木	既存	モルタル刷毛引
		改修	劣化部補修、高圧洗浄
⑪	階段室、壁	既存	アクリルリシン吹付け
		改修	劣化部補修、高圧洗浄後カチオン系フィラー下地、複層塗材RE吹付け
⑫	階段室、腰壁	既存	モルタル金コテ
		改修	劣化部補修、高圧洗浄後カチオン系フィラー下地、複層塗材RE吹付け

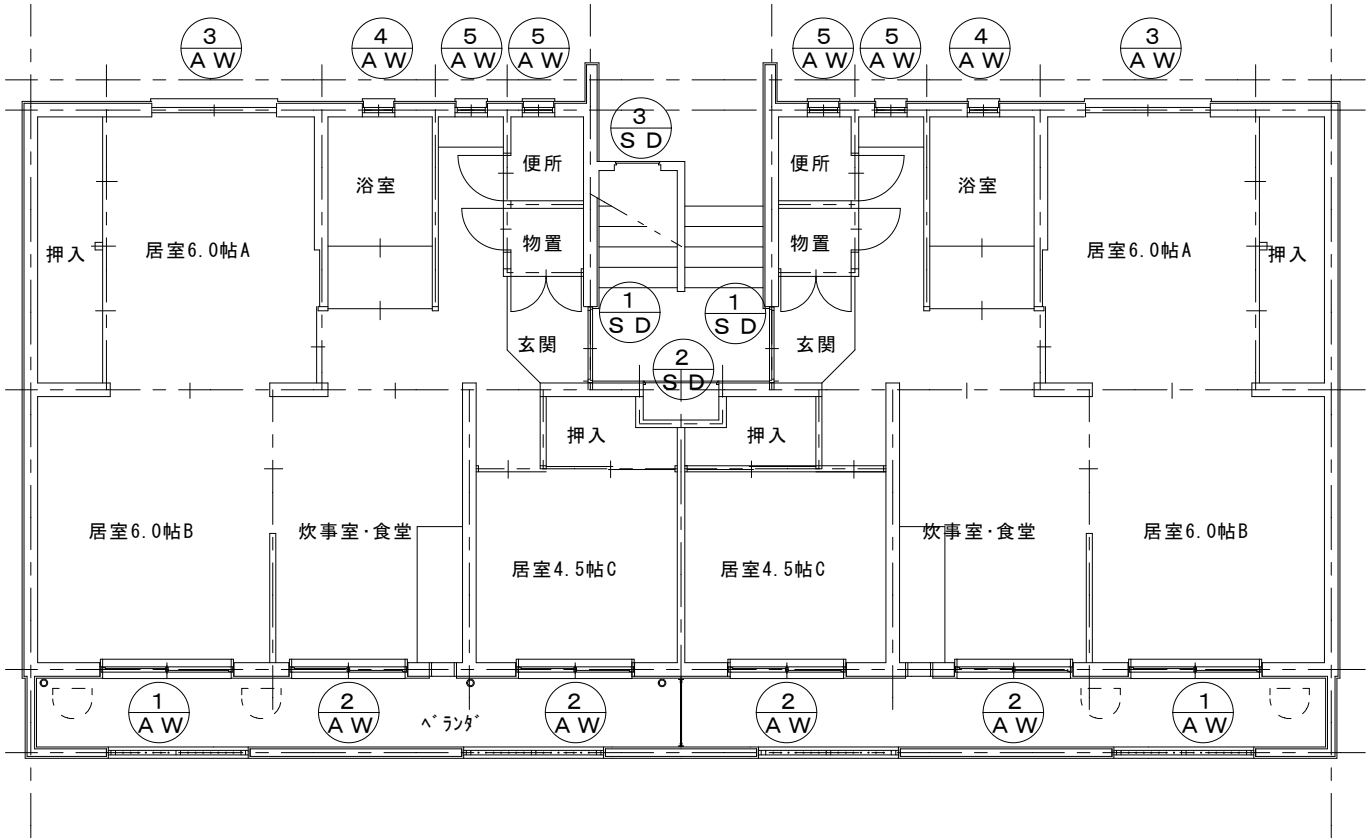
・
・
・
・
・
・

 中村信夫 建築研究所
NADO Nakamura Architectual Design Office
長崎市白鳥町4-10-202 TEL095-844-0405
1級建築士事務所長崎県知事登録 第118085号
1級建築士 建設大臣登録 第149017号 中村信夫

工事名称		滑石9AP外壁改修工事	
図面名称		階段断面詳細図2	SCALE S=1/50
CHECKED N. 中村	DRAWN N. 中村	DATE H22. 7	NO. A-013

符号形式	1 A W	引違い	8 カ所	2 A W	引違い	16 カ所	3 A W	引違い	8 カ所	4 A W	内倒し窓（ガラリ付）	8 カ所	5 A W	内倒し	16 カ所	
姿 図																
見 込	70			70			70			70			70			
形 式	引き違い窓			引き違い窓			引き違い窓			内倒し窓			ガラリ付内倒し窓			
材料・仕上	アルミ			アルミ			アルミ			アルミ			アルミ			
ガラス	型ガラス t=3 透明ガラス t=3			型ガラス t=3 透明ガラス t=3			型ガラス t=3 透明ガラス t=3			型ガラス t=4			型ガラス t=4			
金 物	クレセント、戸車、付属金物一式			クレセント、戸車、付属金物一式			クレセント、戸車、付属金物一式			クレセント、付属金物一式			クレセント、付属金物一式			
改修内容	枠 シーリング 打替え（4周）			枠 シーリング 打替え（4周）			枠 シーリング 打替え（4周）			枠 シーリング 打替え（4周）			枠 シーリング 打替え（4周）			

符号形式	1 S D	玄関片開きスチール戸	8 カ所	2 S D	PS両開スチール戸	4 カ所	3 S D	階段室物入片開きスチール戸	1 カ所
姿 図									
見 込	70								
形 式	片開き玄関戸			4 枚立開戸			片開戸		
材料・仕上	スチール			スチール			スチール		
ガラス									
金 物	シリンダー錠 (既存のまま)								
改修内容	下地調整 (RB種) 枠、扉 (両面) 共 SOP 塗替、部屋番号 (各 3 桁)			下地調整 (RB種) 枠、扉 (両面) 共 SOP 塗替			下地調整 (RB種) 枠、扉 (両面) 共 SOP 塗替		



1～4階 Keyplan図

中村信夫 建築研究所

NADO Nakamura Architectual Design Office
長崎市白鳥町4-10-202 TEL095-844-0405

1級建築士事務所長崎県知事登録 第118085号
1級建築士 建設大臣登録 第149017号 中村信夫

工事名称 滑石9AP外壁改修工事

図面名称 建具表

SCALE
S=1/50 1/100

CHECKED

N. 中村

DRAWN

N. 中村

DATE

H22. 7

NO.

A-014

アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	設計数量	m ²	アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	設計数量	30.0 m ²	タラックシール工法	設計数量	m ²	クラック樹脂注入工法	設計数量	m ²
指定部：見上げ面、底の鼻等			指定部：見上げ面、底の鼻等								

鉄筋腐食補修工法	設計数量	か所	モルタルはつり補修工法	設計数量	m ²	Uカットシーリング材充填工法	設計数量	30.0 m	モルタル欠損部充填工法	設計数量	10 か所
1. 脆弱部について、幅100 深さ30～50程度 斫り、撤去、清掃を行う。 2. 鉄筋の錆落しを行う。（ワイヤーブラシ等） 3. アルカリ性賦与材で劣化面の補強し、鉄筋は防錆処理材を塗布する。 4. 無収縮軽量モルタル充填 5. 中性化防止材料又は塩化物浸透抑制材料で表面被覆を行う。											

アルミ改修用BL認定バルコニー手摺	設計数量	16か所	アルミ改修用BL認定窓手摺	設計数量	8か所
1900 102.5 1695 102.5 127.5 1440 127.5 (12@120) 1200 1034 65 45 102.5 1695 102.5 127.5 1440 127.5 (12@120) ブラケット 笠木: 90×45以上 支柱: 65×45 改修部分 下弦材: 49×51 下弦材挿止 手摺子: 27×24 W=1/3 W=1/3 W=1/3 ☒ ...既存撤去部ホリマーセメントモルタル補修 水平荷重: 1,450N/m (150kg f/m) 鉛直荷重: 1,600N/m (165kg f/m) アンカー: ケミカルアンカー引抜試験 (引抜耐力15.0KN確認) 1ヶ所実施の事	90 1200 1034 65 45 102.5 1695 102.5 127.5 1440 127.5 (12@120) ブラケット 笠木: 90×45アルミ 支柱: 65×45アルミ 手摺子: 27×24アルミ M8ボルト (SUS) M10寸切ボルト (SUS) 壁支持金具 (SUS) 壁支持裏板3t (SUS) 手すり: 27×24アルミ 下弦材: アルミ 横断面図	2000 115以下 50 30 900 30 30 下弦材: 50×30 手摺子: 20×20 改修部分 改修部分 ☒ ...既存撤去部ホリマーセメントモルタル補修 水平荷重: 1,450N/スパン (150kg f/スパン) 鉛直荷重: 1,450N/スパン (150kg f/スパン) アンカー: ケミカルアンカー引抜試験 (引抜耐力15.0KN確認) 1ヶ所実施の事	105 115 20 30 30 W=2,000 M8ケミカルアンカー M8寸切ボルト (SUS) アルミブラケット M8六角ボルト (SUS) 縦枠アルミ 105 115 20 30 30 手摺子アルミ タッピンネジ (SUS) 横断面図		

<
--

位置図



特記事項	建物名称	図面名称
	013_滑石10AP	位置図

滑石 10 A P 外壁改修工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-001	改修特記仕様書（その 1）	007	案内図・配置図	013	階段断面詳細図 2
002	改修特記仕様書（その 2）	008	平面図	014	建具表
003	改修特記仕様書（その 3）	009	立面図 1	015	外壁補修標準図
004	改修特記仕様書（その 4）	010	立面図 2		
005	改修特記仕様書（その 5）	011	矩計図		
006	改修特記仕様書（その 6）	012	階段断面詳細図 1		

長崎県土木部建築課

平成23年2月

滑石10AP外壁改修工事設計図

仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

長崎市滑石6丁目

2. 延床面積

509.12㎡

3. 工事種目

・改修工事

4. 工事内容

・外壁改修工事
・塗装改修工事

II 工事仕様

1. 特記事項

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
◎印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の() 内表示番号は、下記標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の(別) は(5. 3. 7) による別図「各部配筋」の当該項目を示す。

(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また() 内は製品名を示す。

(6) [G]印は長崎県の「環境物品等調達方針」の特定調達品目を示す。

2. 工事種目 及び 共通仕様

(1) 下記工事種目全てを工事範囲とする。なお、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、下記の各共通仕様による。

工事種目	共通仕様
● 建築工事	公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成19年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成19年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
・ 電気設備工事	公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成19年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成19年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（平成19年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
・ 機械設備工事	公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成19年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成19年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（平成19年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
・ 昇降機設備工事	公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成19年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

(2) 木造の場合は、木造建築工事共通仕様書（建設大臣官房官庁営繕部監修 平成10年度版）を適用する。

3. 工教科目（●印の付いたものが対象工事）

建築工事				
建物別及び屋外		工 事 種 別		
工 事 科 目				概 要
● 仮設工事	一式	一式	一式	
○ 土工	一式	一式	一式	
○ 地盤工事	一式	一式	一式	
○ 鉄筋工事	一式	一式	一式	
○ コンクリート工事	一式	一式	一式	
○ 鉄骨工事	一式	一式	一式	
○ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌｫｰﾑ・ALCﾌｫｰﾑ・押出成型ﾎﾞﾗﾝﾄﾞ工事	一式	一式	一式	
● 防水工事	一式	一式	一式	
○ 石工事	一式	一式	一式	
○ タイル工事	一式	一式	一式	
○ 木工	一式	一式	一式	
○ 屋根及びとい工事	一式	一式	一式	
○ 金属工事	一式	一式	一式	
○ 左官工事	一式	一式	一式	
○ 建具工事	一式	一式	一式	
○ カーテンウォール工事	一式	一式	一式	
● 塗装工事	一式	一式	一式	
○ 内装工事	一式	一式	一式	
○ ユニット及びその他の工事	一式	一式	一式	
○ 排水工事	一式	一式	一式	
○ 舗装工事	一式	一式	一式	
○ 植栽工事及び屋上緑化工事	一式	一式	一式	
● その他	一式	一式	一式	
○	一式	一式	一式	
	一式	一式	一式	

電気設備工事				
建物別及び屋外		工 事 種 別		
工 事 科 目				設 備 概 要
○ 電 灯 設 備	一式	一式	一式	
○ 動 力 設 備	一式	一式	一式	
○ 受 変 電 設 備	一式	一式	一式	○3φ kVA ○1φ kVA
○ 静 止 形 電 源 設 備	一式	一式	一式	Ah ｔkWh
○ 自 家 発 電 設 備	一式	一式	一式	kVA
○ 雷 保 護 設 備	一式	一式	一式	○旧JIS ○新JIS
○ 構 内 情 報 通 信 網 設 備	一式	一式	一式	
○ 電 話 設 備	一式	一式	一式	
○ 構 内 交 換 設 備	一式	一式	一式	外線 回線 内線 回線
○ 拡 声 設 備	一式	一式	一式	増幅器 W 回線
○ 音 響 ○ 映 像 設 備	一式	一式	一式	
○ 出 退 ○ 情 報 表 示 設 備	一式	一式	一式	
○ 電 気 時 計 設 備	一式	一式	一式	
○ イ ン タ ー ホ ン 設 備	一式	一式	一式	
○ テ レ ビ 共 同 受 信 設 備	一式	一式	一式	
○ 自 動 火 災 報 知 設 備	一式	一式	一式	○P型 ○R型 回線
○ 中 央 監 視 制 御 設 備	一式	一式	一式	
○ 防 犯 設 備	一式	一式	一式	
	一式	一式	一式	

機械設備工事				
建物別及び屋外		工 事 種 別		
工 事 科 目			屋外	設 備 概 要
○ 空気調和設備	一式	一式	一式	
○ 換気設備	一式	一式	一式	
○ 排煙設備	一式	一式	一式	
○ 自動制御設備	一式	一式	一式	
○ 衛生器具設備	一式	一式	一式	
○ 給水設備	一式	一式	一式	
○ 排水設備	一式	一式	一式	
○ 給湯設備	一式	一式	一式	
○ 消火設備	一式	一式	一式	
○ 厨房機器設備	一式	一式	一式	
○ ガス設備	一式	一式	一式	
○ 浄化槽設備			一式	

昇降機設備工事				
建物別		工 事 種 別		
工 事 科 目				設 備 概 要
○ 一般エレベーター	一式	一式	一式	
○ 一般油圧エレベーター	一式	一式	一式	
○ 普及型エレベーター	一式	一式	一式	
○ 非常用エレベーター	一式	一式	一式	
○ 機械室レスエレベーター	一式	一式	一式	
○ 小荷物専用エレベーター	一式	一式	一式	
○ エスカレーター	一式	一式	一式	
	一式	一式	一式	

章 項 目	特 記 事 項
1 一般共通事項	① 適用基準等 ○建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房営繕部監修（平成17年版） ○工事写真の撮り方（建築編）平成21年版 長崎県土木部建築課 ② 施工管理 ③ 工事実績情報の登録 請負者は、受注時または変更時において工事請負金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、変更時は変更があった日から、完成時は工事完成後、いずれも土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に登録申請をしなければならない。 変更登録時は、工期・技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金額のみの変更の場合は原則として登録を必要としない。 登録後、登録機関発行の「工事カルテ受領書」が届き次第、督職員に提示すること。 なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。 ④ 施工体制台帳 工事を施工するために、締結した下請負契約の請負代金額（当該下請負契約が2以上ある場合は、これらの請負代金の総額）が3,000万円（建築一式工事においては、4,500万円）以上になる時は、所定の様式に記載した施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、監督職員に提出する。 また、再下請が生じた場合には、再下請負通知書を作成し、監督職員に提出すること。 記載内容に変更が生じた場合においても、その都度すみやかに監督職員に提出すること。 なお、下請け契約に係る契約書には、請負代金の額が記載されたものに個別工事下請契約約款又は工事下請基本契約書を添付する。 ただし、建設業の許可を受けていない業者は、対象から除くものとする。 ⑤ 施工体系図 請負金額が500万円以上の工事の場合、各下請者の施工の分担関係を表示した施工体系図「提出用」を作成し、監督職員に提出すること。 ⑥ 発生材の処理等 ・処理方法、処理場等は現場説明書による ※構外搬出適切処置 建設廃棄物処理契約書及び建設廃棄物用マニフェスト 請負者（排出事業者）は、建設廃棄物の適正処理をするため、排出事業者と収集運搬業者及び排出事業者と処分業者で建設廃棄物処理委託契約（二者契約）を行い、建設廃棄物を運搬処理する毎かつ品目毎（混合廃棄物は除く）にマニフェストを発行して委託処理する。 また、工事中に発生する梱包材等も建設廃棄物として適正に処理すること。 産業廃棄物処理フロー図、産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表 請負者は、工事前に産業廃棄物処理フロー図を作成する。記載内容に変更があった場合、その都度すみやかに訂正すること。 また、産業廃棄物を搬出する場合においては、マニフェストにより適正に処理されていることを確認すること。 工事完了後、産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表を作成し、監督職員へ提出する。 なお、その他の資料については請負者にて整備保管し、監督職員から請求があった場合はこれを提示すること。 請負金額が500万円以上の工事の請負者は、再資源利用計画書及び再資源利用促進計画書を所定の様式に基づき作成し、監督職員に提出する。また、工事完了後、実施状況を記録し、監督職員に提出する。 提出は、所定の様式及び電子ファイル（建設リサイクルデータ統合システム（CREDAS）により作成されたもの）とする。 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に基づく対象建設工事の計画の策定及び説明 ※適用する ○適用しない 建設リサイクル法の対象工事の請負者は、当該建設工事に係る特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、再資源化報告書を所定の様式に基づき作成し、監督職員に提出する。 ⑦ 品質計画 総合施工計画書 ※ 作成する ・作成しない 工事の着手に先立ち、以下の内容を含む総合施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 また、内容を変更する必要があるが生じた場合、監督職員に報告するとともに、施工等に支障がないよう適切な措置を講ずる。 （１） 工事概要 （２） 実施工程表 （３） 現場組織表 （４） 施工体系図（請負金額500万円以上の場合） （５） 主要工事 （６） 品質計画（品質目標、管理方針、重要管理事項、工種別施工計画書作成要領、検査立会項目等） （７） 養生計画 （８） 緊急時の体制及び対応 （９） 安全・環境対策 （10） 仮設計画 （11） 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法 （12） 産業廃棄物処理フロー図 （13） その他 ・建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 ※風速（Vo＝） ※地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ） ・積雪区分 建造令第1455号 別表（ ）

長崎県土木部建築課

〒850-8570 長崎市江戸町2-13

TEL095-824-1111／FAX095-827-3367

課長 総括補佐 課長補佐 係長 設計者

8 工事報告	工事月報 ※ 作成する ・作成しない 当月の工事の全般的経過を記載した工事報告書を作成し、監督職員に提出する。 履行報告書 ・ 作成する ※ 作成しない 中間金払を選択した場合は、履行状況を所定の様式に基づき作成し、認定請求時に実施工程表・出来高数量・完成部分の状況写真を添えて発注者に提出する。	(1.2.4)
9 電気保安技術者	工事現場における電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 ・要 ・不要	(1.3.3)
10 施工条件	○現場説明書による ・	(建1.3.5) (電1.3.2) (機1.3.3)
11 工事関係者連絡会議	※組織する 工事現場が隣接し、又は同一場所において別途工事がある場合には、請負業者間の安全施工に関する緊密な情報交換を行うとともに、非常時における臨機の措置を定める等の連絡調整を行うため、工事関係者連絡会議を組織する。	(1.3.7)
12 騒音振動の防止	低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程（平成9年建設省告示1536号）により指定された建設機械を使用する。 適用工事（土、地盤、コンクリート、舗装、植栽、とりこわし等）	(1.3.7)
13 排出ガス対策型建設機械	請負者は、以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日建設省経機発第249号、最終改正平成14年4月1日国総施第225号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用する。 また、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議し、承諾を得なければならない。 （ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kW以上260kW以下）を搭載した建設機械に限る） ・バックホウ（ベースマシンを含む） ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザー ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット （以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの：油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、地下連続壁施工機、全周回転オールケーシング掘削機） ・ロードローラー、タイヤローラー、振動ローラー ・ホイールクレーン	(1.3.7)
14 過積載の防止	ダンプトラック等による過積載等の防止について （１）工事用資機材等の積載超過のないようにすること。 （２）過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。 （３）資材等の過積載を防止するため、資材の購入等にあたっては資材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。 （４）おし枠の装着又は物品載荷装置の不正改造をしたダンプカーが工事現場に出入りすることのないようにすること。 （５）「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下、法という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体の等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 （６）下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮の欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。 （７）以上のことにつき、下請け契約における受注者を指導すること。	(建1.3.10) (電1.3.5) (機1.3.7)
15 事故報告	工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、監督員が指示する様式の工事事故報告書を作成し、指示する期日までに提出する。	(建1.3.10) (電1.3.6) (機1.3.7)
16 不可抗力による損害	工事の施工中に、天災等、不可抗力による災害が発生した場合には、直ちに工事災害通知書により、監督職員に報告する。 なお、天災等とは、周囲の状況により判断し、相当の範囲に達って、他の一般物件にも影響を及ぼしたと認められる場合をいう。ただし、請負者が善良な注意義務を怠ったことに基づくものは、除く。	(建1.3.10) (電1.3.6) (機1.3.7)
17 建築材料等	本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（１）～（６）の事項を満たすものとする。 （１）品質及び性能に関する試験データが整備されていること （２）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること （３）安定的な供給が可能であること （４）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること （５）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること （６）販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。	

仮設工事	①	足場その他	内部足場 種別 ※きやつ、足場板等 ・ [2.2.1] 外部足場 種別 ※A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 [2.2.1] [2.2.2] 防護シートによる養生 ※行方 ・ 行わない 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省 基発第0424 001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 材料、撤去材料等の運搬 [2.2.1] [2.2.2] ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 既存部分の養生 ※ビニルシート等 ・ [2.3.1] [2.3.1] 既存家具等の養生 ※ビニルシート等 ・ 固定家具等の移動 ※行わない ・ 行方（図示） 3 仮設間仕切 [2.3.1] [2.3.1] 仮設間仕切り等の種別 <table><tr><th>種 別</th><th>下 地</th><th>仕上材（厚さ mm）</th><th>充てん材</th><th>塗 装</th></tr><tr><td>・ A種</td><td>※軽重鉄骨</td><td>・合板（※9.0 ・ ）</td><td rowspan="3">厚さ mm</td><td>※無し</td></tr><tr><td>・ B種</td><td>・木下地</td><td>※せつこうボード（※9.5 ・ ）</td><td>・片面</td></tr><tr><td>※C種</td><td>・単管下地</td><td>・防炎シート</td><td></td></tr><tr><td>仮設扉</td><td>・木製扉</td><td>※合板張り程度 ・</td><td></td><td>※無し</td></tr><tr><td></td><td>・鋼製扉</td><td>※片面フラッシュ程度 ・</td><td></td><td>・有り</td></tr></table> ・既存建物内の一部を使用する ・構内に設置する ・設けない [2.4.1] ・規模及び仕上げの程度は現場説明書による 4 監督職員事務所 ⑤ 工事用水 ⑥ 工事用電力	種 別	下 地	仕上材（厚さ mm）	充てん材	塗 装	・ A種	※軽重鉄骨	・合板（※9.0 ・ ）	厚さ mm	※無し	・ B種	・木下地	※せつこうボード（※9.5 ・ ）	・片面	※C種	・単管下地	・防炎シート		仮設扉	・木製扉	※合板張り程度 ・		※無し		・鋼製扉	※片面フラッシュ程度 ・		・有り	⑦	とい	この材料 [3.8.2] [2.3.1] ※配管用鋼管 ○硬質塩化ビニル管 ・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管（R E P－V U） ⑥ 鋼管製といの防露 [3.8.2] [2.3.5] ・次の箇所は行わない（ ） ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 排除口 ※有り ・なし 縦い受け金物の取付け [3.8.2] ※図示 ・横仕 1 3. 5. 3 (d) (2)による 8 アルミニウム製窓木 [3.9.2~3] [2.3.9.1] <table><tr><th>種 類</th><th>呼称肉厚 (mm)</th><th>表面処理</th><th>固定間隔</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・2 5 0 形</td><td>1. 6 以上</td><td rowspan="3">※A－1種又は B－1種 ・B－2種 ()</td><td rowspan="3">固定方法及び間 隔は品質計画で 定めたもの</td><td rowspan="3">隅角部及び突出り部等の役物は 本体製造所の仕様による</td></tr><tr><td>・3 0 0 形</td><td>1. 8 以上</td></tr><tr><td>・3 5 0 形</td><td>2. 0 以上</td></tr><tr><td>・1 0 0 形</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 板材折曲げ形の取付工法 ・図示 [3.9.3] 9 折板葺 [3.9.2~3] (表3.9.2.1) <table><tr><th>形式</th><th>※重ね形</th><th>・はぜ絡め形</th><th>・かん合形</th></tr><tr><td>形状 (mm)</td><td>山高 ()</td><td>山ピッチ ()</td><td>板厚※0. 6 ・0. 8</td></tr><tr><td>材料 (規格等)</td><td colspan="3">※塗装溶融5 5 %アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (C G L C C R－2 0－A 2 1 5 0)</td></tr><tr><td>軒先面戸板</td><td>※有り</td><td>・無し</td><td></td></tr><tr><td>断熱材</td><td>※有り (種別： 厚さ： mm)</td><td>・無し</td><td></td></tr><tr><td>耐火性能</td><td>※3 0 分耐火</td><td>・無し</td><td></td></tr></table>	種 類	呼称肉厚 (mm)	表面処理	固定間隔	備 考	・2 5 0 形	1. 6 以上	※A－1種又は B－1種 ・B－2種 ()	固定方法及び間 隔は品質計画で 定めたもの	隅角部及び突出り部等の役物は 本体製造所の仕様による	・3 0 0 形	1. 8 以上	・3 5 0 形	2. 0 以上	・1 0 0 形					・	・				・	・				形式	※重ね形	・はぜ絡め形	・かん合形	形状 (mm)	山高 ()	山ピッチ ()	板厚※0. 6 ・0. 8	材料 (規格等)	※塗装溶融5 5 %アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (C G L C C R－2 0－A 2 1 5 0)			軒先面戸板	※有り	・無し		断熱材	※有り (種別： 厚さ： mm)	・無し		耐火性能	※3 0 分耐火	・無し																																																																																																																																																																																																																													
	種 別	下 地	仕上材（厚さ mm）	充てん材	塗 装																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・ A種	※軽重鉄骨	・合板（※9.0 ・ ）	厚さ mm	※無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・ B種	・木下地	※せつこうボード（※9.5 ・ ）		・片面																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	※C種	・単管下地	・防炎シート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	仮設扉	・木製扉	※合板張り程度 ・		※無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		・鋼製扉	※片面フラッシュ程度 ・		・有り																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	種 類	呼称肉厚 (mm)	表面処理	固定間隔	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・2 5 0 形	1. 6 以上	※A－1種又は B－1種 ・B－2種 ()	固定方法及び間 隔は品質計画で 定めたもの	隅角部及び突出り部等の役物は 本体製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・3 0 0 形	1. 8 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・3 5 0 形	2. 0 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・1 0 0 形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
形式	※重ね形	・はぜ絡め形	・かん合形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
形状 (mm)	山高 ()	山ピッチ ()	板厚※0. 6 ・0. 8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
材料 (規格等)	※塗装溶融5 5 %アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (C G L C C R－2 0－A 2 1 5 0)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
軒先面戸板	※有り	・無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
断熱材	※有り (種別： 厚さ： mm)	・無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
耐火性能	※3 0 分耐火	・無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
防水改修工事	③	1 アスファルト防水 [3.3.2~3] [2.3.1.1] [2.3.3.2~10] <table><tr><th>防水改修工法の種類</th><th>施工箇所</th><th>新規防水層の種類</th></tr><tr><td>保</td><td>・P 1 B</td><td>・B－1 ※B－2</td></tr><tr><td>護</td><td>・P 1 B I ・T 1 B I</td><td>・B I－1 ※B I－2</td></tr><tr><td>防</td><td>・P 2 A I</td><td>・A I－1 ※A I－2</td></tr><tr><td>水</td><td>・P 2 A</td><td>・A－1 ※A－2</td></tr><tr><td>露出</td><td>・M 4 C</td><td>・C－1 ※C－2</td></tr><tr><td>防水</td><td>・M 3 D ・P O D</td><td>・D－1 ※D－2</td></tr><tr><td>屋内</td><td>・P 1 E ・P 2 E</td><td>・E－1 ※E－2</td></tr><tr><td>防水</td><td></td><td>(保護層は図示による)</td></tr></table> アスファルトの種類 ※3種 ・4種 [3.2.2] 保護コンクリートのコンクリート種類 ※普通コンクリート [3.3.2] P O D工法の二重ドレン ※設けない ・設ける [3.2.5] M 3 D、P O D工法の脱気装置 ※設けない ・設ける [3.3.3] 既存露出防水層表面の仕上げ塗装（M 4 C工法の場合） ・除去する [3.2.6] 断熱工法の断熱材 厚さ (mm) ※2 5 ・ [3.3.2] ただし、特定フロンを含まないもの。 立上り部の保護 [3.3.2] ・れんがの種類 ※見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形コンクリートブロックとする。 ・乾式保護材の材料 ※押出成形セメント板 厚さ 1 5 mm 2 改質アスファルトシート防水 [3.4.2~3] [2.3.1.1] [2.3.4.1~2] <table><tr><th>防水改修工法の種類</th><th>施工箇所</th><th>新規防水層の種類</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>・M 4 A S工法</td><td></td><td>・A S－1 ・A S－2 ・A S－3</td><td></td></tr><tr><td>・M 3 A S工法</td><td></td><td>・A S－4 ・A S－5 ・A S－6</td><td></td></tr><tr><td>・P O A S工法</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・M 3 A S I工法</td><td></td><td>・A S I－1 ・A S I－2</td><td></td></tr><tr><td>・M 4 A S I工法</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・P O A S I工法</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 脱気装置 ※設けない ・設ける 3 合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.5.2~3] [2.3.1.1] [2.3.5.1] <table><tr><th>防水改修工法の種類</th><th>施工箇所</th><th>新規防水層の種類</th><th>仕上げ塗料等</th><th>使用分類</th></tr><tr><td>・P O S工法</td><td></td><td>・S－F 1 ・S－M 1</td><td>・カラー</td><td rowspan="3">※非歩行 ・軽歩行</td></tr><tr><td>・S 4 S工法</td><td></td><td>・S－F 2 ・S－M 2</td><td>・シルバー</td></tr><tr><td>・S 3 S工法</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・M 4 S工法</td><td></td><td>・S－M 1 ・S－M 2</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・P O S I工法</td><td></td><td>・S I－F 1 ・S I－M 1</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・S 3 S I工法</td><td></td><td>・S I－F 2 ・S I－M 2</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・S 4 S I工法</td><td></td><td>・S I－M 3</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・M 4 S I工法</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 脱気装置 ・設ける ・設けない [3.5.3] 目地処理 P Cコンクリートの場合（ ） [3.5.4] [3.6.2~3] [2.3.1.1] [2.3.6.1] <table><tr><th>防水改修工法の種類</th><th>施工箇所</th><th>新規防水層の種類</th><th>仕上げ塗料塗り</th></tr><tr><td>・P O X工法</td><td></td><td>※X－1</td><td>・シルバー</td></tr><tr><td>・L 4 X工法</td><td></td><td>※X－2</td><td>・カラー</td></tr></table> 既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装（L 4 X工法の場合） ・除去する [3.2.6] 脱気装置 ※設けない ・設ける [3.6.2] [3.3.3] [3.4.3] [3.5.2] <table><tr><th>型</th><th>材 質</th><th>設置数量</th></tr><tr><td>・平面部脱気型</td><td>・ポリエチレン樹脂 ・ABS樹脂 ・ステンレス ・鉄板</td><td>() ㎡ 当たり 1 箇所</td></tr><tr><td>・立上り部脱気型</td><td>・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス ・銅</td><td>() ㎡ 当たり 1 箇所</td></tr></table> シーリング改修工法の種類 [3.1.4] [2.3.1.2] ○シーリング充てん工法 ○シーリング再充てん工法 ・拡幅シーリング再充てん工法 ・ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所 [3.7.2] [2.3.7.1] ※下表以外は、改修仕様表 3. 7. 1 を標準とする <table><tr><th>施工箇所</th><th>シーリング材の種類（記号）</th></tr><tr><td>・建具廻り</td><td>MS-2</td></tr><tr><td>・外壁化粧目地</td><td>PU-2</td></tr></table>	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	保	・P 1 B	・B－1 ※B－2	護	・P 1 B I ・T 1 B I	・B I－1 ※B I－2	防	・P 2 A I	・A I－1 ※A I－2	水	・P 2 A	・A－1 ※A－2	露出	・M 4 C	・C－1 ※C－2	防水	・M 3 D ・P O D	・D－1 ※D－2	屋内	・P 1 E ・P 2 E	・E－1 ※E－2	防水		(保護層は図示による)	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	厚さ (mm)	・M 4 A S工法		・A S－1 ・A S－2 ・A S－3		・M 3 A S工法		・A S－4 ・A S－5 ・A S－6		・P O A S工法				・M 3 A S I工法		・A S I－1 ・A S I－2		・M 4 A S I工法				・P O A S I工法				防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料等	使用分類	・P O S工法		・S－F 1 ・S－M 1	・カラー	※非歩行 ・軽歩行	・S 4 S工法		・S－F 2 ・S－M 2	・シルバー	・S 3 S工法				・M 4 S工法		・S－M 1 ・S－M 2			・P O S I工法		・S I－F 1 ・S I－M 1			・S 3 S I工法		・S I－F 2 ・S I－M 2			・S 4 S I工法		・S I－M 3			・M 4 S I工法					防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料塗り	・P O X工法		※X－1	・シルバー	・L 4 X工法		※X－2	・カラー	型	材 質	設置数量	・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂 ・ABS樹脂 ・ステンレス ・鉄板	() ㎡ 当たり 1 箇所	・立上り部脱気型	・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス ・銅	() ㎡ 当たり 1 箇所	施工箇所	シーリング材の種類（記号）	・建具廻り	MS-2	・外壁化粧目地	PU-2	④	外壁改修工事 共通事項 ① 施工数量調査 調査範囲 ※外壁改修範囲 ・図示の範囲 [1.5.1] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を壁面に表示し、また欠損部の形状、寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規塗料との適合性を確認する。 調査報告書の部数 ※2部 ・ ② 改修材料 ・既製適合モルタル <table><tr><th>保水率</th><th>単位容積重量</th><th>接着強度 (N/mm²)</th><th>長さ変化率</th><th>曲げ強度</th></tr><tr><td>(%)</td><td>(kg/l)</td><td>標準時</td><td>温冷経過後</td><td>(%)</td></tr><tr><td>(N/mm²)</td><td></td><td></td><td></td><td>(N/mm²)</td></tr><tr><td>7 0. 0 以上</td><td>1. 8 0 程度</td><td>0. 6 0 以上</td><td>0. 4 0 以上</td><td>0. 2 0 以下</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4. 0 以上</td></tr></table> ・パテ状エポキシ樹脂 <table><tr><th>初期硬化性(標準)</th><th>接着強度(標準)</th><th>圧縮強度</th><th>曲げ強度</th><th>硬化収縮率</th></tr><tr><td>2. 0 N/mm²以上</td><td>6. 0 N/mm²以上</td><td>5 0. 0 N/mm²以上</td><td>3 0. 0 N/mm²以上</td><td>3. 0 (%)以下</td></tr></table> a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象となる被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c. 常温・常湿(温度 5℃～3 5℃、湿度 1 5％～8 5％)において製造所の指定する期間又は製造後 6ヶ月保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ・可とう性エポキシ樹脂 <table><tr><th>性能</th><th>常温物性</th><th>低温性</th><th>加熱変化</th><th>引張接着性</th></tr><tr><td>引張強度</td><td>1. 0 N/mm²以上</td><td>1. 0 N/mm²以上</td><td>1. 0 N/mm²以上</td><td>最大引張応力 1. 0 N/mm²以上</td></tr><tr><td>伸び</td><td>3 0. 0 %以上</td><td>3 0. 0 %以上</td><td>3 0. 0 %以上</td><td>破断時の伸び 1 0 %以上</td></tr></table> 比重 表示値±0. 1 0 押出し性 6 0 秒以下 スランプ 3 mm以下 加熱減量 5 %以下 a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象となる被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c. 常温・常湿(温度 5℃～3 5℃、湿度 4 5％～8 5％)において製造所の指定する期間又は製造後 6ヶ月保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ・タイル部分張替え工法用材料 <table><tr><th>接着強度</th><th>標準</th><th>低温硬化</th><th>アルカリ温水</th><th>冷熱水中経過後</th><th>熱劣化</th></tr><tr><td>強度 (N/mm²)</td><td>0. 6 0 以上</td><td>0. 4 0 以上</td><td>0. 4 0 以上</td><td>0. 4 0 以上</td><td>0. 4 0 以上</td></tr><tr><td>凝集破壊率 (%)</td><td>7 5 以上</td><td>5 0 以上</td><td>5 0 以上</td><td>5 0 以上</td><td>5 0 以上</td></tr><tr><td>皮膜物性</td><td>標準</td><td>高温</td><td>低温</td><td>アルカリ温水</td><td>熱劣化</td></tr><tr><td>引張強度 (N/mm²)</td><td>1. 0 0 以上</td><td>1. 0 0 以上</td><td>1. 0 0 以上</td><td>1. 0 0 以上</td><td>1. 0 0 以上</td></tr><tr><td>伸び (%)</td><td>3 0 以上</td><td>3 0 以上</td><td>3 0 以上</td><td>2 0 以上</td><td>2 0 以上</td></tr></table> 貯蔵安定性 容積と粘度に著しい変化がないこと。 耐熱性 J I S A 5 5 4 8 に準じた試験において、8 0℃で4 通間、9. 8 N おもりで安定していること。 a. 外観は、均質で、有害と認められる異物の混入がないこと。 b. タイル、石材、下地等を侵さずものでないこと。 c. 「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d. 常温・常湿(温度 2 0 ±1 5℃、湿度 6 5 ±2 0 %)において製造後 6ヶ月保存しても上記の品質性能に適合していること。 e. ずれ抵抗性があること。 f. 混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。 ・エポキシ樹脂モルタル <table><tr><th>接着強度</th><th>圧縮強度</th><th>曲げ強度</th></tr><tr><td>1. 0 N/mm² 以上</td><td>2 0. 0 N/mm² 以上</td><td>1 0. 0 N/mm² 以上</td></tr></table> a. こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。 b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。 d. 形状に以上が無く、だれが生じないこと。 e. 常温・常湿(温度 2 0 ±1 5℃、湿度 6 5 ±2 0 %)において製造後 6ヶ月保存しても上記の品質性能に適合していること。	保水率	単位容積重量	接着強度 (N/mm ²)	長さ変化率	曲げ強度	(%)	(kg/l)	標準時	温冷経過後	(%)	(N/mm ²)				(N/mm ²)	7 0. 0 以上	1. 8 0 程度	0. 6 0 以上	0. 4 0 以上	0. 2 0 以下					4. 0 以上	初期硬化性(標準)	接着強度(標準)	圧縮強度	曲げ強度	硬化収縮率	2. 0 N/mm ² 以上	6. 0 N/mm ² 以上	5 0. 0 N/mm ² 以上	3 0. 0 N/mm ² 以上	3. 0 (%)以下	性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	引張強度	1. 0 N/mm ² 以上	1. 0 N/mm ² 以上	1. 0 N/mm ² 以上	最大引張応力 1. 0 N/mm ² 以上	伸び	3 0. 0 %以上	3 0. 0 %以上	3 0. 0 %以上	破断時の伸び 1 0 %以上	接着強度	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中経過後	熱劣化	強度 (N/mm ²)	0. 6 0 以上	0. 4 0 以上	0. 4 0 以上	0. 4 0 以上	0. 4 0 以上	凝集破壊率 (%)	7 5 以上	5 0 以上	5 0 以上	5 0 以上	5 0 以上	皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化	引張強度 (N/mm ²)	1. 0 0 以上	1. 0 0 以上	1. 0 0 以上	1. 0 0 以上	1. 0 0 以上	伸び (%)	3 0 以上	3 0 以上	3 0 以上	2 0 以上	2 0 以上	接着強度	圧縮強度	曲げ強度	1. 0 N/mm ² 以上	2 0. 0 N/mm ² 以上	1 0. 0 N/mm ² 以上	⑤	外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁 1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.3.4~7] <table><tr><th>※樹脂注入工法</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入間隔 (mm)</th><th>注入量 (ml / ㎡)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0. 2 以上～1. 0 未満</td><td>※2 0 0～3 0 0</td><td>※</td><td></td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0. 2 以上～0. 3 未満</td><td>※5 0～1 0 0</td><td>※4 0 ・</td><td></td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0. 3 以上～0. 5 未満</td><td>※1 0 0～2 0 0</td><td>※7 0 ・</td><td></td></tr><tr><td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0. 5 以上～1. 0 未満</td><td>※1 5 0～2 5 0</td><td>※1 3 0 ・</td><td></td></tr></table> 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂（J I S A 6 0 2 4 低粘度形又は中粘度形） 検査（コア採取） ※行わない [4.3.4] ・行方（採取り部の補修方法： ） ・Uカットシール材充てん工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.5] <table><tr><th>充てん材料</th><th>品質・規格等</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・シーリング用材料</td><td>※1 成分形又は2 成分形 ポリウレタン系シーリング材</td><td>ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ○行方</td></tr><tr><td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td></td><td></td></tr></table> ・シール工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.7] ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 2 欠損部改修工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.7] ※充てん工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル 3 鉄筋腐食の補修 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.7] 回復目標レベル [2.3.3] [2.3.3] ・恒久 ・延命 ・暫定 補修の方法 ・ひび割れ補修工法 ・鉄筋腐食補修工法 ・鉄筋腐食抑制工法 ・中性化抑制工法 ・塩害抑制工法 4 外壁改修工事 ① 既存モルタル塗りの撤去 ② ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.5] <table><tr><th>※樹脂注入工法</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入間隔 (mm)</th><th>注入量 (cc / ㎡)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0. 2 以上～1. 0 未満</td><td>※2 0 0～3 0 0</td><td>※</td><td></td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0. 2 以上～0. 3 未満</td><td>※5 0～1 0 0</td><td>※4 0 ・</td><td></td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0. 3 以上～0. 5 未満</td><td>※1 0 0～2 0 0</td><td>※7 0 ・</td><td></td></tr><tr><td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0. 5 以上～1. 0 未満</td><td>※1 5 0～2 5 0</td><td>※1 3 0 ・</td><td></td></tr></table> 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂（J I S A 6 0 2 4 低粘度形又は中粘度形） 検査（コア採取） ※行わない [4.3.4] ・行方（採取り部の補修方法： ） ○Uカットシール材充てん工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.5] <table><tr><th>充てん材料</th><th>品質・規格等</th><th>備 考</th></tr><tr><td>○シーリング用材料</td><td>※1 成分形又は2 成分形 ポリウレタン系シーリング材</td><td>ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ○行方</td></tr><tr><td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td></td><td></td></tr></table> ・シール工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.4.7] （※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面） ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.4.2] [4.6.3] （※シール工法の範囲 ・）	※樹脂注入工法	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (ml / ㎡)	備 考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0. 2 以上～1. 0 未満	※2 0 0～3 0 0	※		・手動式エポキシ樹脂注入工法	0. 2 以上～0. 3 未満	※5 0～1 0 0	※4 0 ・		・手動式エポキシ樹脂注入工法	0. 3 以上～0. 5 未満	※1 0 0～2 0 0	※7 0 ・		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0. 5 以上～1. 0 未満	※1 5 0～2 5 0	※1 3 0 ・		充てん材料	品質・規格等	備 考	・シーリング用材料	※1 成分形又は2 成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ○行方	・可とう性エポキシ樹脂			※樹脂注入工法	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (cc / ㎡)	備 考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0. 2 以上～1. 0 未満	※2 0 0～3 0 0	※		・手動式エポキシ樹脂注入工法	0. 2 以上～0. 3 未満	※5 0～1 0 0	※4 0 ・		・手動式エポキシ樹脂注入工法	0. 3 以上～0. 5 未満	※1 0 0～2 0 0	※7 0 ・		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0. 5 以上～1. 0 未満	※1 5 0～2 5 0	※1 3 0 ・		充てん材料	品質・規格等	備 考	○シーリング用材料	※1 成分形又は2 成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ○行方	・可とう性エポキシ樹脂			③	欠損部改修工法 ④ 浮き部改修工法 4 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁 1 既存タイル張りの撤去 2 ひび割れ部改修工法 3 欠損部改修工法 4 浮き部改修工法 5 目地改修工法	既存モルタル面の欠損部 [4.1.4] [4.4.2~9] <table><tr><th>改修工法の種類</th><th>材 料</th><th>品質・規格等</th></tr><tr><td>○充てん工法</td><td>ポリマーセメントモルタル</td><td></td></tr><tr><td>・モルタル塗替え工法</td><td>改修仕様 4. 2. 2 (g) による</td><td>塗り厚 2 5 mmを超える場合の補強 ※行方 ・ 行わない ・ 図示</td></tr></table> 既製目地材 ・適用する（形状 ※図示 ・） [4.2.2] [4.1.4] [4.4.10~15] [表4.4.3~4] <table><tr><th>改修工法の種類</th><th>アンカーピン</th><th>一般部</th><th>一般部</th></tr></table>	改修工法の種類	材 料	品質・規格等	○充てん工法	ポリマーセメントモルタル		・モルタル塗替え工法	改修仕様 4. 2. 2 (g) による	塗り厚 2 5 mmを超える場合の補強 ※行方 ・ 行わない ・ 図示	改修工法の種類	アンカーピン	一般部	一般部
	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	保	・P 1 B	・B－1 ※B－2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	護	・P 1 B I ・T 1 B I	・B I－1 ※B I－2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	防	・P 2 A I	・A I－1 ※A I－2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	水	・P 2 A	・A－1 ※A－2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	露出	・M 4 C	・C－1 ※C－2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	防水	・M 3 D ・P O D	・D－1 ※D－2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	屋内	・P 1 E ・P 2 E	・E－1 ※E－2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	防水		(保護層は図示による)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・M 4 A S工法		・A S－1 ・A S－2 ・A S－3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・M 3 A S工法		・A S－4 ・A S－5 ・A S－6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・P O A S工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・M 3 A S I工法		・A S I－1 ・A S I－2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・M 4 A S I工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・P O A S I工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料等	使用分類																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・P O S工法		・S－F 1 ・S－M 1	・カラー	※非歩行 ・軽歩行																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・S 4 S工法		・S－F 2 ・S－M 2	・シルバー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・S 3 S工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・M 4 S工法		・S－M 1 ・S－M 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・P O S I工法		・S I－F 1 ・S I－M 1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・S 3 S I工法		・S I－F 2 ・S I－M 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・S 4 S I工法		・S I－M 3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・M 4 S I工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料塗り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・P O X工法		※X－1	・シルバー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・L 4 X工法		※X－2	・カラー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
型	材 質	設置数量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂 ・ABS樹脂 ・ステンレス ・鉄板	() ㎡ 当たり 1 箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・立上り部脱気型	・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス ・銅	() ㎡ 当たり 1 箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	シーリング材の種類（記号）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・建具廻り	MS-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・外壁化粧目地	PU-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
保水率	単位容積重量	接着強度 (N/mm ²)	長さ変化率	曲げ強度																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
(%)	(kg/l)	標準時	温冷経過後	(%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
(N/mm ²)				(N/mm ²)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
7 0. 0 以上	1. 8 0 程度	0. 6 0 以上	0. 4 0 以上	0. 2 0 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
				4. 0 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
初期硬化性(標準)	接着強度(標準)	圧縮強度	曲げ強度	硬化収縮率																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
2. 0 N/mm ² 以上	6. 0 N/mm ² 以上	5 0. 0 N/mm ² 以上	3 0. 0 N/mm ² 以上	3. 0 (%)以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
引張強度	1. 0 N/mm ² 以上	1. 0 N/mm ² 以上	1. 0 N/mm ² 以上	最大引張応力 1. 0 N/mm ² 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
伸び	3 0. 0 %以上	3 0. 0 %以上	3 0. 0 %以上	破断時の伸び 1 0 %以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
接着強度	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中経過後	熱劣化																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
強度 (N/mm ²)	0. 6 0 以上	0. 4 0 以上	0. 4 0 以上	0. 4 0 以上	0. 4 0 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
凝集破壊率 (%)	7 5 以上	5 0 以上	5 0 以上	5 0 以上	5 0 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
引張強度 (N/mm ²)	1. 0 0 以上	1. 0 0 以上	1. 0 0 以上	1. 0 0 以上	1. 0 0 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
伸び (%)	3 0 以上	3 0 以上	3 0 以上	2 0 以上	2 0 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
接着強度	圧縮強度	曲げ強度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
1. 0 N/mm ² 以上	2 0. 0 N/mm ² 以上	1 0. 0 N/mm ² 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
※樹脂注入工法	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (ml / ㎡)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0. 2 以上～1. 0 未満	※2 0 0～3 0 0	※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0. 2 以上～0. 3 未満	※5 0～1 0 0	※4 0 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0. 3 以上～0. 5 未満	※1 0 0～2 0 0	※7 0 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0. 5 以上～1. 0 未満	※1 5 0～2 5 0	※1 3 0 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
充てん材料	品質・規格等	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・シーリング用材料	※1 成分形又は2 成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ○行方																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・可とう性エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※樹脂注入工法	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (cc / ㎡)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0. 2 以上～1. 0 未満	※2 0 0～3 0 0	※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0. 2 以上～0. 3 未満	※5 0～1 0 0	※4 0 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0. 3 以上～0. 5 未満	※1 0 0～2 0 0	※7 0 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0. 5 以上～1. 0 未満	※1 5 0～2 5 0	※1 3 0 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
充てん材料	品質・規格等	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○シーリング用材料	※1 成分形又は2 成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ○行方																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・可とう性エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
改修工法の種類	材 料	品質・規格等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○充てん工法	ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・モルタル塗替え工法	改修仕様 4. 2. 2 (g) による	塗り厚 2 5 mmを超える場合の補強 ※行方 ・ 行わない ・ 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
改修工法の種類	アンカーピン	一般部	一般部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

25	陶磁器質タイル張り	タイルの種類										[6.16.3]	
		施工箇所		形状寸法 (mm)	き じ	うわぐすり	役 物	色	再生材	備 考			
26	断熱材	〔19.9.2~3〕											
		種 類		施工箇所		厚さ (mm)		品質等					
		・押出法	※2種b	※一般部	※25	特定フロンを使用しないもの							
		ポリスチレンフォーム	※3種b	・接合部分	※25								
		保溫板	(スキン層付)	・	・								
		・現場発泡断熱材	※断熱材補修部分	――	――	特定フロンを使用しないもの							
		・一般部	※15	・	・	難燃性※3級・2級							
		ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量	※規制対象外		・第三種								
		市販品	材 質	表面仕上げ	性 能	幅 (mm)	備 考						
		※アルミニウム製	※焼付け塗装品	・	準不燃品	※200	回り縁は確付きとし、製造所の標準品とする。						
・硬質塩化ビニル	※塗装品	・木目調	・	・100									
27	浴室天井材	〔20.2.1〕											
		施工箇所		構 法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力	耐衝撃性能	表面仕上げ材	備 考				
28	フリーアクセスフロア	・パネル構造	・	・1.0G	・3.000N	・帯電防止床タイル							
		・溝構造	・	・0.6G	・5.000N	・タイルカーペット							
		・パネル構造	・	・1.0G	・3.000N	・帯電防止床タイル							
		・溝構造	・	・0.6G	・5.000N	・タイルカーペット							
		・パネル構造	・	・1.0G	・3.000N	・帯電防止床タイル							
		・溝構造	・	・0.6G	・5.000N	・タイルカーペット							
		5.000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したものを同等品とする。											
		表面仕上げ材の品質・規格等は、各内装工事による。											
		スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・ 図示											
		コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事)											
29	可動間仕切	配線用取出しパネル		配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上									
		フリーアクセスフロア全体面に対する設置割合											
		※20～30パーセント ・											
		空調用吹き出しパネル		※無し									
		・有り (※固定式 ・可変式：施工箇所は図示)											
		構造形式		パネル部の 総厚さ (mm)	表面材種 (厚さ (mm))	表面仕上げ	遮音性能	防火性能					
		・スタッド式	・	※銅板	※メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け	・あり	・あり						
		・スタッドパネル式	・	(※0.6・0.8)	・	()	・なし						
		・パネル式	・	・	・	・なし							
		30	移動間仕切	遮音性能による区分		厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法				
・一般タイプ					※銅板	・焼付け塗装	・手動式	・電動式					
・遮音タイプ (3.6db以上)					※銅板	・焼付け塗装	・手動式	・電動式					
表面仕上げの壁紙張りの品質は23壁紙張りによる。													
遮音性能は、JIS A 6512の遮音試験に準拠する													
表面仕上げ材				※メラミン樹脂系化粧板 (標準色 アルミ製コーナーエッジ付き)									
・ポリエステル樹脂系化粧板													
足形状				※幅木型 ・足金物型									
31	トイレブース			〔20.2.5〕									
				表面仕上げ材 ※メラミン樹脂系化粧板 (標準色 アルミ製コーナーエッジ付き)									
		・ポリエステル樹脂系化粧板											
		足形状		※幅木型 ・足金物型									
		32	階段滑止め	材種	ステンレス SUS304								
				形 状	ビニルタイヤ入り								
				両端フラットエンド ※有り (・ステンレス製 ※ビニル製) ・無し									
				幅 (mm)	約35								
				取付け工法	※接着工法 ・埋込み工法								
				33	階段手すり	種 別		施工箇所					
※集成材クリアッカー仕上げ (市販品 径 約4.5mm)													
・ビニル製ハンドルレール (幅 約50mm)													
〔20.2.8〕													
種 類	寸法 (mm)					色 彩	備 考						
・黒板	※焼付け		※緑・黒			※平面・曲面	スクリーン付引分け						
・ホワイトボード	※ほうろうボード		※白			※平面・曲面	スクリーン付引分け						
34	黒板及び ホワイトボード	〔20.2.8〕											
		衝突防止表示 ※図示 (市販品 ※ステンレス製 径約30mm・ (・両面・片面) ・無し											
		表示構法 案内用図記号については JIS Z 8210 による。 誘導構法、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。 製造所 監督職員の承諾する製造所											
		・既存再使用する (養生方法: ・新設する											
		〔2.3.1〕											
		〔5.1.6〕											
		形 式		種 類	スラットの材種		スラットの幅 (mm)						
		※横型	※ギア式・コード式	※アルミニウム合金製	・	※25							
		・縦型	・操作様式	・	・	・							
		・1本操作コード式	・アルミスラット	・	・80								
・2本操作コード式	・クロススラット	・	・100										
35	表示	〔20.2.10〕											
		衝突防止表示 ※図示 (市販品 ※ステンレス製 径約30mm・ (・両面・片面) ・無し											
		表示構法 案内用図記号については JIS Z 8210 による。 誘導構法、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。 製造所 監督職員の承諾する製造所											
		・既存再使用する (養生方法: ・新設する											
		〔2.3.1〕											
		〔5.1.6〕											
		形 式		種 類	スラットの材種		スラットの幅 (mm)						
		※横型	※ギア式・コード式	※アルミニウム合金製	・	※25							
		・縦型	・操作様式	・	・	・							
		・1本操作コード式	・アルミスラット	・	・80								
・2本操作コード式	・クロススラット	・	・100										
36	ブラインド	〔2.3.1〕											
		〔5.1.6〕											
		形 式		種 類	スラットの材種		スラットの幅 (mm)						
		※横型	※ギア式・コード式	※アルミニウム合金製	・	※25							
		・縦型	・操作様式	・	・	・							
		・1本操作コード式	・アルミスラット	・	・80								
		・2本操作コード式	・クロススラット	・	・100								
		37	ロールスクリーン	〔20.2.10〕									
				衝突防止 ※有り 製造所 性能の確認できる資料を監督職員に提出する。									
				施工箇所		装 置	性 能 (防炎性能)		備 考				
	電動			手引									
・													
・													
・													
・													
・													
・													
38	カーテン	〔2.3.1〕											
		〔5.1.6〕											
		・既存再使用する (養生方法: ・新設する											
		〔2.3.1〕											
		〔5.1.6〕											
		施工箇所		形 式 片引 引分	装 置 電動 ひも引 手引	ひだの種類		性 能	備 考				
			・	・	・	・							
			・	・	・	・							
			・	・	・	・							
			・	・	・	・							
39	カーテンレール	〔5.1.6〕											
		〔20.2.14〕											
		・既存再使用する											
		・新設する											
		材料 ※アルミニウム製 ・ステンレス製											
		形式 ・片引き ・引分け (※暗幕用は300mm以上の引合せの重掛けとする)											
		・図示											
		40	ブラインドボックス 及びカーテンボックス	〔5.1.6〕									
				・既存再使用する									
				・新設する									
・市販品 (アルミニウム製 押出し型材)													
溝幅×深さ (mm)													
・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80 ・													
色彩 ※9-1 ・B-2 (※ブラウン形・ブラック・ステンカラー)													
・図示													
41	天井点検口			材 質 アルミニウム製 (※縁縁タイプ ・目地タイプ)									
				材 質 アルミニウム製 (受け枠 ※アルミ製 ・ステンレス製)									
		〔5.1.6〕											
		〔20.2.14〕											
		種 類		規格等		耐荷重による種類							
		・鋼製書架	JIS S1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ									
		・鋼製物品棚	JIS S1040の規格による	※1種 ・2種 ・3種									
		市販品											
		材 質 ・塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠)											
		・ビニル製 (ステンレス製受枠)											
・硬質アルミニウム製 (受枠とも)													
・ステンレス製 (受枠とも)													
42	床点検口	〔5.1.6〕											
		〔20.2.14〕											
		種 類		寸法 (L= mm)	適用内容		規格・品質等						
		・洗し台	※1200・1500・1800	トラップ付き	※優良住宅部品								
		・コンロ台	※600・700	・バックガード ※有り (セクショナルキッチンI型)									
		・つり戸棚	※1200・900・600	・									
		・水切り棚	※1200・900	ステンレス製 ※1段式	※市販品								
		枠の材質 ※アルミニウム製											
		表面の材質 ※塩化ビニルシート張り ・											
		材 種 ・メラミン樹脂化粧板張り (心材:集成材) ・人工大理石											
奥行き (mm) ・約450 ・約600													
43	鋼製書架及び物品棚	〔12.2.2〕											
		〔19.7.2〕											
		材 質		形状・寸法	※図示								
		合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量											
		※規制対象外 ・第三種											
		44	くつきマット	〔20.2.1〕									
				〔20.2.2〕									
				種 類		寸法 (L= mm)	適用内容		規格・品質等				
				・洗し台	※1200・1500・1800	トラップ付き	※優良住宅部品						
				・コンロ台	※600・700	・バックガード ※有り (セクショナルキッチンI型)							
・つり戸棚	※1200・900・600			・									
・水切り棚	※1200・900			ステンレス製 ※1段式	※市販品								
枠の材質 ※アルミニウム製													
表面の材質 ※塩化ビニルシート張り ・													
材 種 ・メラミン樹脂化粧板張り (心材:集成材) ・人工大理石													
奥行き (mm) ・約450 ・約600													
45	流し台ユニット	〔20.2.1〕											
		〔20.2.2〕											
		種 類		寸法 (L= mm)	適用内容		規格・品質等						
		・洗し台	※1200・1500・1800	トラップ付き	※優良住宅部品								
		・コンロ台	※600・700	・バックガード ※有り (セクショナルキッチンI型)									
		・つり戸棚	※1200・900・600	・									
		・水切り棚	※1200・900	ステンレス製 ※1段式	※市販品								
		枠の材質 ※アルミニウム製											
		表面の材質 ※塩化ビニルシート張り ・											
		材 種 ・メラミン樹脂化粧板張り (心材:集成材) ・人工大理石											
奥行き (mm) ・約450 ・約600													
46	屋内掲示板	〔20.2.1〕											
		〔20.2.2〕											
		種 類		寸法 (L= mm)	適用内容		規格・品質等						
		・洗し台	※1200・1500・1800	トラップ付き	※優良住宅部品								
		・コンロ台	※600・700	・バックガード ※有り (セクショナルキッチンI型)									
		・つり戸棚	※1200・900・600	・									
		・水切り棚	※1200・900	ステンレス製 ※1段式	※市販品								
		枠の材質 ※アルミニウム製											
		表面の材質 ※塩化ビニルシート張り ・											
		材 種 ・メラミン樹脂化粧板張り (心材:集成材) ・人工大理石											
奥行き (mm) ・約450 ・約600													
47	洗面カウンター	〔20.2.1〕											
		〔20.2.2〕											
		種 類		寸法 (L= mm)	適用内容		規格・品質等						
		・洗し台	※1200・1500・1800	トラップ付き	※優良住宅部品								
		・コンロ台	※600・700	・バックガード ※有り (セクショナルキッチンI型)									
		・つり戸棚	※1200・900・600	・									
		・水切り棚	※1200・900	ステンレス製 ※1段式	※市販品								
		枠の材質 ※アルミニウム製											
		表面の材質 ※塩化ビニルシート張り ・											
		材 種 ・メラミン樹脂化粧板張り (心材:集成材) ・人工大理石											
奥行き (mm) ・約450 ・約600													
48	収納・収納家具	〔12.2.2〕											
		〔19.7.2〕											
		材 質		形状・寸法	※図示								
		合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量											
		※規制対象外 ・第三種											
		49	防煙垂れ壁	〔20.2.1〕									
				〔20.2.2〕									
				種 類		材 質	高さ (mm)	備 考					
				※網入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き						
				・網入り磨板ガラス	・	・							
・可動式													
種 類	材 質			高さ (mm)	備 考								
・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃品 (不燃認定品)			※500 ・800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)								
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製			※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り ・								
降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)													
50	断熱材	〔7.2.2~7〕											
		〔7.2.1~1〕											
		下地の種類		下地調整の種類		備 考							
		木部	・RA種 ※RB種										
		鉄鋼面	・RA種 ※RB種										
		重鉛めっき面	・RA種 ※RB種										
		重鉛メッキ面 (鋼製建具)	※RB種・RC種										
		モルタル、プラスター面	・RA種 ※RB種										
		コンクリート、ALCパネル面	・RA種 ※RB種	(2-U E)、(2-A S E) 及び (2-F U E) は除く									
		せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種										
既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修													
※行わない ・行う (補修範囲及び補修方法は図示)													
51	塗装改修工事	〔7.2.2~7〕											
		〔7.2.1~1〕											
		下地の種類		下地調整の種類		備 考							
		木部	・RA種 ※RB種										
		鉄鋼面	・RA種 ※RB種										
		重鉛めっき面	・RA種 ※RB種										
		重鉛メッキ面 (鋼製建具)	※RB種・RC種										
		モルタル、プラスター面	・RA種 ※RB種										
		コンクリート、ALCパネル面	・RA種 ※RB種	(2-U E)、(2-A S E) 及び (2-F U E) は除く									
		せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種										
既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修													
※行わない ・行う (補修範囲及び補修方法は図示)													
52	断熱材	〔7.2.2~7〕											
		〔7.2.1~1〕											
		下地の種類		新規塗りの種類		塗り替えの種類		備 考					
		鉄面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		重鉛めっき面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		コンクリート及び押出成形セメント板面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		新規鉄面の塗りの種類 ・A種 ※B種											
		〔7.4.4〕											
		新規木部の塗りの種類 ・A種 ※B種											
		〔7.4.2〕											
新規鉄面、重鉛めっき面の塗りの種類 ・A種 ※B種													
〔7.4.3〕													
53	断熱材	〔7.9.2~4〕											
		〔7.9.1~1〕											
		下地の種類		新規塗りの種類		塗り替えの種類		備 考					
		鉄面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		重鉛めっき面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		コンクリート及び押出成形セメント板面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		新規鉄面の塗りの種類 ・A種 ※B種											
		〔7.4.4〕											
		新規木部の塗りの種類 ・A種 ※B種											
		〔7.4.2〕											
新規鉄面、重鉛めっき面の塗りの種類 ・A種 ※B種													
〔7.4.3〕													
54	断熱材	〔7.9.2~4〕											
		〔7.9.1~1〕											
		下地の種類		新規塗りの種類		塗り替えの種類		備 考					
		鉄面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		重鉛めっき面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		コンクリート及び押出成形セメント板面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		新規鉄面の塗りの種類 ・A種 ※B種											
		〔7.4.4〕											
		新規木部の塗りの種類 ・A種 ※B種											
		〔7.4.2〕											
新規鉄面、重鉛めっき面の塗りの種類 ・A種 ※B種													
〔7.4.3〕													
55	断熱材	〔7.9.2~4〕											
		〔7.9.1~1〕											
		下地の種類		新規塗りの種類		塗り替えの種類		備 考					
		鉄面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		重鉛めっき面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		コンクリート及び押出成形セメント板面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		新規鉄面の塗りの種類 ・A種 ※B種											
		〔7.4.4〕											
		新規木部の塗りの種類 ・A種 ※B種											
		〔7.4.2〕											
新規鉄面、重鉛めっき面の塗りの種類 ・A種 ※B種													
〔7.4.3〕													
56	断熱材	〔7.9.2~4〕											
		〔7.9.1~1〕											
		下地の種類		新規塗りの種類		塗り替えの種類		備 考					
		鉄面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		重鉛めっき面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		コンクリート及び押出成形セメント板面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		新規鉄面の塗りの種類 ・A種 ※B種											
		〔7.4.4〕											
		新規木部の塗りの種類 ・A種 ※B種											
		〔7.4.2〕											
新規鉄面、重鉛めっき面の塗りの種類 ・A種 ※B種													
〔7.4.3〕													
57	断熱材	〔7.9.2~4〕											
		〔7.9.1~1〕											
		下地の種類		新規塗りの種類		塗り替えの種類		備 考					
		鉄面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		重鉛めっき面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		コンクリート及び押出成形セメント板面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		新規鉄面の塗りの種類 ・A種 ※B種											
		〔7.4.4〕											
		新規木部の塗りの種類 ・A種 ※B種											
		〔7.4.2〕											
新規鉄面、重鉛めっき面の塗りの種類 ・A種 ※B種													
〔7.4.3〕													
58	断熱材	〔7.9.2~4〕											
		〔7.9.1~1〕											
		下地の種類		新規塗りの種類		塗り替えの種類		備 考					
		鉄面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		重鉛めっき面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		コンクリート及び押出成形セメント板面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		新規鉄面の塗りの種類 ・A種 ※B種											
		〔7.4.4〕											
		新規木部の塗りの種類 ・A種 ※B種											
		〔7.4.2〕											
新規鉄面、重鉛めっき面の塗りの種類 ・A種 ※B種													
〔7.4.3〕													
59	断熱材	〔7.9.2~4〕											
		〔7.9.1~1〕											
		下地の種類		新規塗りの種類		塗り替えの種類		備 考					
		鉄面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		重鉛めっき面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		コンクリート及び押出成形セメント板面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		新規鉄面の塗りの種類 ・A種 ※B種											
		〔7.4.4〕											
		新規木部の塗りの種類 ・A種 ※B種											
		〔7.4.2〕											
新規鉄面、重鉛めっき面の塗りの種類 ・A種 ※B種													
〔7.4.3〕													
60	断熱材	〔7.9.2~4〕											
		〔7.9.1~1〕											
		下地の種類		新規塗りの種類		塗り替えの種類		備 考					
		鉄面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		重鉛めっき面	※A種・B種	・A種 ※B種									
		コンクリート及び押出成形セメント板面	※A種・B種	・A種 ※B種									

15鋼材

鋼材の材質

【8.2.7】【表8.2.5】

種類の記号	施工箇所	規格等
		※JIS規格による
		※JIS規格による
		※JIS規格による

16スカラップ

※改良型スカラップ

17高力ボルト

高力ボルトの適用

※トルシヤ高力ボルト・JIS形高力ボルト・溶融亜鉛めっき高力ボルト

【8.2.8】

18鉄骨工作仮組

・行う

※行わない

【8.12.9】

19溶接部の試験

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験

※行う

【8.14.11~12】

20錆止め塗料

耐火被覆材の接着する面の塗装

・行う（※JISK56222種）

※行わない

【8.16.3】

21耐火被覆材

耐火被覆材

種別	所要性能及び施工構造区分
・ラス張りモルタル塗り	
・耐火材	・乾式吹付けロックウール
吹付け	・半乾式吹付けロックウール
	・湿式ロックウール
・耐火板張り	

【8.17.2~6】

22既存コンクリート面の目荒し

適用範囲

※既存コンクリートとの打継ぎ面

※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てん部の接合面

・目荒らしの範囲

※柱・梁面・壁面打継ぎ面又は接合面全面の1/3程度

・目荒らしの程度

※平均深さ5~10mm（最大深さ10~15mm）程度の凹部を施す

【8.19.1】【8.20.3】

23あと施工アンカーの材料

あと施工アンカーの材料

・金属拡張アンカー（耐震補強用）

※接着系アンカー

接着剤の品質

※有機系

アンカー筋の種類

※鉄筋コンクリート用棒鋼

・全ねじボルト

【8.2.4】

24あと施工アンカーの穿孔

穿孔前の埋込み配管等の調査

範囲

※あと施工アンカー施工部分全て

・図示

方法

※探査器により調査し、配管等の位置の量出を行う

・はつり出しによる

【8.11.2】

25あと施工アンカーの施工確認試験

アンカー筋

※行う（確認強度は図示による）

・行わない

【8.11.5】

26断熱材兼用型枠

断熱材兼用型枠

種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・断熱材兼用型枠	・木質系	※壁（図示の範囲）	※40以下
	・コンクリート系	・	・
	・プラスチック系		断熱抵抗 ＝厚さ/熱伝導率 ＝0.676以上 (m ² ・kI/w)
		製造所	建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの

【19.9.2】【19.9.3】

8-2耐震改修工事

1打増し壁に用いるシアコネクタ

現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ

種類

・

間隔(mm)

※500×500

・図示

【8.2.4】

2増設・補強工事のコンクリートの打込み

工法の種類

流込み工法または圧入工法

【8.19.8】【8.21.5】

3柱補強

溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法

柱頭柱脚の隙間部間の型枠

※ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む

・図示

【8.21.5】

4連続繊維シート巻き

材料・形状

採用した工法の規定を満足するもの

材質

引張り強度（含浸硬化後）

・2500N/mm²以上

・3000N/mm²以上

ヤング係数（含浸硬化後）

・2.35×10⁴N/mm²程度

・2.00×10⁴N/mm²以上

工法

※（財）日本建築防災協会の評価を受けた工法

・

下地調整

仕上げモルタルの除去

※行う

・行わない

柱の隅角部の面取り

※工法の評価内容による

【8.21.7】

5スリットの施工

スリット部の配管等の調査

※探査器により調査し、配管等の位置の量出を行う

・はつり出し

【8.22.2】

9環境配慮（グリーン）改修工事

1アスベスト含有調査

・行う（下表による）

・行わない

材 料 名	調査方法	1材料あたりの試料数
	※X線回折分析	※3
	・	・

2アスベスト除去工事

吹付けアスベストの施工数量調査

【8.1.1】

※行う

アスベスト粉じん濃度測定

※行う

関係法令及び関係条例に定める方法により測定する。

除去作業を行う当該建築物の敷地境界において、規制のある場合はその規制に従う。

作業管理者は、資格証明書の写しに工事履歴書を添付して監督職員に提出し、承諾を受ける。

吹付けアスベストのアスベスト処理後の機能回復のための工事

※図示

測定室

・図示

測定点

・図示

3アスベスト成形板の処理等

処理を行うアスベスト成形板の仕様等

【8.1.5】

材 料 名	厚さ（mm）	処理を行う範囲
		※図示

施工調査

アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。

調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。

（1）アスベスト成形板使用部位の確認

（2）アスベスト成形板の種類、厚さ等の確認

（3）アスベスト成形板使用数量の確認

4外断熱改修工事

断熱材の種類

【8.3.1】

材料名	厚さ（mm）
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム
・ロックウール	・グラスウール

断熱材の種類

【8.3.2】

・

防火性能

【8.3.3】

既存外壁の仕上材の撤去

・有り

・無し

【8.3.3】

下地面の清掃及び下地調整

※断熱材製造所の指定する仕様

・

【8.3.4】

通気層

・有り（mm）

・無し

試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を監督職員に提出し監督職員の承諾を受ける

特記無き事項は、製造所の仕様による。

5ガラス改修工事

複層ガラスの厚さ

・建具表による

【8.4.2】

日射遮へいによる区分

※U3-1

・U3-2

6屋上緑化改修工事

システムの種類

【8.6.1】

・管理型

・省管理型

その他特記事項は図示

7透水性アスファルト舗装改修工事

路盤材料

【8.7.4】【表8.7.5】

※再生クラッシャーラン（RC-40）

・クラッシャーラン（C-40）又はクラッシャーランスラグ（CS-40）

透水性の高いものを使用する

【8.7.3】

遮断層及び凍上抑制層の材料

遮断層

※川砂、海砂又は良質な山砂

・

厚さは図示

・凍上抑制層

※再生クラッシャーラン

・クラッシャーラン

切り込み砂利

・砂

厚さは図示

【8.7.3】【表8.7.1】

盛り土に用いる材料

・A種

※B種

・C種

・D種

路床安定処理

※添加材料による安定処理

【8.7.3】【表8.7.3】

種類

・普通ポルトランドセメント

・フライアッシュセメントB種

・生石灰（）

・消石灰（）

添加量

k g/m²（目録CBR※以上）

路床土の支持力比試験

※行う（※乱した土

・乱さない土）

路床締固め度の試験

※行う

【8.7.4】【表8.7.7】

アスファルト混合物

車道部

※改質アスファルトⅠ型

歩道部

※ストレータアスファルト

【8.7.4】

アスファルト混合物の抽出試験

※行わない

・行う

8PCB含有シーリング材処分

（1）事前調査等

シーリング材のサンプルについて、専門分析機関で分析を行うこと。

・現場においてサンプルを採集

採取箇所

※外壁目地

・図示

・

採取箇所数

※部材が異なるごとに1箇所

・図示

・

分析によりPCBの含有が確認された場合は施工調査等を行い、適切に処理すること。

（2）施工調査等

調査範囲

※図示

・

処分にあたり、あらかじめ次の事項について調査を行うこと。

シーリング使用部位の確認

シーリング長さの確認

施工範囲と工事管理区分の確認

仮設計画

廃棄物等の搬出方法

10その他

1保証書の提出及び保証期間

2イメージアップ工事

種別	適用	保証期間
防水改修工事	・アスファルト防水	（）年
	・合成高分子系ルーフィングシート防水	（）年
	・塗膜防水	（）年
	○シーリング	（5）年
	・	（）年
	・長尺金属板葺	（）年
内装改修工事	・防蟻処理	（）年
	・	（）年
外壁改修工事	○アクリルゴム系外壁化粧防水材	（10）年
	○外壁補修（注入、ピンニング、ポリマーセメント等）	（10）年
	・	（）年

項 目	適 用
（1）休憩所	・面積 m ²
（2）更衣室	・面積 m ²
	・ロッカー
（3）シャワー施設	・ユニット
（4）トイレの水洗化	・水洗
（5）仮囲いのデザイン	・範囲（）
	・塗装の程度
（6）フラワーボックス	・大きさ（）
	・設置期間（）
（7）夜間照明設備	・仕様（）
	・設置場所（）
（8）PRコーナー	・設計図面に提示
（9）PR看板	・大きさ（）
	・仕様（）
（11）通学路等専用歩道	・仮設図面に提示

長崎県土木部建築課

〒850-8570 長崎市江戸町2-13

TEL095-824-1111/FAX095-827-3367

課長

総括補佐

課長補佐

係長

設計者

工事名称

滑石1OAP外壁改修工事

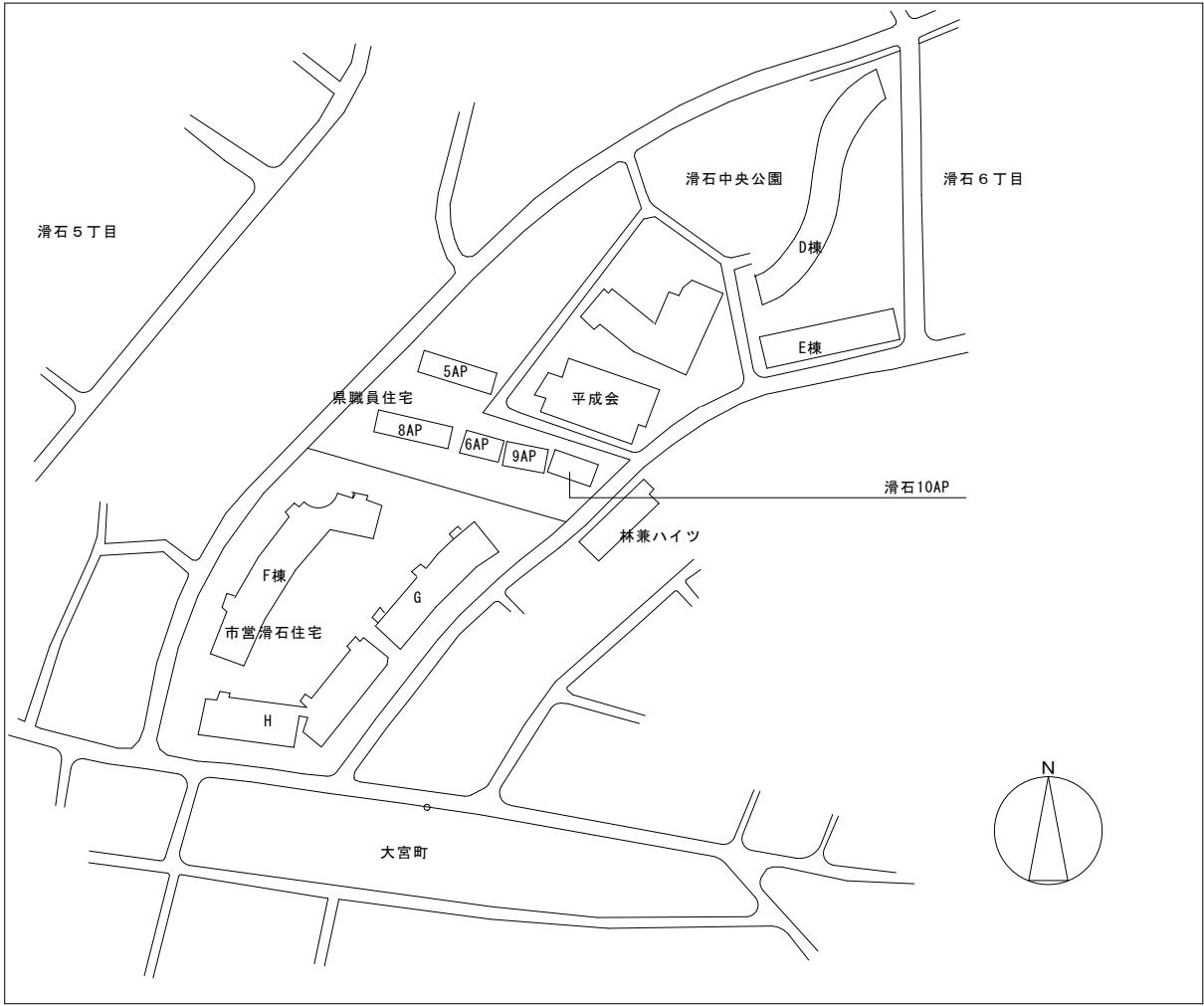
工事設計図

改修特記仕様書（その6）

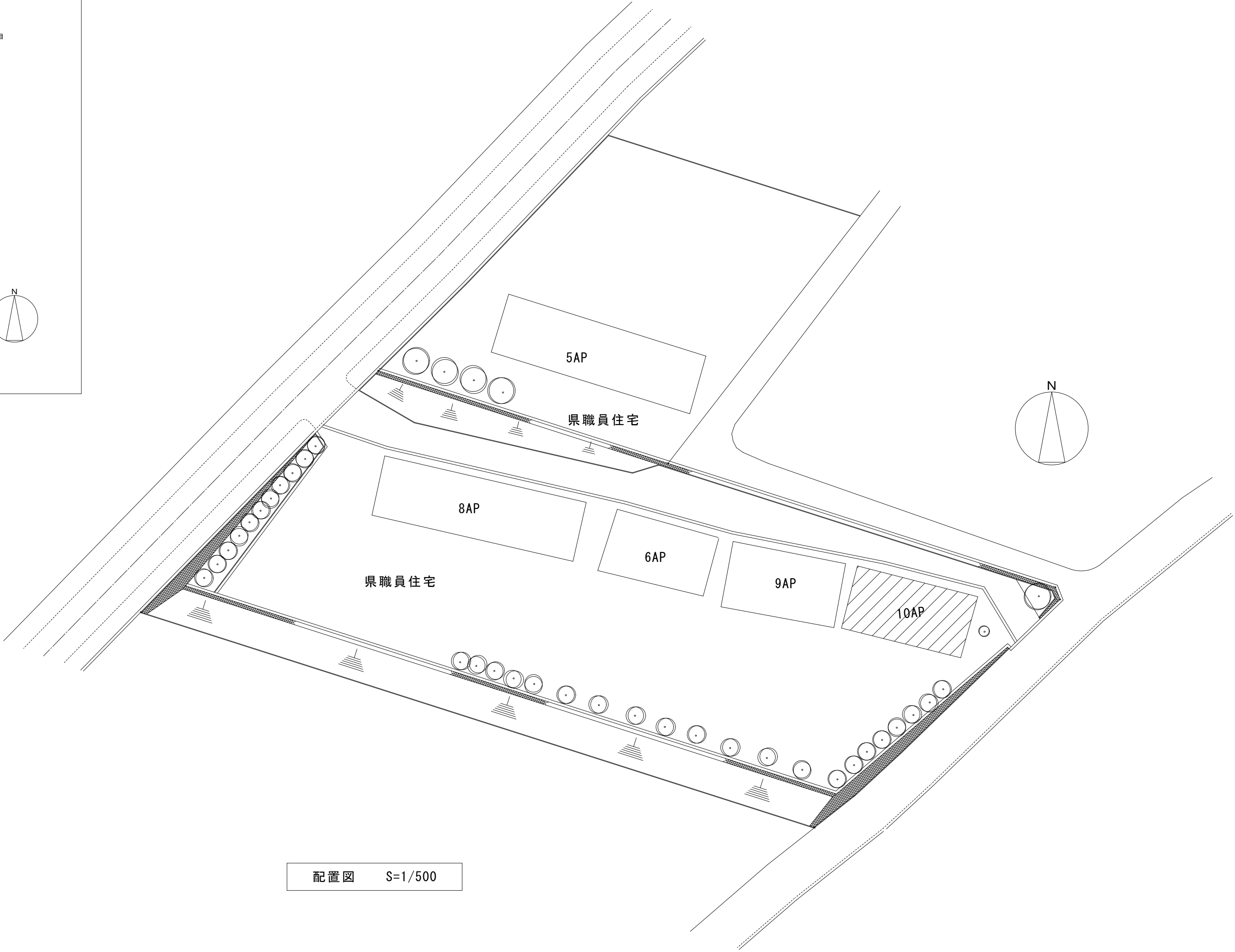
平成21年版

A-06/15

210701



案内図 NO SCALE



配置図 S=1/500

特 記	



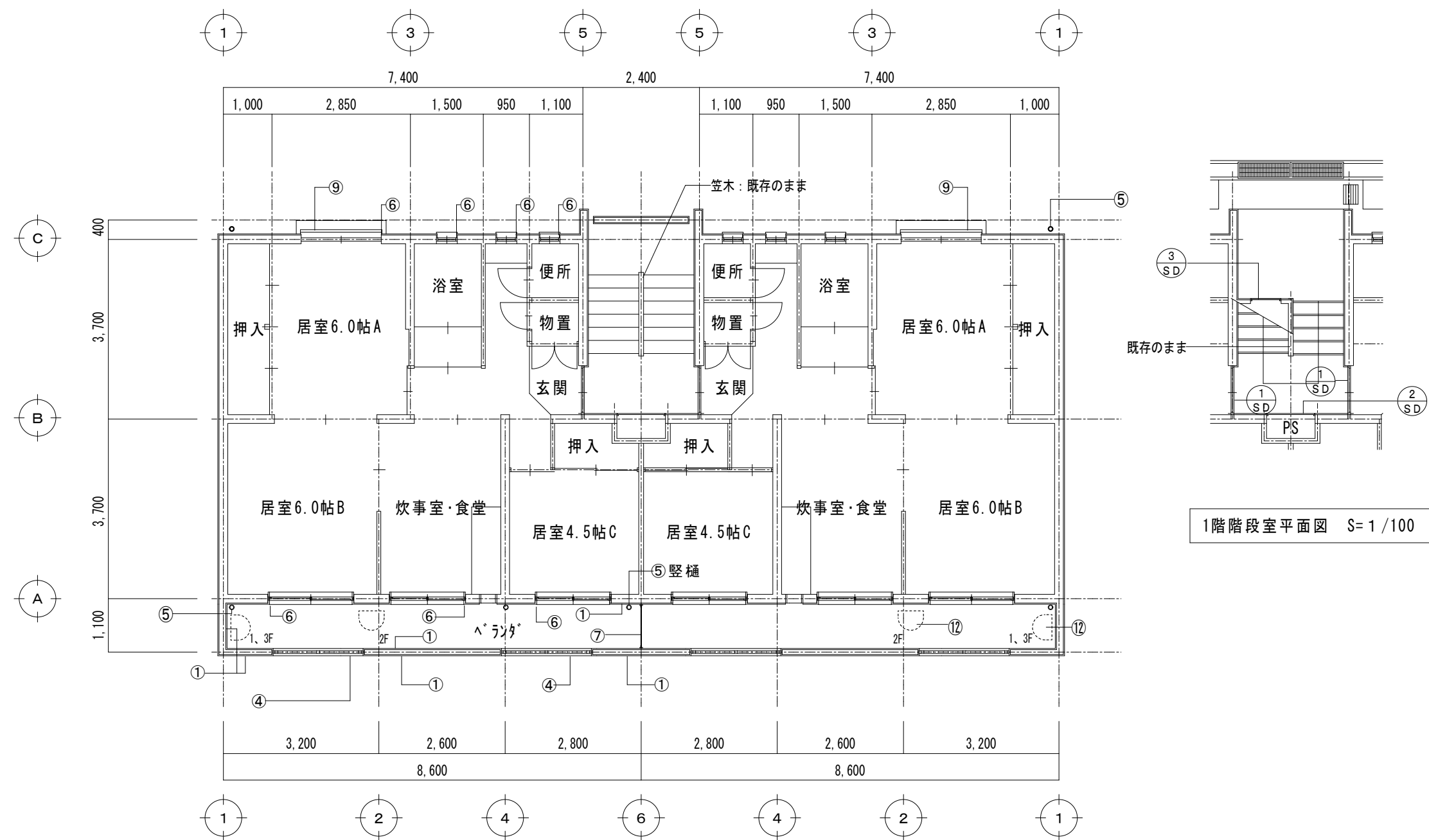
長崎県土木部建築課
〒850-8570 長崎市江戸町2-13
TEL095-824-1111/FAX095-827-3367

課 長	総括課長補佐	課長補佐	係 長	設計者

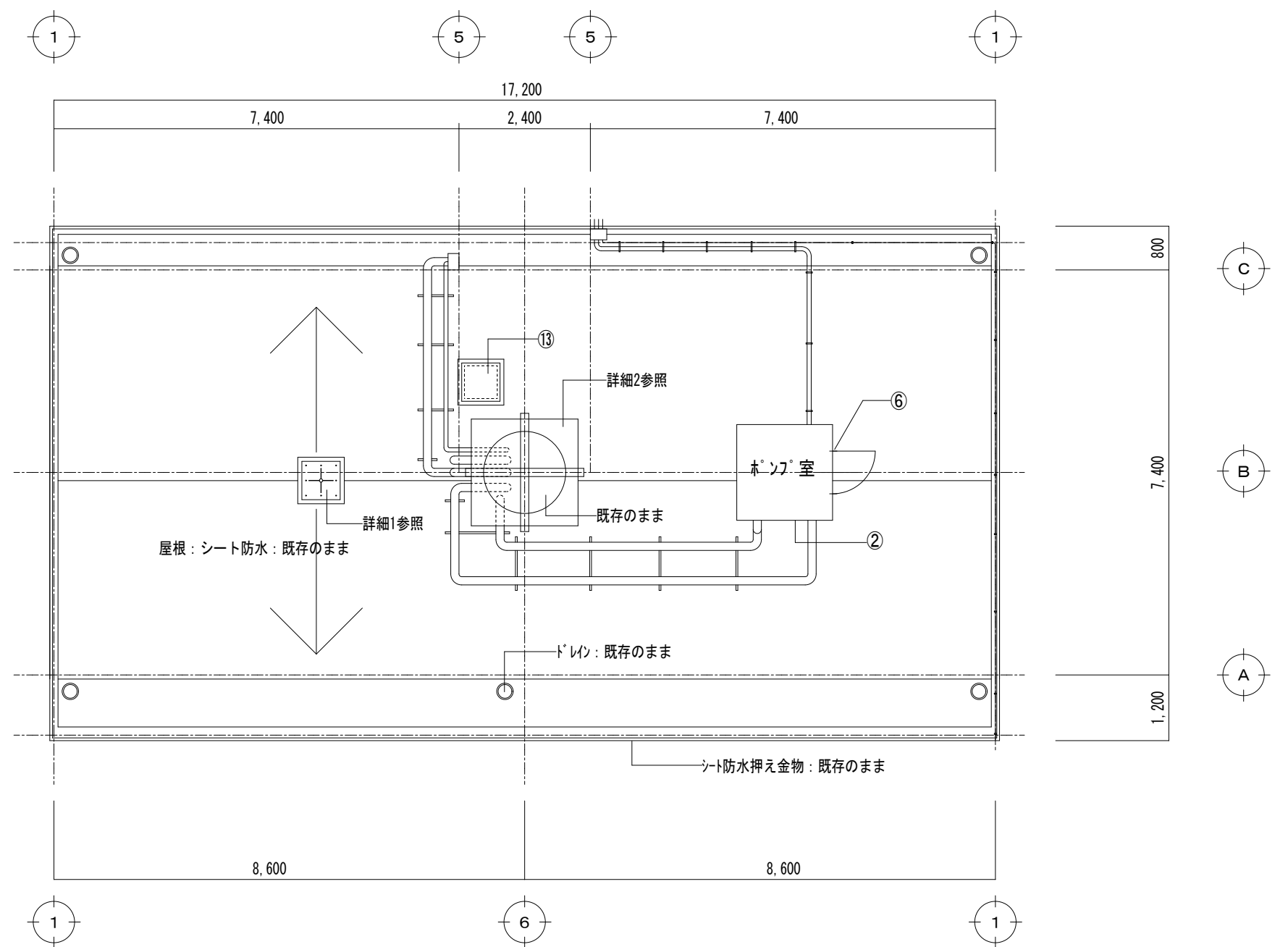
縮 尺	S=1:500
日 付	H23. 2

工事名	滑石 1 0 A P 外壁改修工事
図面名	案内図・配置図

図面NO.	A-07/15
-------	---------

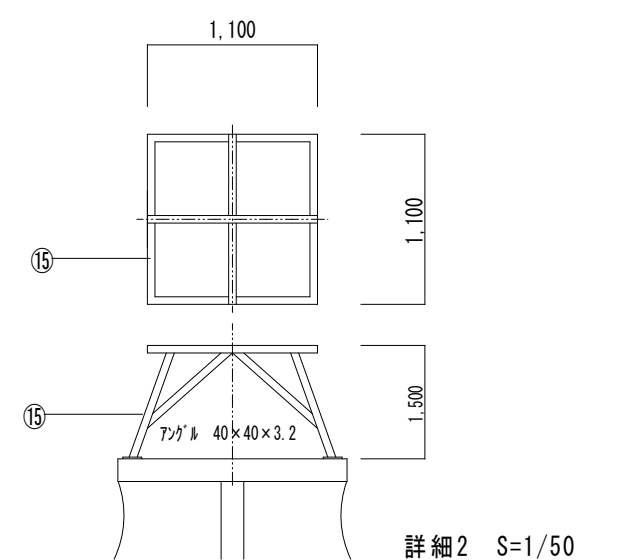
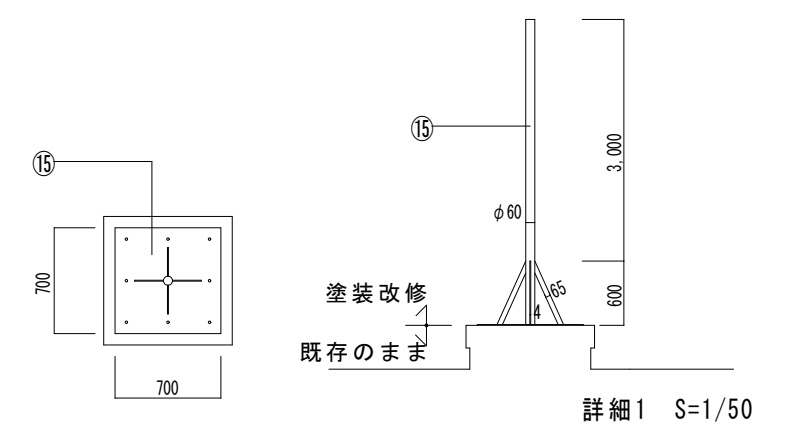


1~4階平面図 S= 1 /100



凡 例			
①	外壁 (ベランダ*手摺、窓台含)	既存	アクリルリシン吹付、一部弾性リシン吹付
		改修	劣化部補修、高圧洗浄後カチオン系フィラー下地アクリルゴム系外壁化粧防水材吹付け
②	上裏部 (軒裏、庇裏、段裏)	既存	アクリルリシン吹付け
		改修	劣化部補修、高圧洗浄後セメントフィラー下地アクリルリシン吹付け
④	ベランダ*手摺	既存	スチール製 SOP塗
		改修	既存撤去後アルミ製新設(アンカーステンレス製)H=1200×W=1900
⑤	縦樋	既存	塩ビ管100φ VP塗 SUS製掴金物 @1200
		改修	既存撤去後 VP管(カラー)100φ 新設SUS製掴金物 @1200
⑥	建具廻りシーリング	既存	コーキング
		改修	既存シーリング撤去後、変形シリコン系(MS-2)打替

⑦	隔て板	既存	鉄枠 (L-40×40) 部SOP塗、ケイカル板VP塗
		改修	下地調整 (RB種) 後、鉄枠部SOP塗装 ケイカル板下地処理 (RB種) 後、EP-G塗替
⑨	窓格子	既存	スチール製 SOP塗
		改修	既存撤去後アルミ製新設 (アンカ-ステンレス製) H=900×W=2000
⑫	避難用ハッチ (タラップ付)	既存	400×500角鉄扉 SOP塗 タラップ: φ16 180×300 (U型) SOP塗
		改修	400×500角鉄扉、タラップ共 下地調整 (RB種) 後、SOP塗装
⑬	屋上点検口 (タラップ付)	既存	900角鉄扉 SOP塗 タラップ: φ32 300×1400、φ16 5段 SOP塗
		改修	900角鉄扉: 取替え (ステンレス製)、タラップ: 下地調整 (RB種) 後、SOP塗装
⑮	屋上鉄部 (アンチ、タンク架台、 タンクタラップ等)	既存	スチール製 SOP塗
		改修	下地調整 (RB種) 後、SOP塗装



特 記		 長崎県土木部建築課 〒850-8570 長崎市江戸町2-13 TEL095-824-1111／FAX095-827-3367	課 長	総括課長補佐	課長補佐	係 長	設計者	縮 尺 S=1:100, 1:50	工 事 名 滑石 1 O A P 外壁改修工事	図 面 NO. A-08／15
								日 付 H23. 2	図 面 名 平面図	